

多治見市
令和6年度 市民意識調査
報告書

令和7年2月

多治見市

目次

第Ⅰ部 市民意識調査 一般.....	1
第1章 調査概要.....	2
1. 調査目的.....	2
2. 調査方法等.....	2
3. 回収結果.....	2
4. 調査報告書における表および図表の見方.....	2
第2章 調査結果.....	3
1. 基本属性.....	3
2. 住みやすさと居住意向.....	5
3. 生活実態および市民意識.....	13
4. 市政全般について.....	17
5. 情報提供について.....	40
 第Ⅱ部 市民意識調査 高校生.....	 57
第1章 調査概要.....	58
1. 調査目的.....	58
2. 調査方法等.....	58
3. 回収結果.....	58
第2章 調査結果.....	59
1. 基本属性.....	59
2. 住みやすさと居住意向.....	61
3. 生活実態および市民意識.....	63
4. 市政全般について.....	64
5. 情報提供について.....	66
 参考資料.....	 73
依頼文書および調査票.....	74

第 I 部

市民意識調査 一般

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握することにより、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査方法 ①市内在住の16歳以上の男女2,000人（無作為抽出）
⇒郵送配付、郵送回収およびインターネット回収
②広報たじみ読者
⇒広報たじみ綴込み、郵送回収およびインターネット回収
③市公式ホームページ閲覧者
⇒ホームページ掲載、インターネット回収
- 調査時期 令和6年8月～9月

3. 回収結果

		回収票数	回収率	有効回収票数	無効票
郵送配付	郵送回収	637	31.85%	637	0
	インターネット回収	218	10.90%	218	0
郵送回収（広報紙綴込み）		215	—	215	0
インターネット回収（広報掲載等）		64	—	64	0
合計		1,134	—	1,134	0

4. 調査報告書における表および図表の見方

- ①図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ②集計は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%としない場合がある。
- ③複数回答を求めた設問では、設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ④本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

第2章 調査結果

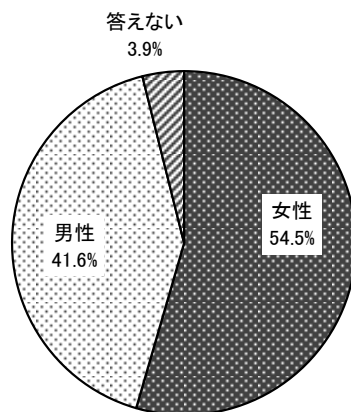
1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が54.5%、「男性」が41.6%、「答えない」が3.9%であった。

図 1-1-1 「性別」

(N = 1,118)

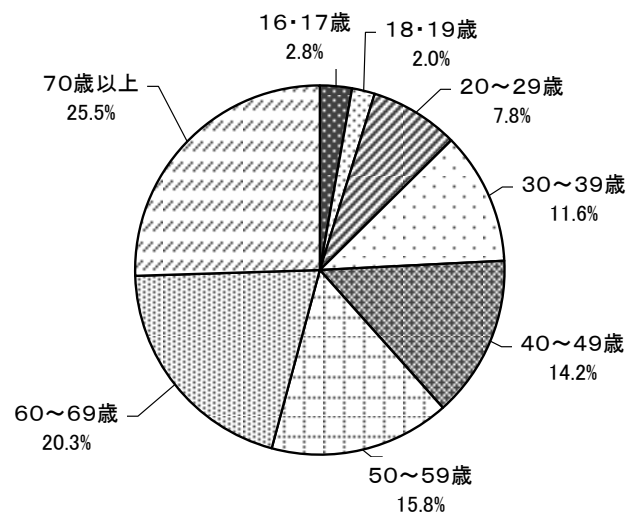


1-2 年齢

「70歳以上」が25.5%と最も高く、次いで「60～69歳」が20.3%、「50～59歳」が15.8%となっている。

図 1-2-1 「年齢」

(N = 1,116)

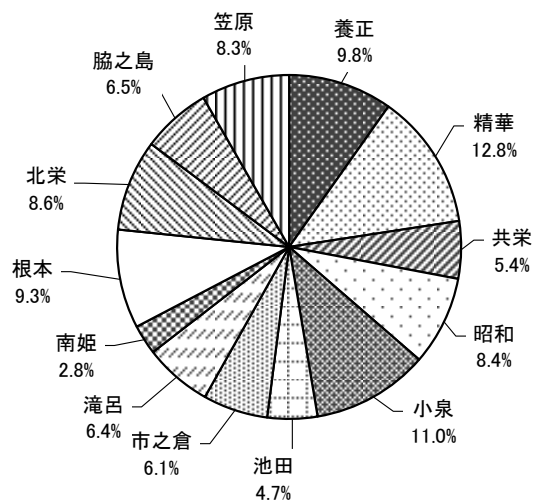


1-3 小学校区

「精華」が12.8%と最も高く、次いで「小泉」が11.0%、「養正」が9.8%となっている。

図 1-3-1 「小学校区」

(N = 1,101)

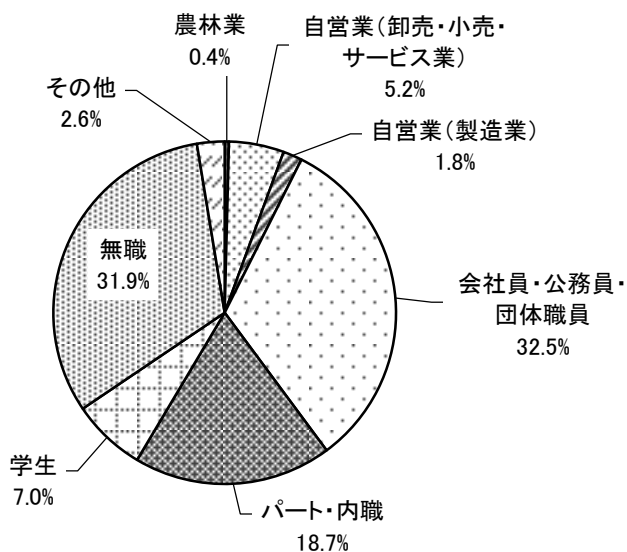


1-4 職業

「会社員・公務員・団体職員」が32.5%と最も高く、次いで「無職」が31.9%、「パート・内職」が18.7%となっている。

図 1-4-1 「職業」

(N = 1,103)



2. 住みやすさと居住意向

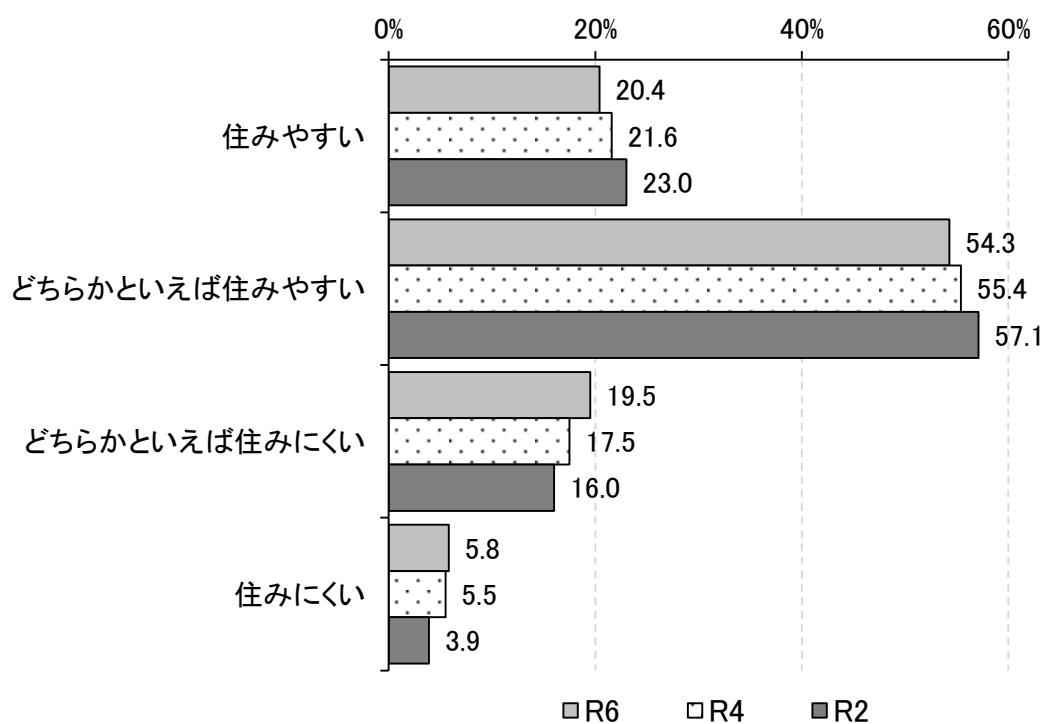
2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が 54.3%と最も高く、次いで「住みやすい」が 20.4%、「どちらかといえば住みにくい」が 19.5%となっている。

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は 74.7%、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は 25.3%となっている。

“住みやすいと感じている人”は近年減少傾向がみられる。

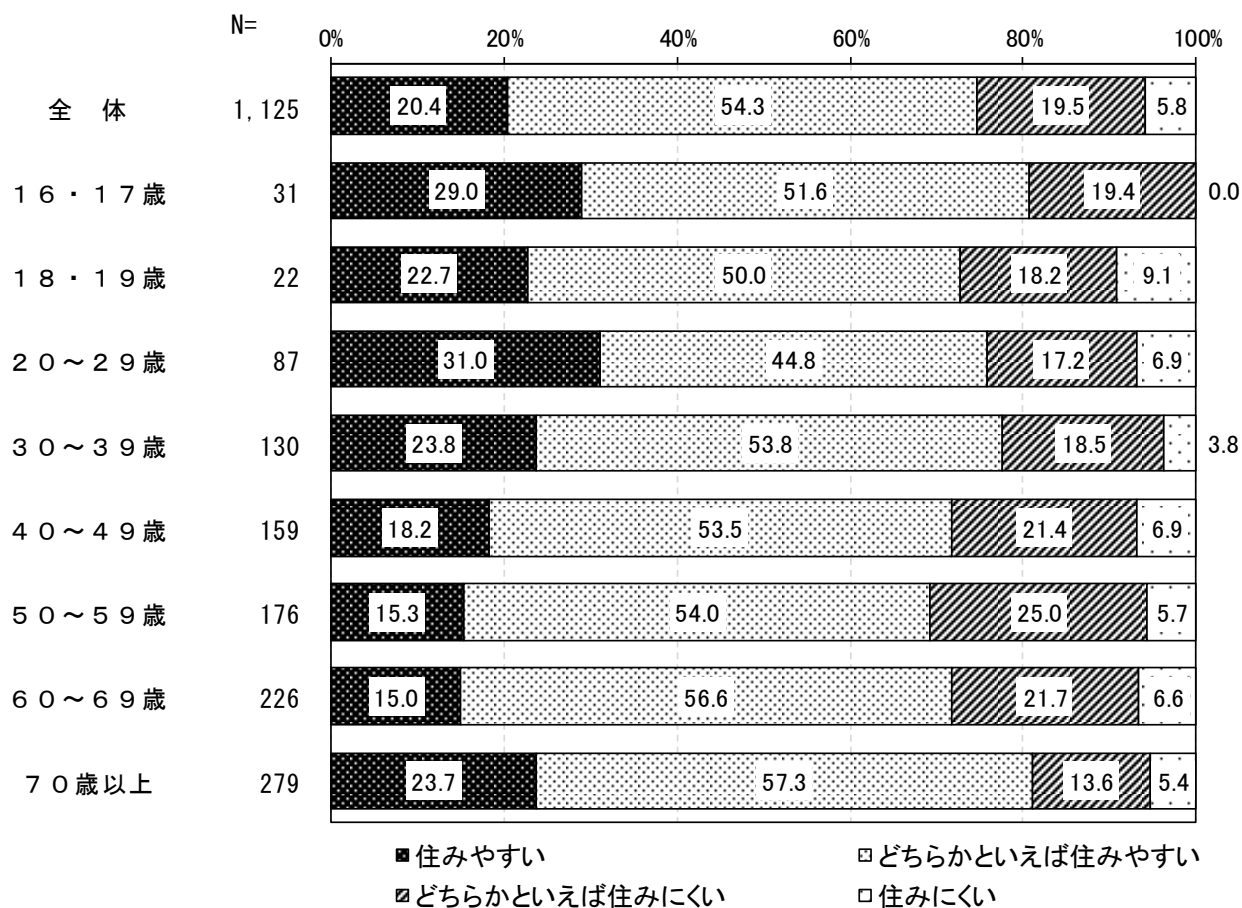
図 2-1-1 「住みやすさ」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

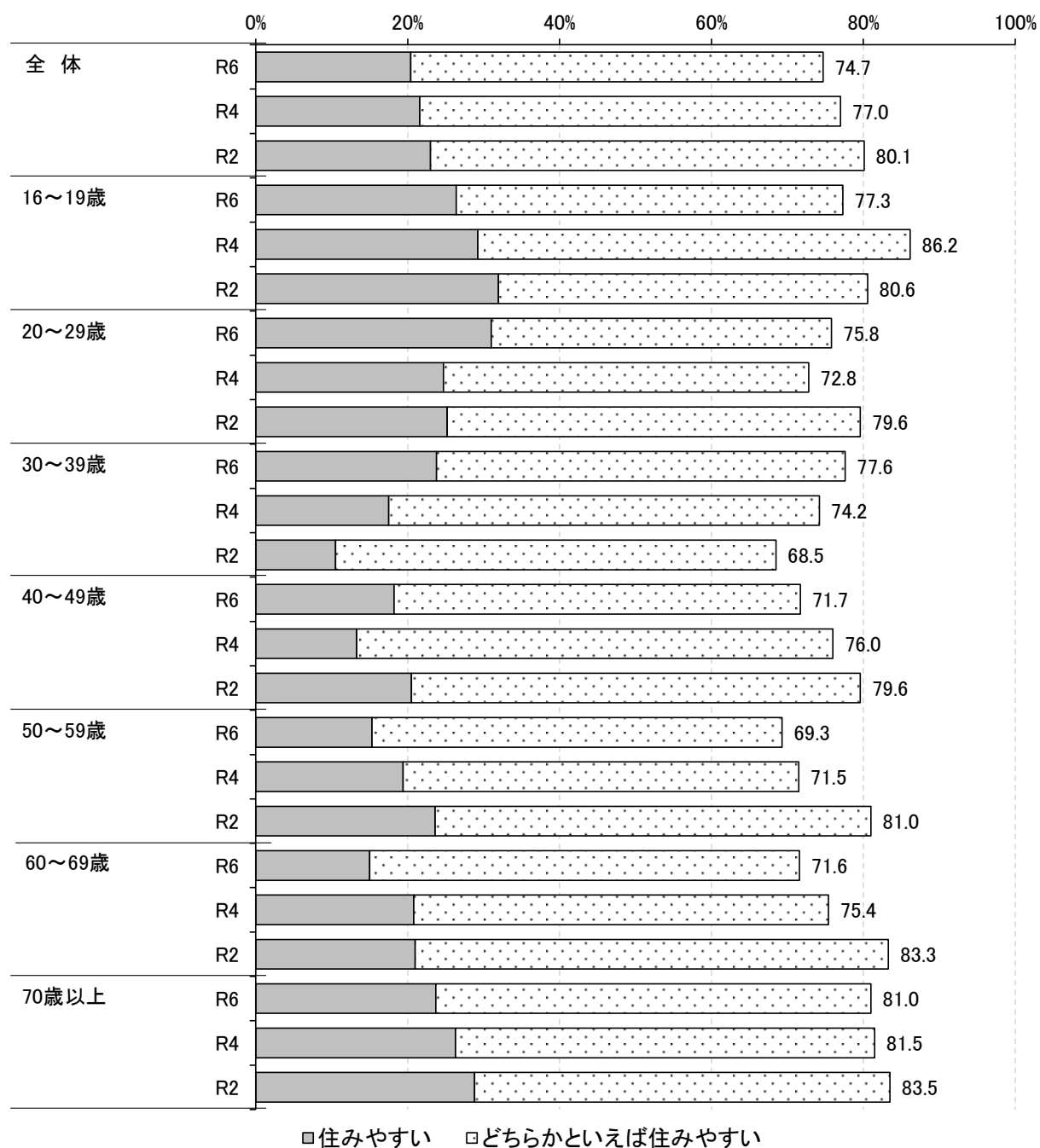
年代別にみると、「住みやすい」が「20～29 歳」で31.0%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は「70 歳以上」で 81.0%と最も高くなっている。一方で、“住みやすいと感じている人”が低くなっているのは「50～59 歳」の 69.3%であり、最も高い「70 歳以上」と比べると 11.7 ポイントの差がみられる。

図 2-1-2 年代別「住みやすさ」



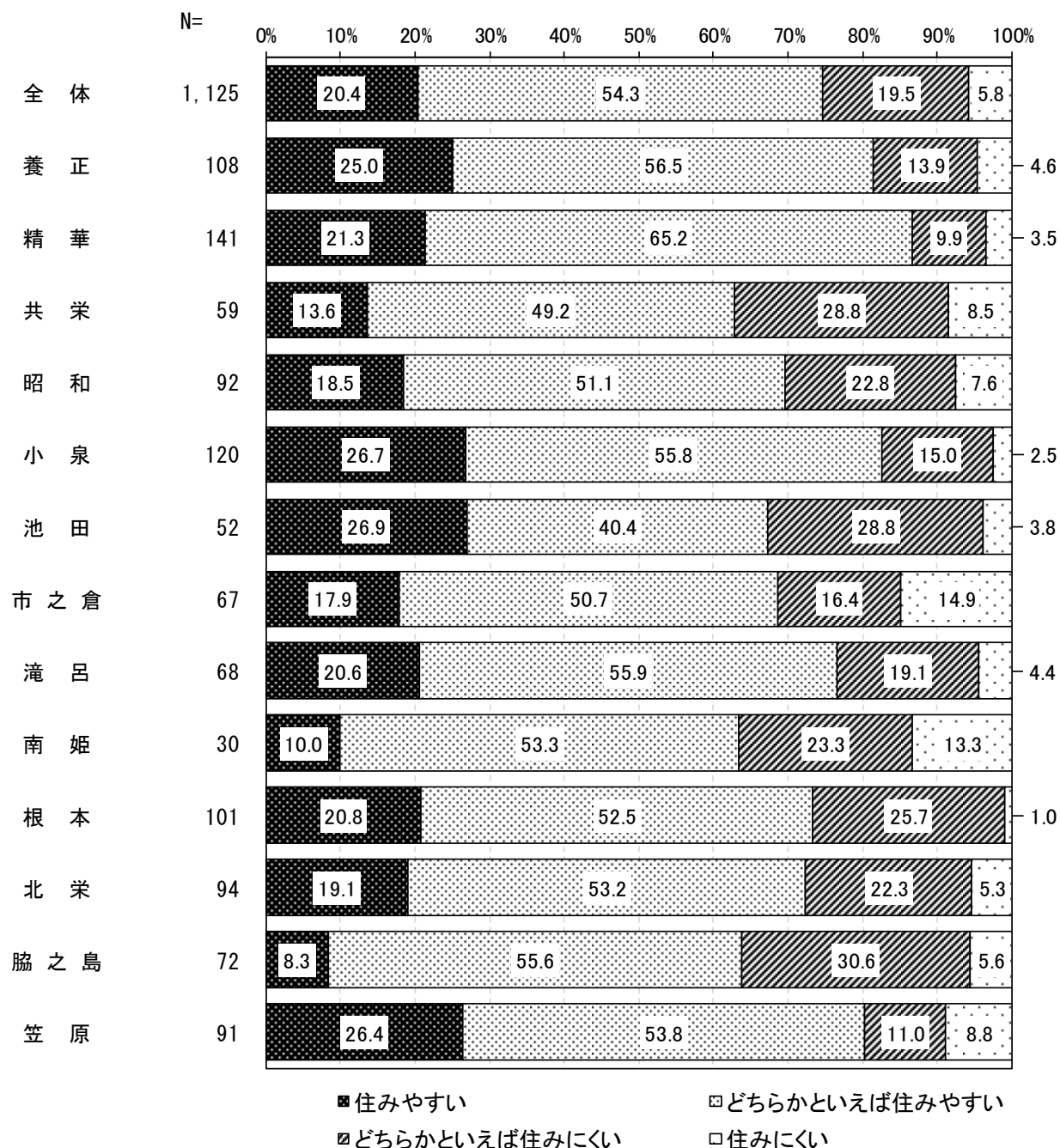
年代別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「16～19 歳」では令和 4 年調査よりも 8.9 ポイント減少している。“住みやすいと感じている人”は「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」で近年減少傾向がみられる一方、「30～39 歳」で近年増加傾向がみられる。

図 2-1-3 年代別「住みやすさ」(過年度比較)



小学校区別にみると、「住みやすい」が「池田」で 26.9%と最も高くなっている。「住みやすい」と「どちらかといえは住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は「精華」で 86.5%と最も高くなっている。一方で、“住みやすいと感じている人”が低くなっているのは「共栄」の 62.8%であり、最も高い「精華」と比べると 23.7 ポイントの差がみられる。

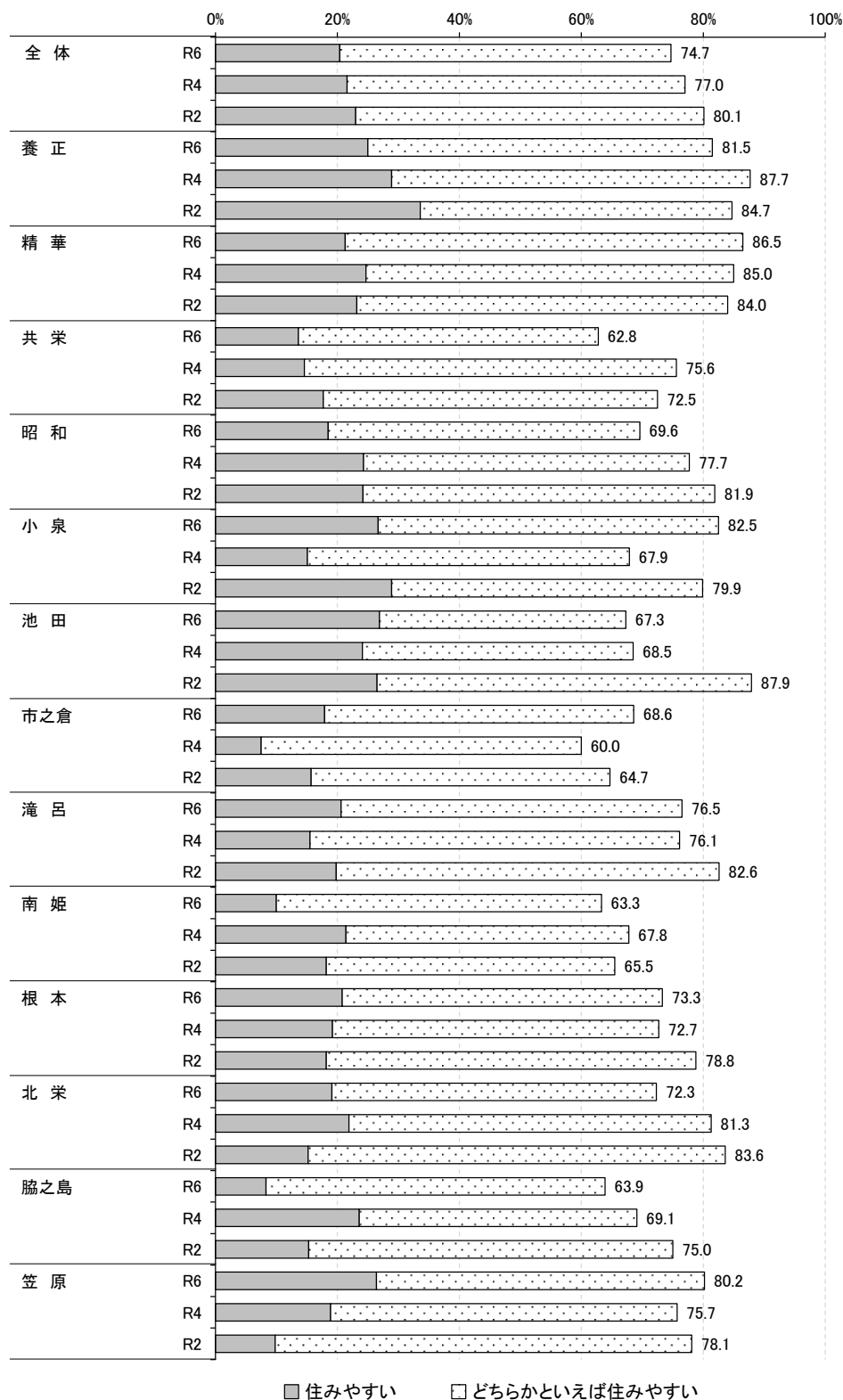
図 2-1-4 小学校区別「住みやすさ」



小学校区別にみると、“住みやすいと感じている人”は、「養正」「共栄」「昭和」「池田」「南姫」「北栄」「脇之島」で令和4年調査よりも減少しており、特に「共栄」では12.8ポイント減少し62.8%となっている。

一方、「小泉」は14.6ポイント増加し82.5%となっている。

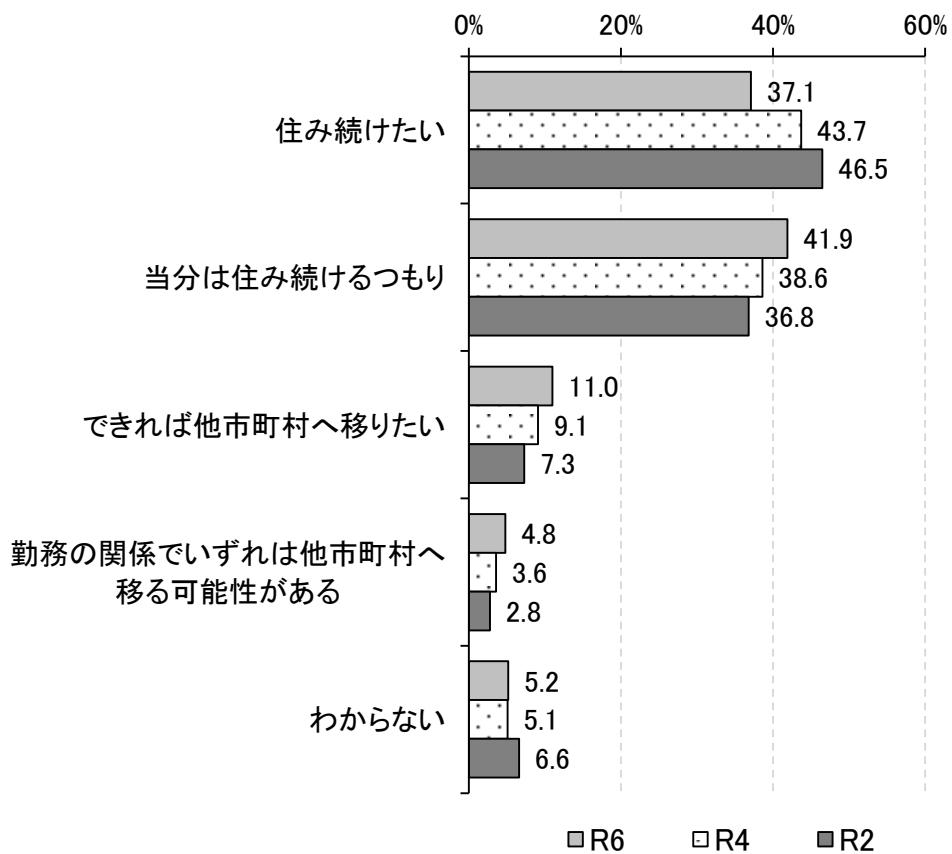
図 2-1-5 小学校区別「住みやすさ」(過年度比較)



2-2 今後の居住意向

「当分は住み続けるつもり」が 41.9%と最も高く、次いで「住み続けたい」が 37.1%、「できれば他市町村へ移りたい」が 11.0%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと感じている人”は 79.0%となっており、近年減少傾向がみられる。

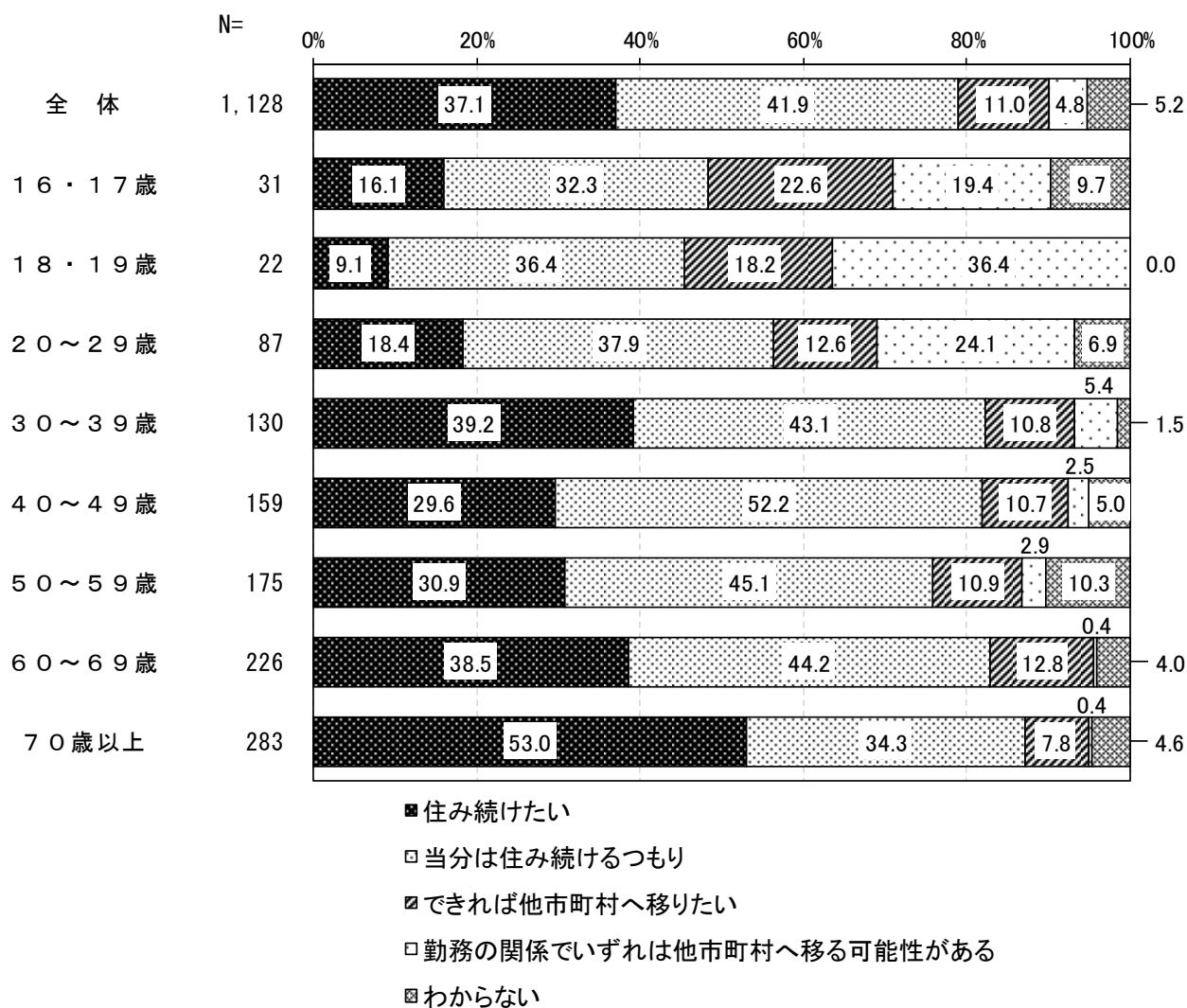
図 2-2-1 「今後の居住意向」(過年度比較)



「住み続けたい」が「18・19 歳」で 9.1%と最も低く、「70 歳以上」は 53.0%と最も高くなっている。

一方で「できれば他市町村へ移りたい」が「16・17 歳」で 22.6%と最も高くなっている。また、「16・17 歳」「18・19 歳」「20～29 歳」では「勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある」が他の年代と比べて比較的高く、特に「18・19 歳」は 3 割を超えている。

図 2-2-2 年代別「今後の居住意向」

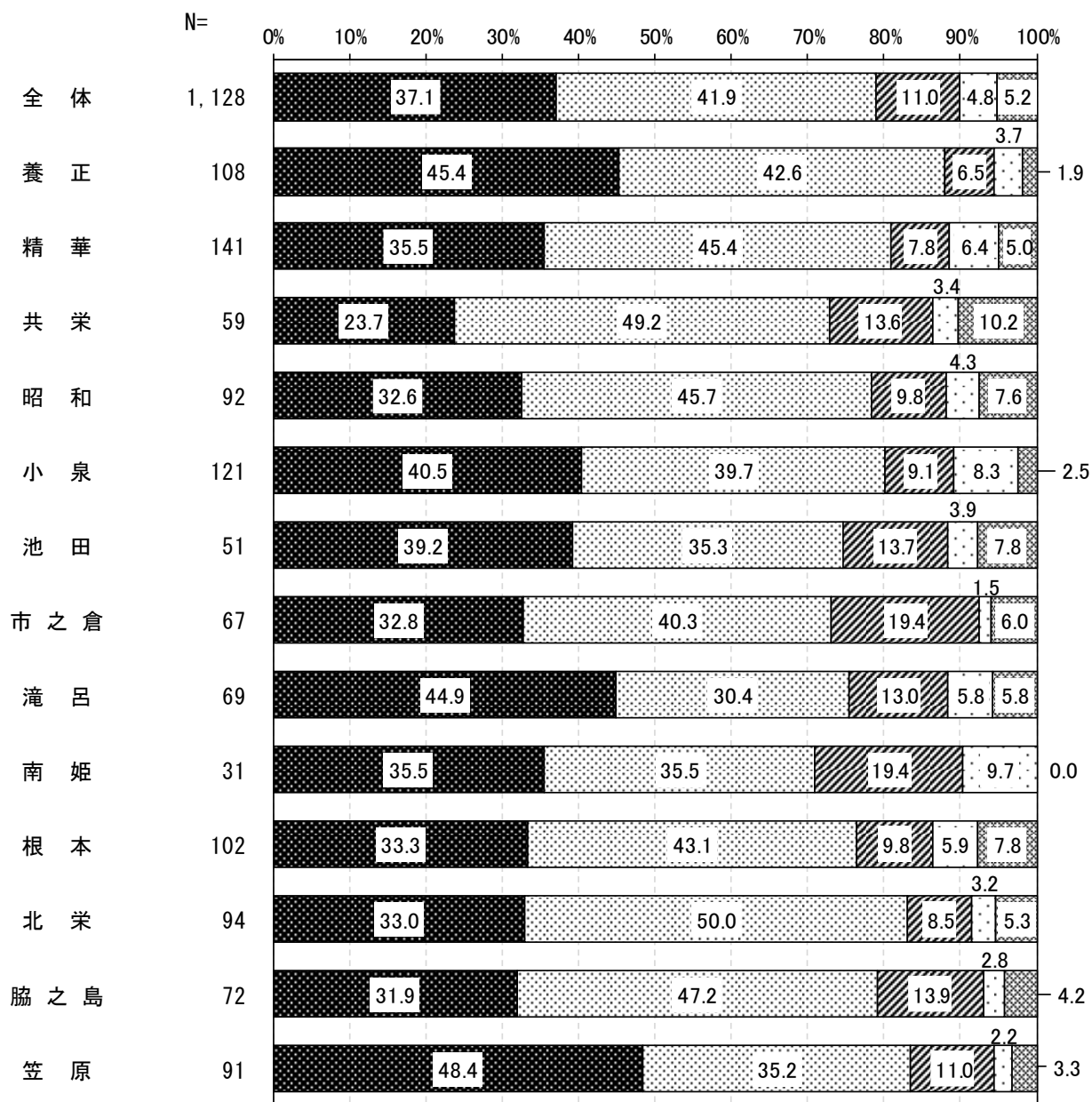


【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「住み続けたい」が「笠原」で 48.4%と最も高くなっており、次いで「養正」で 45.4%、「滝呂」で 44.9%となっている。

一方で「共栄」では「住み続けたい」が 23.7%と最も低くなっており、最も高い「笠原」とは 24.7 ポイントの差がみられる。

図 2-2-3 小学校区別「今後の居留意向」



■ 住み続けたい

□ 当分は住み続けるつもり

▨ できれば他市町村へ移りたい

□ 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある

■ わからない

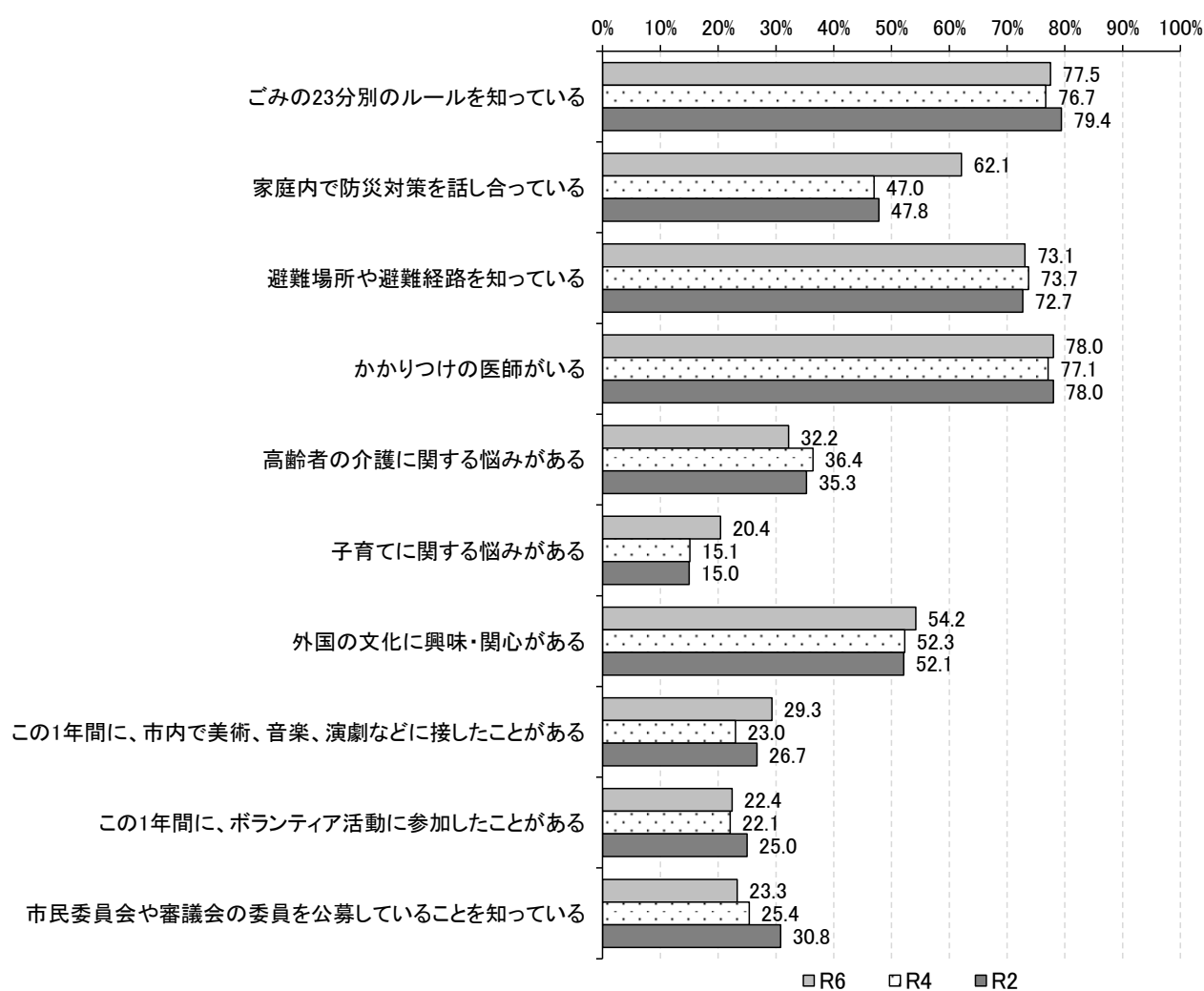
3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「かかりつけの医師がいる」が78.0%で最も高くなっており、次いで「ごみの23分別のルールを知っている」が77.5%、「避難場所や避難経路を知っている」が73.1%となっている。

また、「家庭内で防災対策を話し合っている」は令和4年調査よりも15.1ポイント増加している。一方、「市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っている」は年々減少する傾向がみられる。

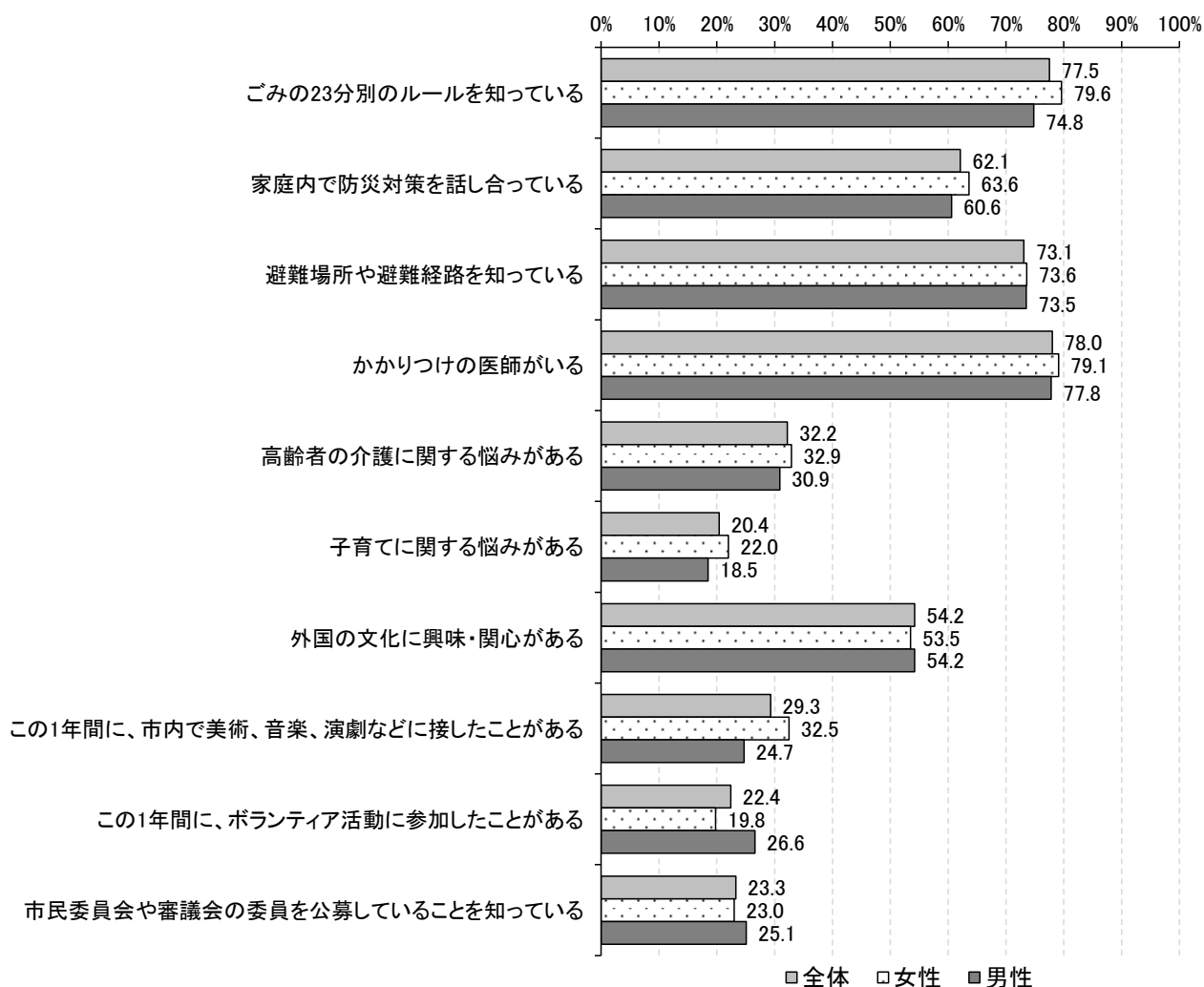
図 3-1-1 「生活実態および市民意識」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

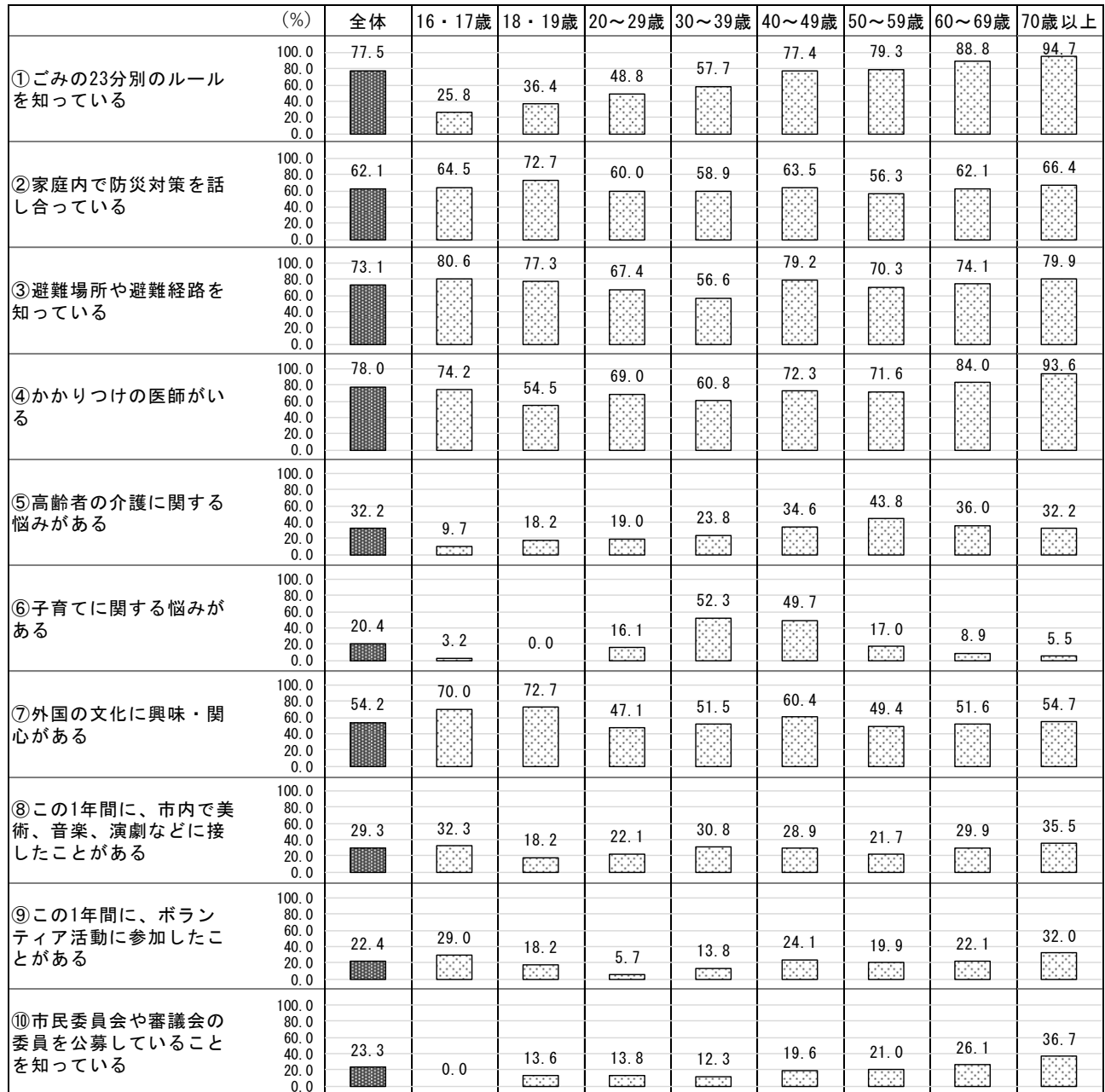
性別でみると、「女性」は「ごみの23分別のルールを知っている」が79.6%で最も高く、「男性」は「かかりつけの医師がいる」が77.8%で最も多くなっている。

図 3-1-2 性別「生活実態および市民意識」



年代別にみると、「ごみの 23 分別のルールを知っている」は年代が上がるにつれて高くなっており、「60～69 歳」以上になると 8 割を超えている。一方、「16・17 歳」「18・19 歳」では 3 割前後となっている。また、「子育てに関する悩みがある」は「30～39 歳」と「40～49 歳」で 5 割前後となっている。さらに、「高齢者の介護に関する悩みがある」は「50～59 歳」で 43.8%と比較的高くなっている。

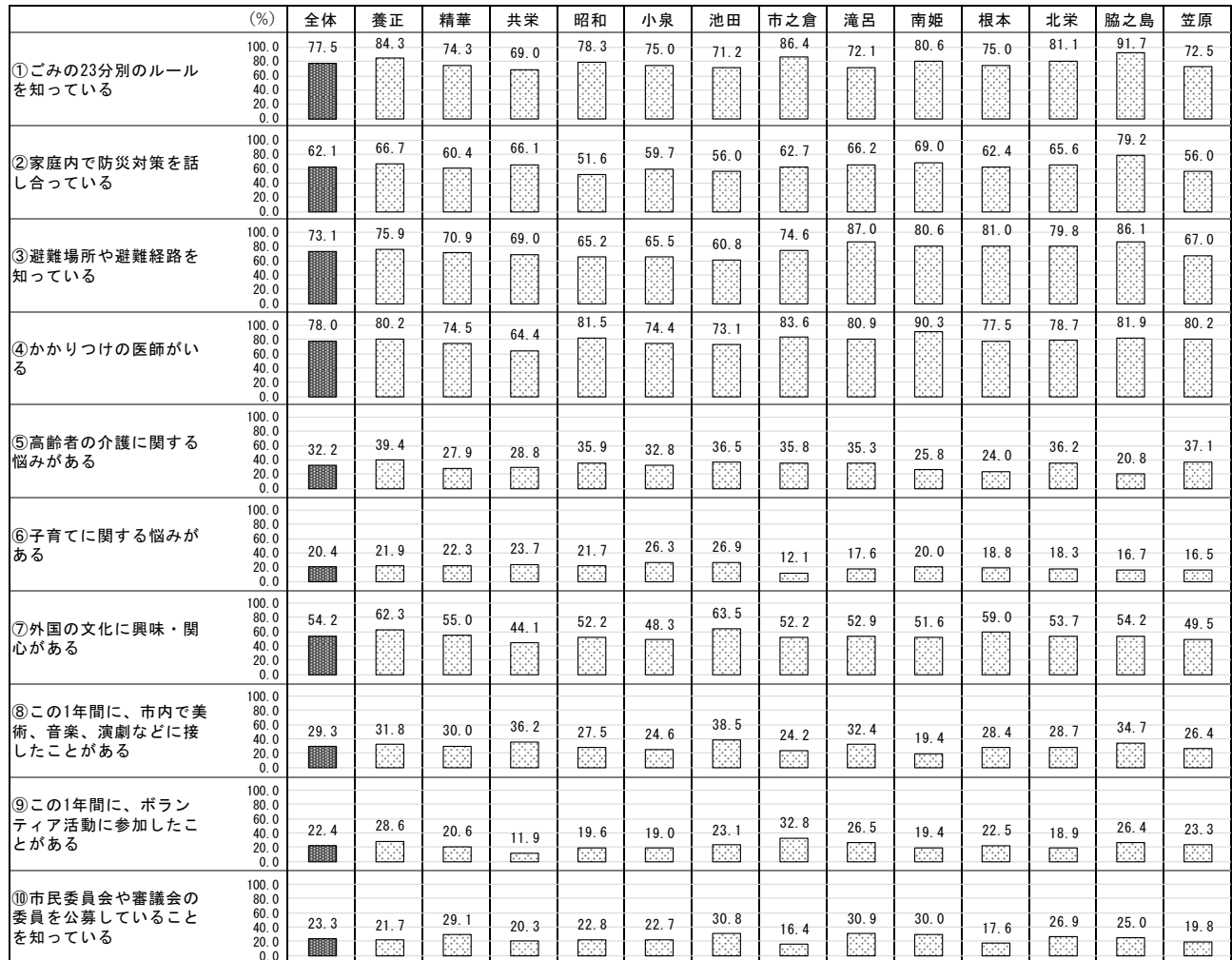
図 3-1-3 年代別「生活実態および市民意識」



【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「ごみの23分別のルールを知っている」は「脇之島」、「避難場所や避難経路を知っている」は「滝呂」と「脇之島」が他の小学校区と比べ高くなっている。

図 3-1-4 小学校区別「生活実態および市民意識」



4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市の施策項目ごとに、満足度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、満足度の選択肢に対して次に示す点数をつけて算出する。算出にあたっては、以下の式を用いている。

《満足度の各選択肢に対する得点》

選択肢番号	満足度	得点
1	満足	2
2	やや満足	1
3	やや不満	-1
4	不満	-2
5	わからない	0

《評価得点の算出式》

$$\text{満足度} = \frac{([\text{満足}] \times 2 \text{ 点}) + ([\text{やや満足}] \times 1 \text{ 点}) + ([\text{やや不満}] \times -1 \text{ 点}) + ([\text{不満}] \times -2 \text{ 点})}{\text{回答者数}([\text{わからない}] \text{ を除く)}$$

「市政への満足度」は 40 項目中 8 項目でプラスの評価となっている。一方で 40 項目中 32 項目がマイナス評価となっており、特に「住環境の整備・空き家等対策」(-0.99 ポイント)、「中心市街地活性化」(-0.98 ポイント)、「公共交通施策の推進」(-0.97 ポイント)では、マイナスの値が高くなっている。

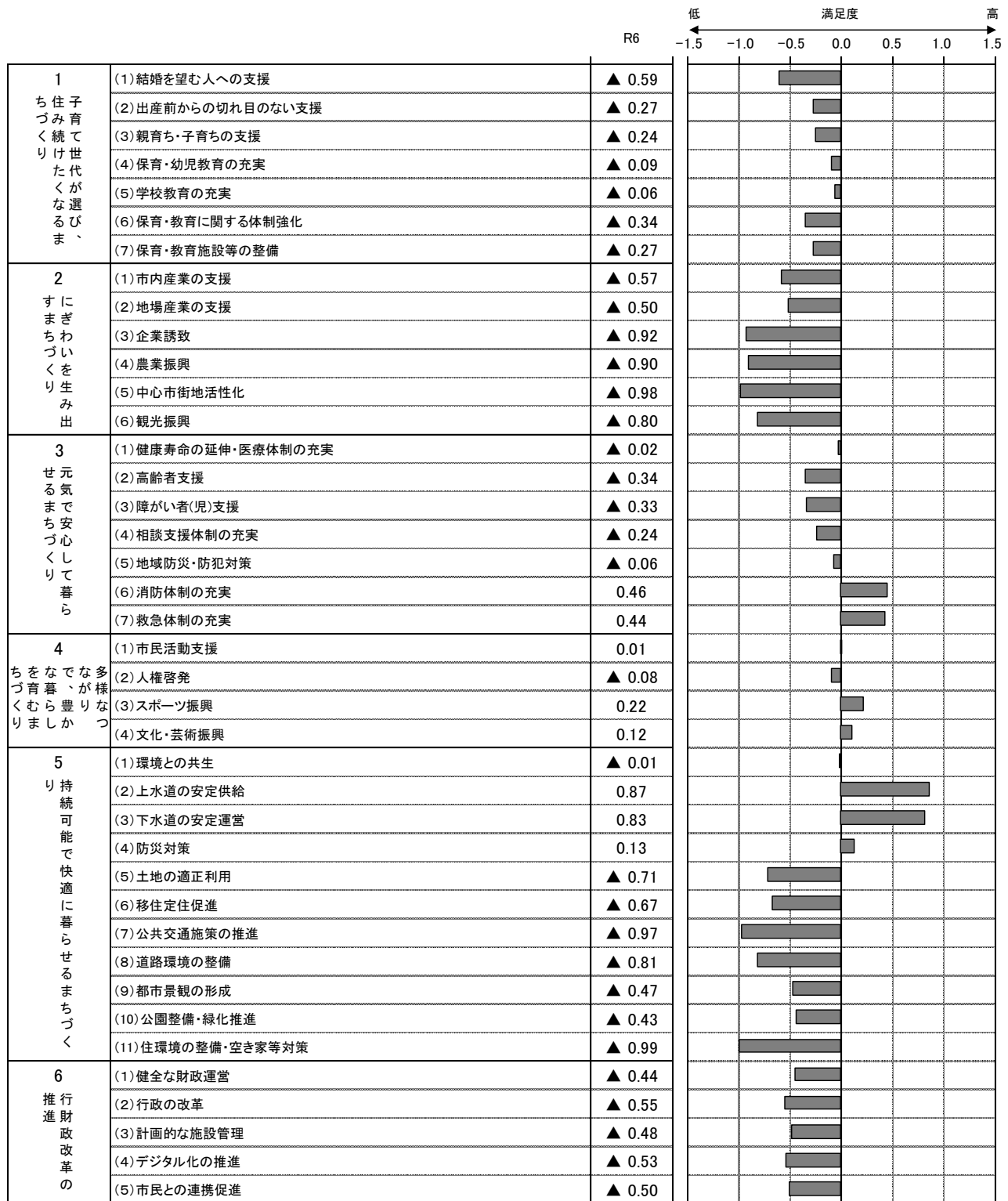
＜満足度上位 5 項目＞

満足度が高かった項目	点数
水道水の安定供給	0.87
下水道の安定運営	0.83
消防体制の充実	0.46
救急体制の充実	0.44
スポーツ振興	0.22

＜満足度下位 5 項目＞

満足度が低かった項目	点数
住環境の整備・空き家等対策	▲0.99
中心市街地活性化	▲0.98
公共交通施策の推進	▲0.97
企業誘致	▲0.92
農業振興	▲0.90

図 4-1-1 「市政への満足度」



年代別にみると、「16・17 歳」は 40 項目中 36 項目、「18・19 歳」は 28 項目で満足度がプラスの評価となっている。また、「16・17 歳」は「最も評価の高い項目数」が 28 項目で最も多くなっており、「60～69 歳」は「最も評価の低い項目数」が 24 項目で最も多くなっている。

最も満足度が高い項目は、「16・17 歳」で「上水道の安定供給」「下水道の安定運営」が 1.68 ポイントとなっている。一方で、最も満足度の低い項目は、「50～59 歳」で「公共交通施策の推進」が -1.27 ポイントとなっている。

表 4-1-2 年代別「市政への満足度」

		全体	16・17歳	18・19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
1 子育て世代が選ぶ、 子どもが育つ環境づくり	(1)結婚を望む人への支援	▲ 0.59	<u>0.40</u>	▲ 0.50	▲ 0.33	▲ 0.16	▲ 0.45	▲ 0.42	▲ <i>0.86</i>	▲ 0.84
	(2)出産前からの切れ目のない支援	▲ 0.27	<u>0.50</u>	▲ 0.57	▲ 0.12	0.15	▲ 0.23	▲ 0.05	▲ <i>0.63</i>	▲ 0.54
	(3)親育ち・子育ての支援	▲ 0.24	▲ 0.10	▲ 0.40	<u>0.03</u>	▲ 0.01	▲ 0.14	▲ 0.16	▲ <i>0.52</i>	▲ 0.37
	(4)保育・幼児教育の充実	▲ 0.09	<u>0.91</u>	▲ <i>0.33</i>	0.15	▲ 0.21	▲ 0.11	0.15	▲ 0.32	▲ 0.06
	(5)学校教育の充実	▲ 0.06	<u>0.79</u>	0.07	0.46	▲ 0.11	▲ 0.20	0.05	▲ <i>0.28</i>	▲ 0.14
	(6)保育・教育に関する体制強化	▲ 0.34	<u>0.69</u>	0.08	▲ 0.10	▲ 0.42	▲ <i>0.50</i>	▲ 0.26	▲ 0.49	▲ 0.25
	(7)保育・教育施設等の整備	▲ 0.27	<u>0.82</u>	0.15	0.36	▲ 0.33	▲ <i>0.51</i>	▲ 0.29	▲ 0.47	▲ 0.16
2 子育て世代が選ぶ、 子どもが育つ環境づくり	(1)市内産業の支援	▲ 0.57	<u>0.23</u>	▲ 0.09	0.17	▲ 0.40	▲ 0.66	▲ 0.74	▲ <i>0.89</i>	▲ 0.58
	(2)地場産業の支援	▲ 0.50	<u>0.58</u>	0.44	▲ 0.10	▲ 0.34	▲ 0.61	▲ 0.69	▲ <i>0.73</i>	▲ 0.46
	(3)企業誘致	▲ 0.92	▲ 0.40	<u>0.00</u>	▲ 0.66	▲ 1.00	▲ 0.91	▲ 0.95	▲ <i>1.03</i>	▲ 0.96
	(4)農業振興	▲ 0.90	0.64	<u>0.67</u>	▲ 0.24	▲ 0.80	▲ 1.04	▲ <i>1.10</i>	▲ 1.03	▲ 1.05
	(5)中心市街地活性化	▲ 0.98	▲ 0.15	▲ <u>0.07</u>	▲ 0.14	▲ 0.89	▲ 1.08	▲ <i>1.13</i>	▲ 1.12	▲ 1.08
	(6)観光振興	▲ 0.80	▲ 0.20	▲ 0.29	▲ <u>0.16</u>	▲ 0.76	▲ 0.93	▲ 0.69	▲ <i>1.01</i>	▲ 0.91
3 元気で安心して暮らす環境づくり	(1)健康寿命の延伸・医療体制の充実	▲ 0.02	<u>1.14</u>	0.58	0.46	0.27	▲ 0.26	▲ 0.15	▲ <i>0.36</i>	0.15
	(2)高齢者支援	▲ 0.34	<u>0.63</u>	0.13	0.05	▲ 0.06	▲ 0.50	▲ 0.40	▲ <i>0.55</i>	▲ 0.27
	(3)障がい者(児)支援	▲ 0.33	<u>1.00</u>	0.00	0.05	▲ 0.18	▲ <i>0.56</i>	▲ 0.36	▲ 0.56	▲ 0.22
	(4)相談支援体制の充実	▲ 0.24	<u>0.75</u>	0.60	0.48	0.12	▲ 0.42	▲ 0.33	▲ <i>0.50</i>	▲ 0.27
	(5)地域防災・防犯対策	▲ 0.06	0.79	<u>0.91</u>	0.63	▲ 0.24	▲ 0.10	0.02	▲ <i>0.27</i>	▲ 0.17
	(6)消防体制の充実	0.46	<u>1.27</u>	0.77	0.98	0.53	0.49	0.56	<i>0.17</i>	0.34
	(7)救急体制の充実	0.44	<u>1.31</u>	0.64	0.94	0.34	0.39	0.51	<i>0.13</i>	0.48
4 子育て世代が選ぶ、 子どもが育つ環境づくり	(1)市民活動支援	0.01	<u>1.18</u>	0.10	0.82	0.35	0.00	0.00	▲ <i>0.27</i>	▲ 0.16
	(2)人権啓発	▲ 0.08	<u>1.38</u>	0.00	0.53	0.55	▲ 0.11	0.02	▲ <i>0.37</i>	▲ 0.30
	(3)スポーツ振興	0.22	<u>0.85</u>	0.42	0.49	0.62	0.34	0.20	▲ <i>0.09</i>	0.16
	(4)文化・芸術振興	0.12	<u>0.92</u>	0.33	0.39	0.52	0.38	0.07	▲ <i>0.23</i>	▲ 0.02
5 持続可能な環境づくり	(1)環境との共生	▲ 0.01	<u>1.05</u>	0.36	0.62	0.42	▲ 0.15	▲ 0.02	▲ <i>0.30</i>	▲ 0.18
	(2)上水道の安定供給	0.87	<u>1.68</u>	1.47	1.25	1.09	0.80	0.89	<i>0.67</i>	0.78
	(3)下水道の安定運営	0.83	<u>1.68</u>	1.54	1.21	1.17	0.76	0.87	0.67	<i>0.62</i>
	(4)防災対策	0.13	<u>0.94</u>	0.77	0.56	0.37	0.08	0.16	▲ 0.01	▲ <i>0.05</i>
	(5)土地の適正利用	▲ 0.71	0.13	<u>0.54</u>	▲ 0.18	▲ 0.68	▲ 0.73	▲ <i>0.96</i>	▲ 0.85	▲ 0.82
	(6)移住定住促進	▲ 0.67	<u>0.80</u>	0.00	0.00	▲ 0.45	▲ 0.82	▲ 0.79	▲ <i>0.96</i>	▲ 0.70
	(7)公共交通施策の推進	▲ 0.97	0.33	<u>0.36</u>	▲ 0.27	▲ 0.87	▲ 1.07	▲ <i>1.27</i>	▲ 1.19	▲ 0.94
	(8)道路環境の整備	▲ 0.81	0.29	<u>0.33</u>	▲ 0.25	▲ 0.84	▲ <i>1.05</i>	▲ 1.04	▲ 0.98	▲ 0.70
	(9)都市景観の形成	▲ 0.47	0.43	<u>0.57</u>	0.24	▲ 0.31	▲ 0.41	▲ 0.57	▲ <i>0.82</i>	▲ 0.59
	(10)公園整備・緑化推進	▲ 0.43	<u>0.59</u>	0.29	0.28	▲ 0.47	▲ 0.60	▲ <i>0.60</i>	▲ 0.55	▲ 0.46
	(11)住環境の整備・空き家等対策	▲ 0.99	0.13	<u>0.17</u>	▲ 0.09	▲ 0.62	▲ 1.08	▲ 1.05	▲ 1.19	▲ <i>1.20</i>
6 行政改革の推進	(1)健全な財政運営	▲ 0.44	<u>0.67</u>	0.08	▲ 0.08	▲ 0.40	▲ 0.44	▲ 0.64	▲ <i>0.70</i>	▲ 0.34
	(2)行政の改革	▲ 0.55	<u>0.36</u>	0.00	0.14	▲ <i>0.79</i>	▲ 0.62	▲ 0.69	▲ 0.78	▲ 0.42
	(3)計画的な施設管理	▲ 0.48	0.46	<u>0.62</u>	0.17	▲ 0.40	▲ 0.57	▲ 0.58	▲ <i>0.71</i>	▲ 0.54
	(4)デジタル化の推進	▲ 0.53	<u>0.75</u>	0.50	0.04	▲ 0.56	▲ 0.68	▲ 0.68	▲ 0.63	▲ <i>0.72</i>
	(5)市民との連携促進	▲ 0.50	<u>0.50</u>	0.27	0.25	▲ 0.48	▲ <i>0.73</i>	▲ 0.71	▲ 0.66	▲ 0.44

評価がプラスの項目(全40項目中)	8	36	28	26	13	7	11	4	6
全体よりも評価が低い項目(全40項目中)		0	3	0	11	31	26	40	27
最も評価の高い項目数(全40項目中)		28	10	2	0	0	0	0	0
最も評価の低い項目数(全40項目中)		0	1	0	1	5	5	24	4

▲：マイナス

■：全体より評価が低いもの

下線：各項目で最も評価の高いもの

斜体：各項目で最も評価の低いもの

【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「精華」で40項目中15項目がプラス評価となっているほか、「最も評価の高い項目数」も10項目で、小学校区の中で最も多くなっている。一方で、「最も評価の低い項目数」は「市之倉」で10項目となっている。

最も満足度が高い項目は、「精華」の「下水道の安定運営」で1.10ポイントとなっている。一方で最も満足度の低い項目は、「市之倉」の「住環境の整備・空き家等対策」で-1.51ポイントとなっている。

次のページからは各小学校区の満足度を全体と比較したグラフを掲載している。

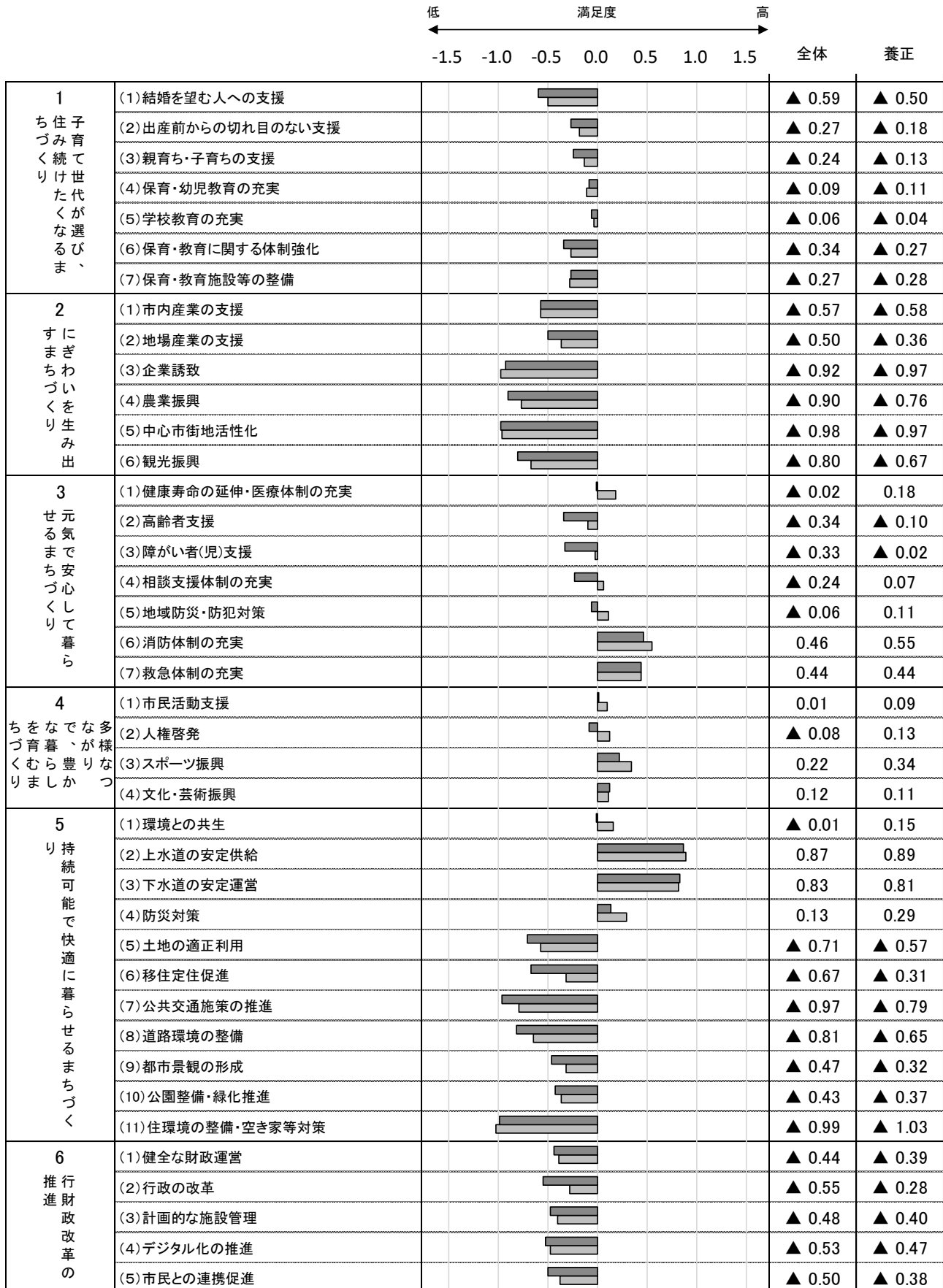
表 4-1-3 小学校区別「市政への満足度」

		全体	養正	精華	共栄	昭和	小泉	池田	市之倉	滝呂	南郷	根本	北栄	脇之島	笠原
1 子育て世代が 選ぶべき、 すにぎわい を生まる	(1)結婚を望む人への支援	▲0.59	▲0.50	▲0.34	▲0.17	▲1.08	▲0.50	▲0.43	▲0.77	▲0.75	▲1.38	▲0.52	▲0.27	▲1.14	▲0.55
	(2)出産前からの切れ目のない支援	▲0.27	▲0.18	▲0.07	0.05	▲0.58	▲0.16	▲0.29	▲0.22	▲0.21	▲0.62	▲0.44	▲0.03	▲0.63	▲0.30
	(3)親子・子育ての支援	▲0.24	▲0.13	0.06	▲0.24	▲0.51	▲0.27	▲0.28	▲0.36	▲0.35	▲0.54	▲0.09	0.13	▲0.68	▲0.36
	(4)保育・幼児教育の充実	▲0.09	▲0.11	0.10	0.13	▲0.31	▲0.24	▲0.17	▲0.22	▲0.10	▲0.83	0.18	0.23	▲0.48	0.12
	(5)学校教育の充実	▲0.06	▲0.04	0.07	▲0.11	▲0.41	▲0.09	0.15	▲0.26	▲0.02	▲0.37	0.02	0.06	▲0.15	0.11
	(6)保育・教育に関する体制強化	▲0.34	▲0.27	▲0.15	▲0.47	▲0.68	▲0.47	▲0.59	0.00	▲0.18	▲0.30	▲0.25	▲0.24	▲0.62	▲0.15
	(7)保育・教育施設等の整備	▲0.27	▲0.28	▲0.01	▲0.51	▲0.54	▲0.27	▲0.18	▲0.17	▲0.05	▲0.40	▲0.24	▲0.26	▲0.53	▲0.10
2 すにぎわい を生まる	(1)市内産業の支援	▲0.57	▲0.58	▲0.38	▲0.52	▲0.60	▲0.58	▲0.30	▲0.64	▲0.78	▲0.84	▲0.70	▲0.43	▲0.78	▲0.64
	(2)地場産業の支援	▲0.50	▲0.36	▲0.24	▲0.27	▲0.58	▲0.52	▲0.59	▲0.69	▲0.64	▲1.06	▲0.49	▲0.31	▲0.57	▲0.82
	(3)企業誘致	▲0.92	▲0.97	▲0.67	▲0.89	▲1.08	▲0.82	▲0.76	▲1.38	▲1.12	▲1.05	▲1.05	▲0.70	▲1.06	▲0.90
	(4)農業振興	▲0.90	▲0.76	▲0.65	▲0.87	▲0.95	▲1.09	▲0.77	▲1.21	▲1.03	▲1.14	▲0.73	▲0.83	▲1.31	▲0.75
	(5)中心市街地活性化	▲0.98	▲0.97	▲0.77	▲0.88	▲1.27	▲0.90	▲0.95	▲1.06	▲1.22	▲0.92	▲0.85	▲0.94	▲1.27	▲0.93
	(6)観光振興	▲0.80	▲0.67	▲0.63	▲0.60	▲0.81	▲0.74	▲0.76	▲0.91	▲1.02	▲0.87	▲0.79	▲0.82	▲1.12	▲0.96
	(7)健康寿命の延伸・医療体制の充実	▲0.02	0.18	0.25	▲0.09	▲0.03	▲0.05	▲0.16	0.02	▲0.12	0.00	0.11	▲0.14	▲0.09	▲0.14
3 元気で安心 暮らしを 暮らす	(2)高齢者支援	▲0.34	▲0.10	▲0.14	▲0.44	▲0.31	▲0.51	▲0.29	▲0.57	▲0.31	▲0.50	▲0.47	▲0.13	▲0.45	▲0.28
	(3)障がい者(児)支援	▲0.33	▲0.02	▲0.12	▲0.71	▲0.28	▲0.25	▲0.22	▲0.27	▲0.81	▲0.18	▲0.49	▲0.17	▲0.53	▲0.29
	(4)相談支援体制の充実	▲0.24	0.07	▲0.07	▲0.03	▲0.56	▲0.19	▲0.26	▲0.38	▲0.53	0.00	▲0.55	▲0.04	▲0.33	▲0.12
	(5)地域防災・防犯対策	▲0.06	0.11	0.02	▲0.24	▲0.22	0.00	0.25	▲0.35	▲0.17	▲0.12	▲0.15	▲0.04	0.13	▲0.07
	(6)消防体制の充実	0.46	0.55	0.49	0.32	0.32	0.70	0.73	0.31	0.16	0.39	0.63	0.21	0.46	0.43
	(7)救急体制の充実	0.44	0.44	0.40	0.54	0.46	0.34	0.69	0.33	0.44	0.48	0.50	0.40	0.40	0.46
	(1)市民活動支援	0.01	0.09	0.23	0.24	▲0.14	▲0.02	0.22	▲0.21	▲0.14	0.42	0.14	0.02	▲0.25	▲0.11
4 多様な 暮らしを 実現する	(2)人権啓発	▲0.08	0.13	0.28	▲0.10	▲0.06	0.21	▲0.11	▲0.17	▲0.19	0.42	▲0.15	▲0.30	▲0.42	▲0.38
	(3)スポーツ振興	0.22	0.34	0.39	0.40	0.24	0.14	0.48	0.17	0.40	0.46	0.35	0.16	▲0.02	▲0.24
	(4)文化・芸術振興	0.12	0.11	0.34	0.24	0.18	0.11	0.47	0.05	0.20	0.46	0.16	0.02	▲0.24	▲0.19
	(1)環境との共生	▲0.01	0.15	0.26	0.33	▲0.20	▲0.05	0.14	▲0.15	▲0.20	▲0.08	0.06	▲0.19	▲0.07	▲0.05
5 持続可能で 快適に暮 らす	(2)上水道の安定供給	0.87	0.89	1.02	0.82	0.76	1.00	0.95	0.75	0.75	0.88	0.95	0.88	1.03	0.74
	(3)下水道の安定運営	0.83	0.81	1.10	0.84	0.78	0.96	0.83	0.69	0.75	0.67	0.84	0.87	0.88	0.49
	(4)防災対策	0.13	0.29	0.24	0.02	0.12	0.20	0.30	0.00	0.00	0.22	0.02	0.13	0.19	▲0.05
	(5)土地の適正利用	▲0.71	▲0.57	▲0.53	▲0.50	▲1.11	▲0.73	▲0.59	▲0.92	▲0.94	▲0.90	▲0.67	▲0.71	▲0.54	▲0.75
	(6)移住定住促進	▲0.67	▲0.31	▲0.38	▲0.83	▲1.00	▲0.67	▲0.70	▲1.19	▲0.97	▲0.67	▲0.55	▲0.51	▲0.77	▲0.58
	(7)公共交通施策の推進	▲0.97	▲0.79	▲0.69	▲0.90	▲0.94	▲1.11	▲0.87	▲1.39	▲1.08	▲1.07	▲0.96	▲0.78	▲1.09	▲1.16
	(8)道路環境の整備	▲0.81	▲0.65	▲0.66	▲0.81	▲0.88	▲1.04	▲1.18	▲1.09	▲0.82	▲1.11	▲0.78	▲0.49	▲0.71	▲0.81
	(9)都市景観の形成	▲0.47	▲0.32	▲0.27	▲0.31	▲0.68	▲0.49	▲0.58	▲0.46	▲0.45	▲0.44	▲0.62	▲0.43	▲0.56	▲0.55
	(10)公園整備・緑化推進	▲0.43	▲0.37	▲0.44	▲0.18	▲0.59	▲0.50	▲0.21	▲0.22	▲0.49	▲0.36	▲0.65	▲0.39	▲0.15	▲0.65
	(11)住環境の整備・空き家等対策	▲0.99	▲1.03	▲0.78	▲0.74	▲1.14	▲0.64	▲0.90	▲1.51	▲1.09	▲1.10	▲1.04	▲0.86	▲1.06	▲1.25
	(1)健全な財政運営	▲0.44	▲0.39	▲0.41	▲0.32	▲0.52	▲0.45	▲0.43	▲0.70	▲0.44	0.31	▲0.46	▲0.37	▲0.46	▲0.49
6 推進財政 改革の	(2)行政の改革	▲0.55	▲0.28	▲0.51	▲0.30	▲0.70	▲0.43	▲0.54	▲0.90	▲0.64	▲0.29	▲0.53	▲0.52	▲0.73	▲0.60
	(3)計画的な施設管理	▲0.48	▲0.40	▲0.39	▲0.09	▲0.91	▲0.32	▲0.46	▲0.73	▲0.53	▲0.24	▲0.41	▲0.29	▲0.56	▲0.62
	(4)デジタル化の推進	▲0.53	▲0.47	▲0.25	▲0.47	▲0.90	▲0.62	▲0.74	▲0.87	▲0.47	▲0.33	▲0.58	▲0.31	▲0.55	▲0.55
	(5)市民との連携促進	▲0.50	▲0.38	▲0.25	▲0.43	▲0.85	▲0.55	▲0.43	▲0.93	▲0.59	▲0.19	▲0.43	▲0.33	▲0.47	▲0.56

評価がプラスの項目(全40項目中)	8	13	15	11	7	8	11	7	6	10	12	11	6	6
全体よりも評価が低い項目(全40項目中)		7	2	12	33	23	13	33	29	20	14	10	31	26
最も評価の高い項目数(全40項目中)		5	10	6	0	1	8	1	0	4	0	3	2	0
最も評価の低い項目数(全40項目中)		0	0	0	9	0	2	10	3	4	1	0	7	4

▲：マイナス
下線：各項目で最も評価の高いもの
■：全体より評価が低いもの
斜体：各項目で最も評価の低いもの

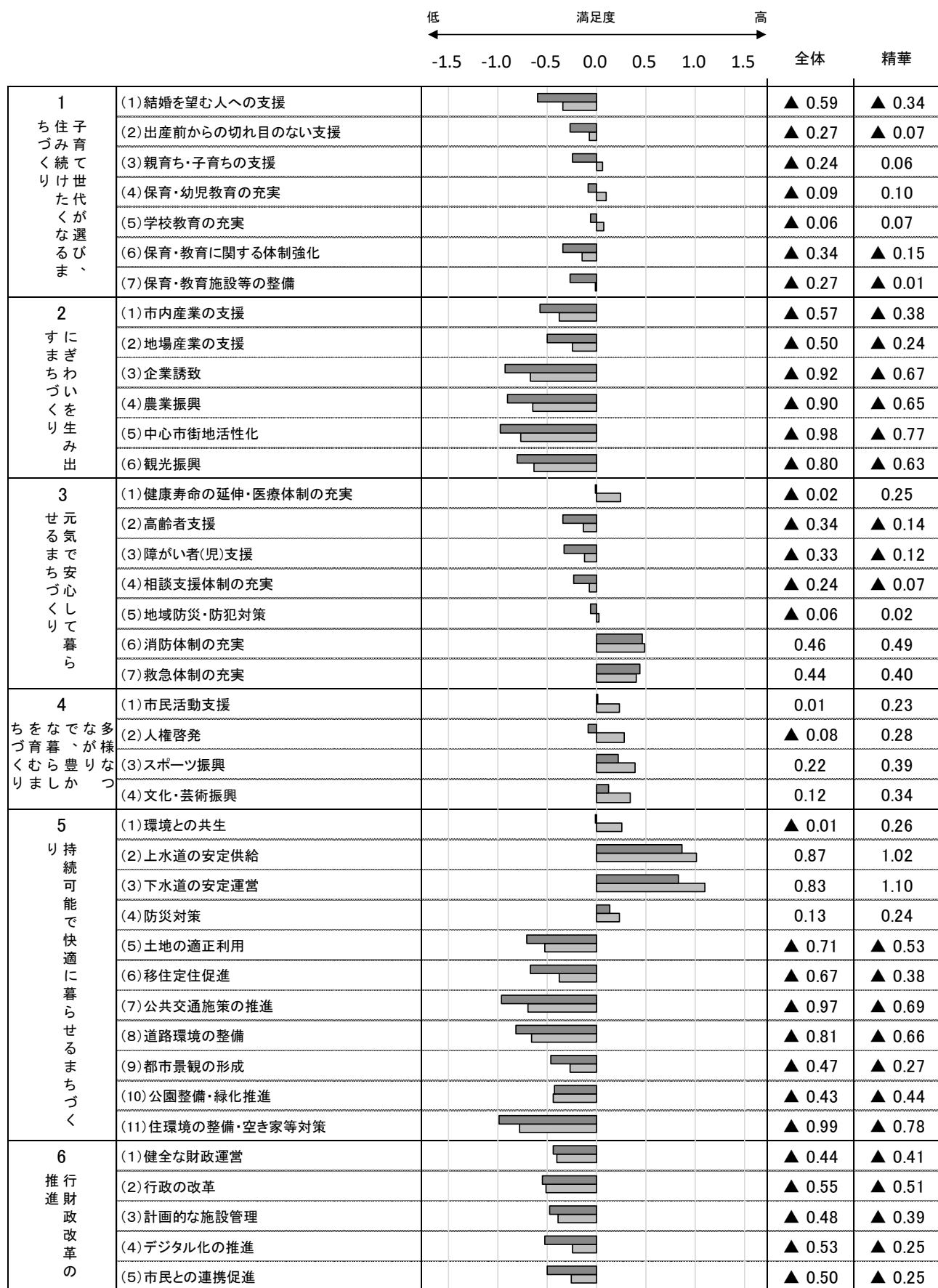
図 4-1-4 「市政への満足度」(養正小学校区)



■ 全体

■ 養正

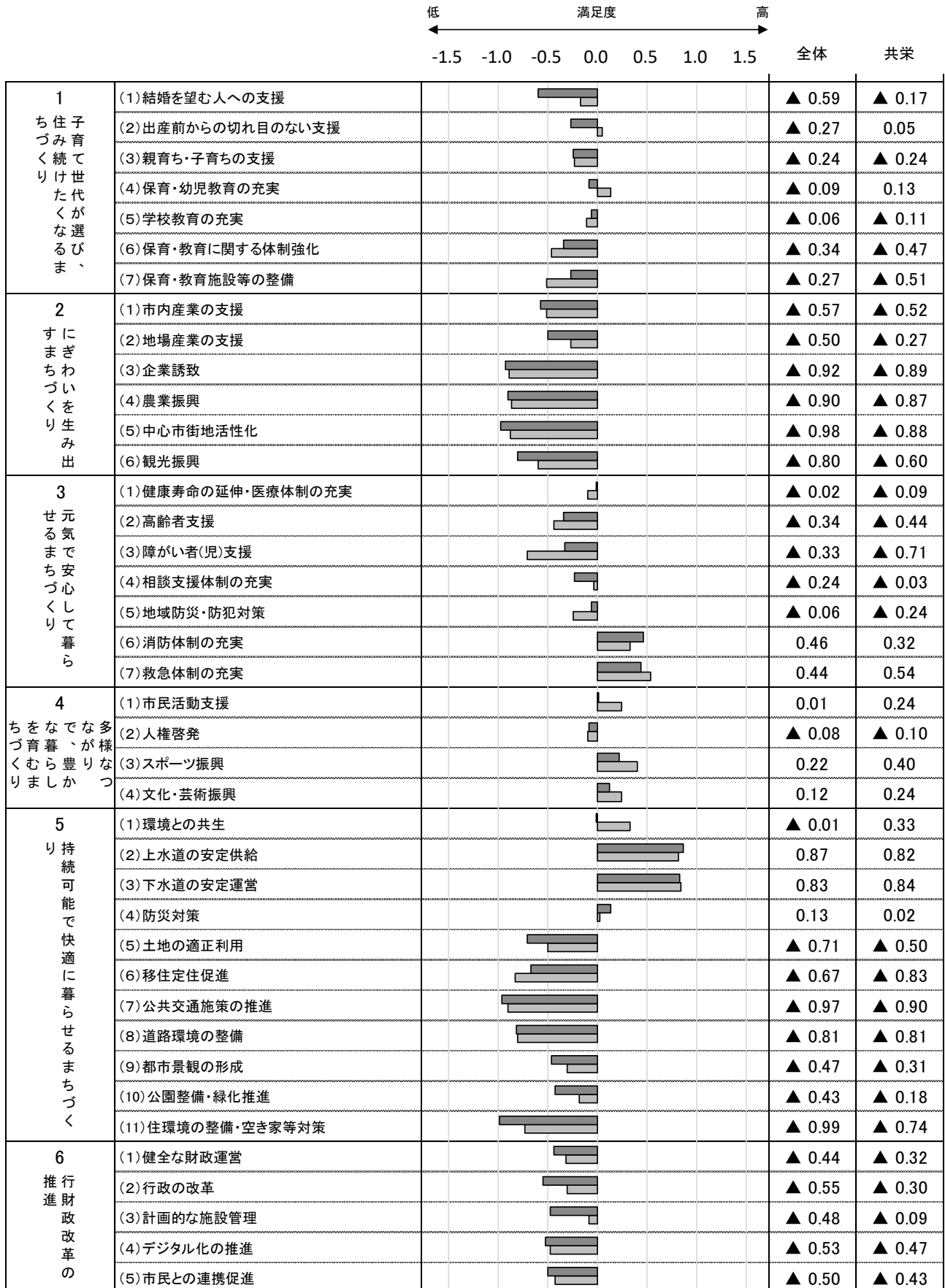
図 4-1-5 「市政への満足度」(精華小学校区)



■ 全体

□ 精華

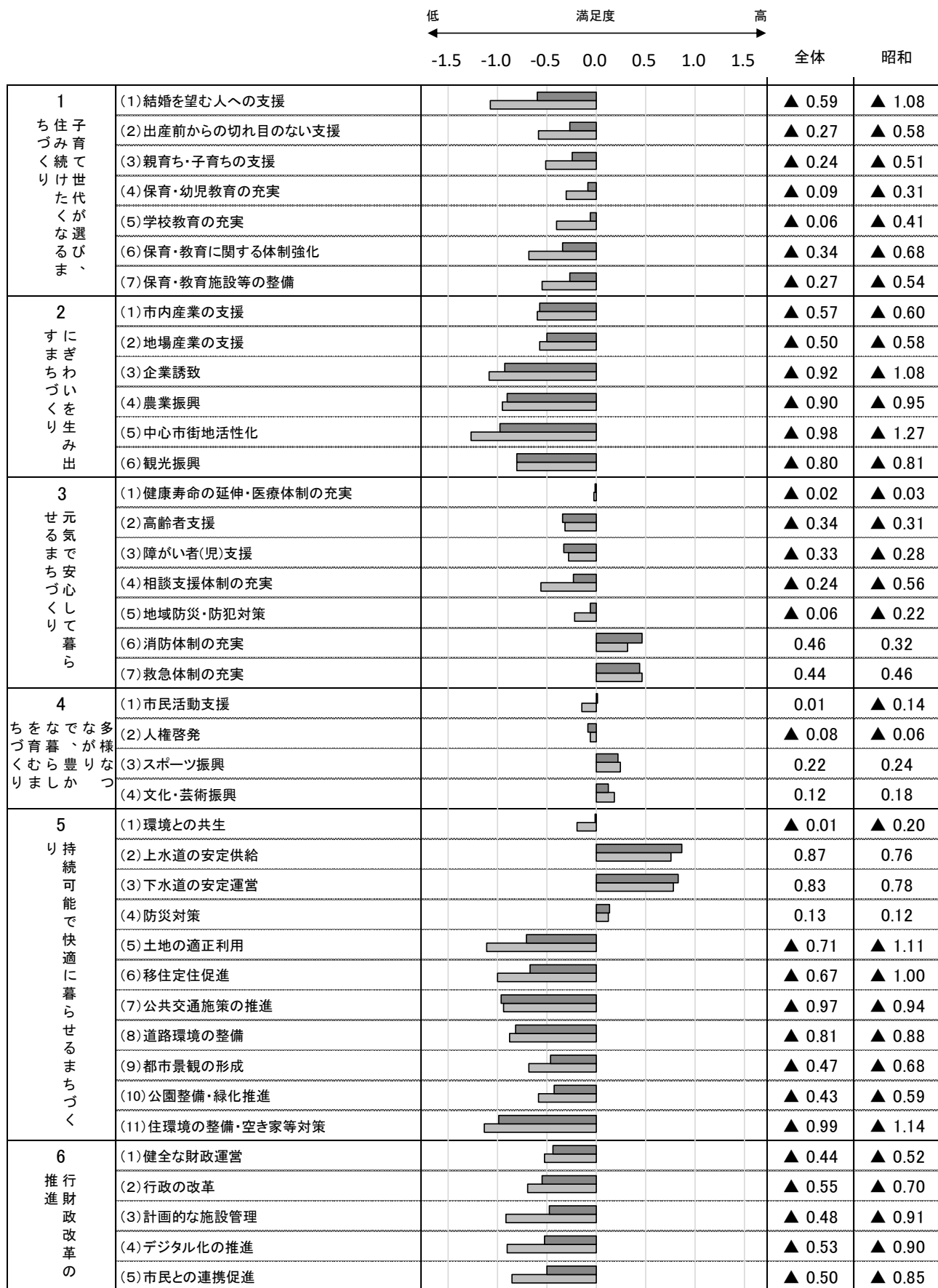
図 4-1-6 「市政への満足度」(共栄小学校区)



■ 全体

■ 共栄

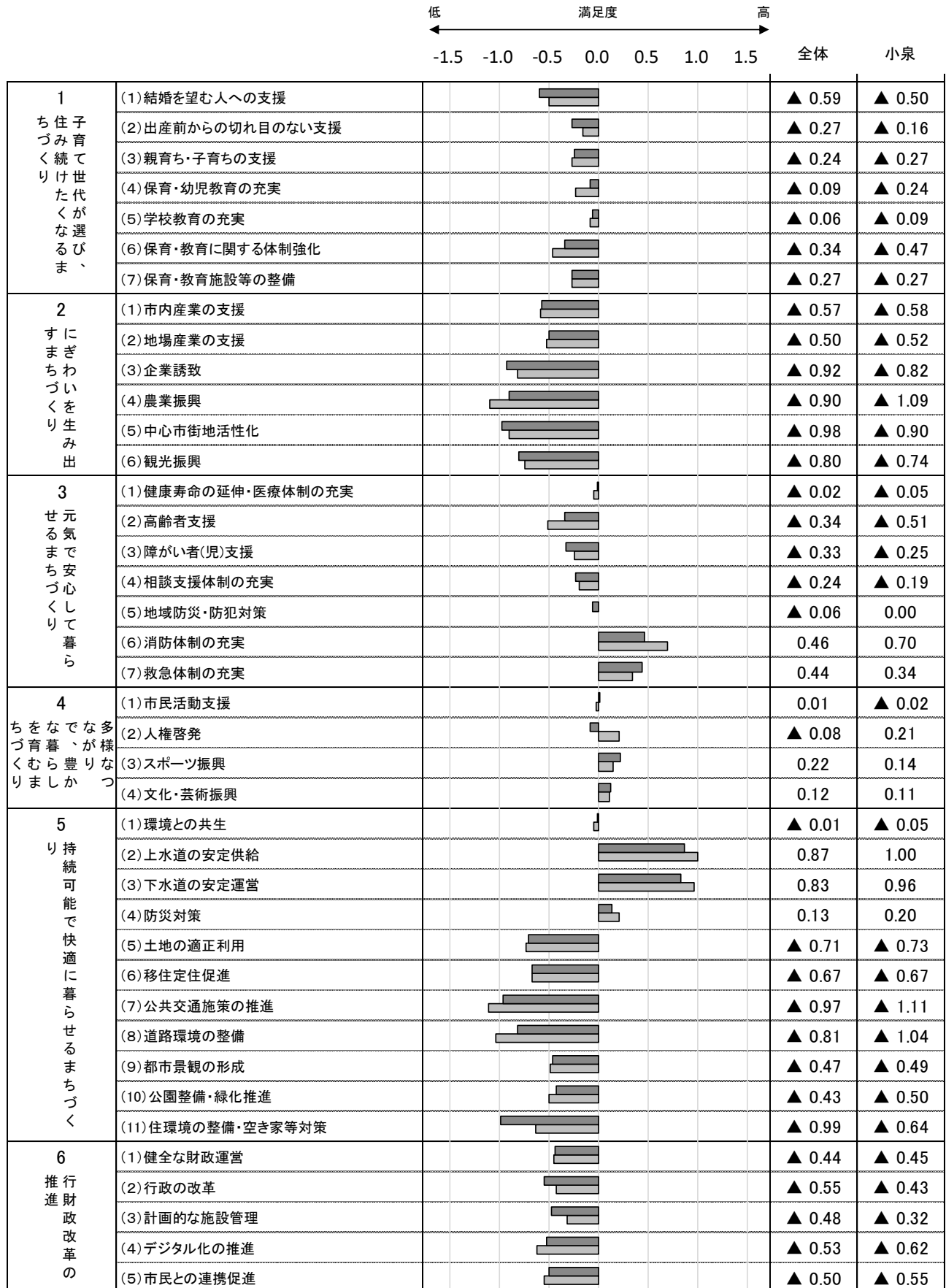
図 4-1-7 「市政への満足度」(昭和小学校区)



■ 全体

□ 昭和

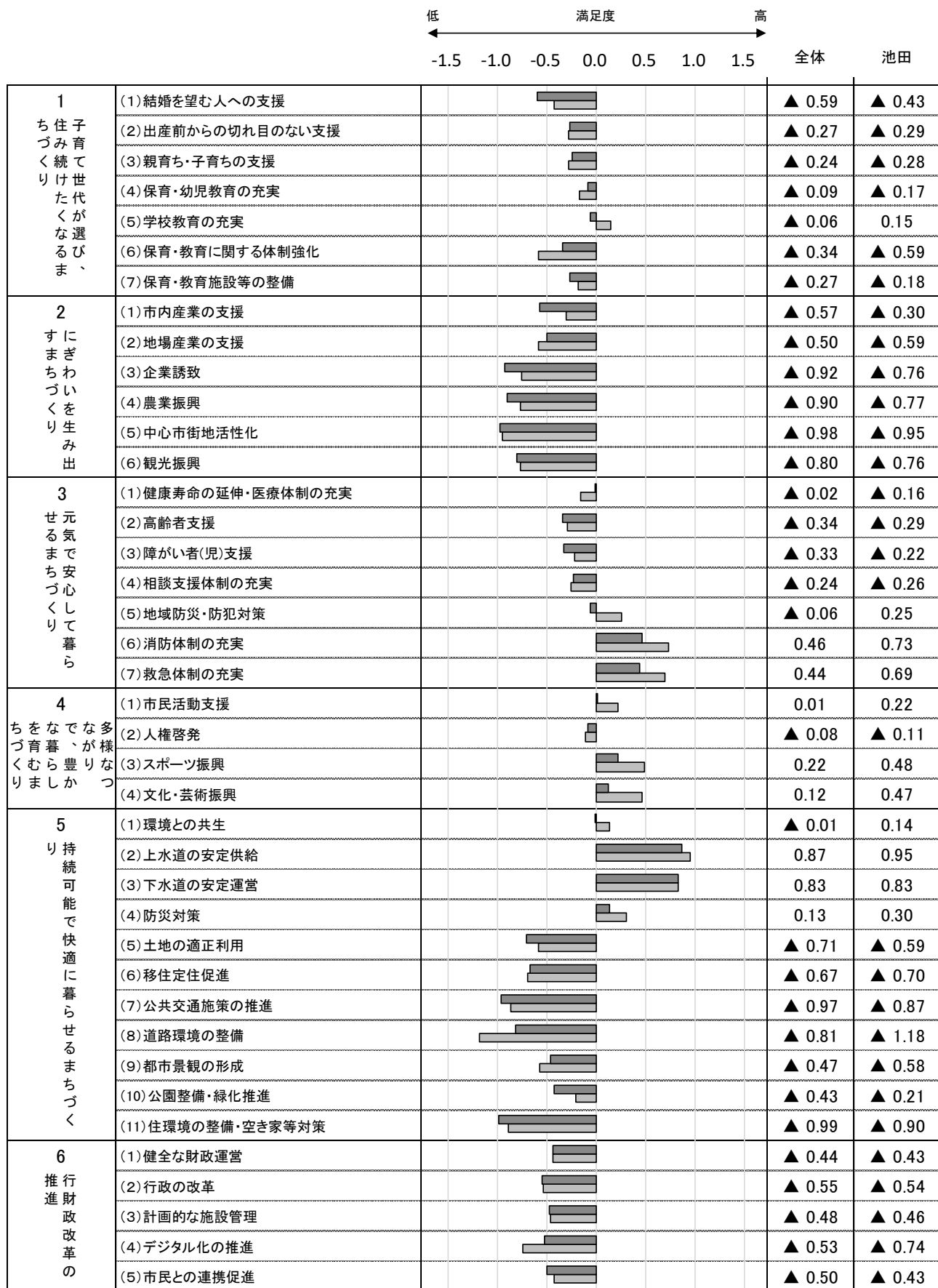
図 4-1-8 「市政への満足度」(小泉小学校区)



■ 全体

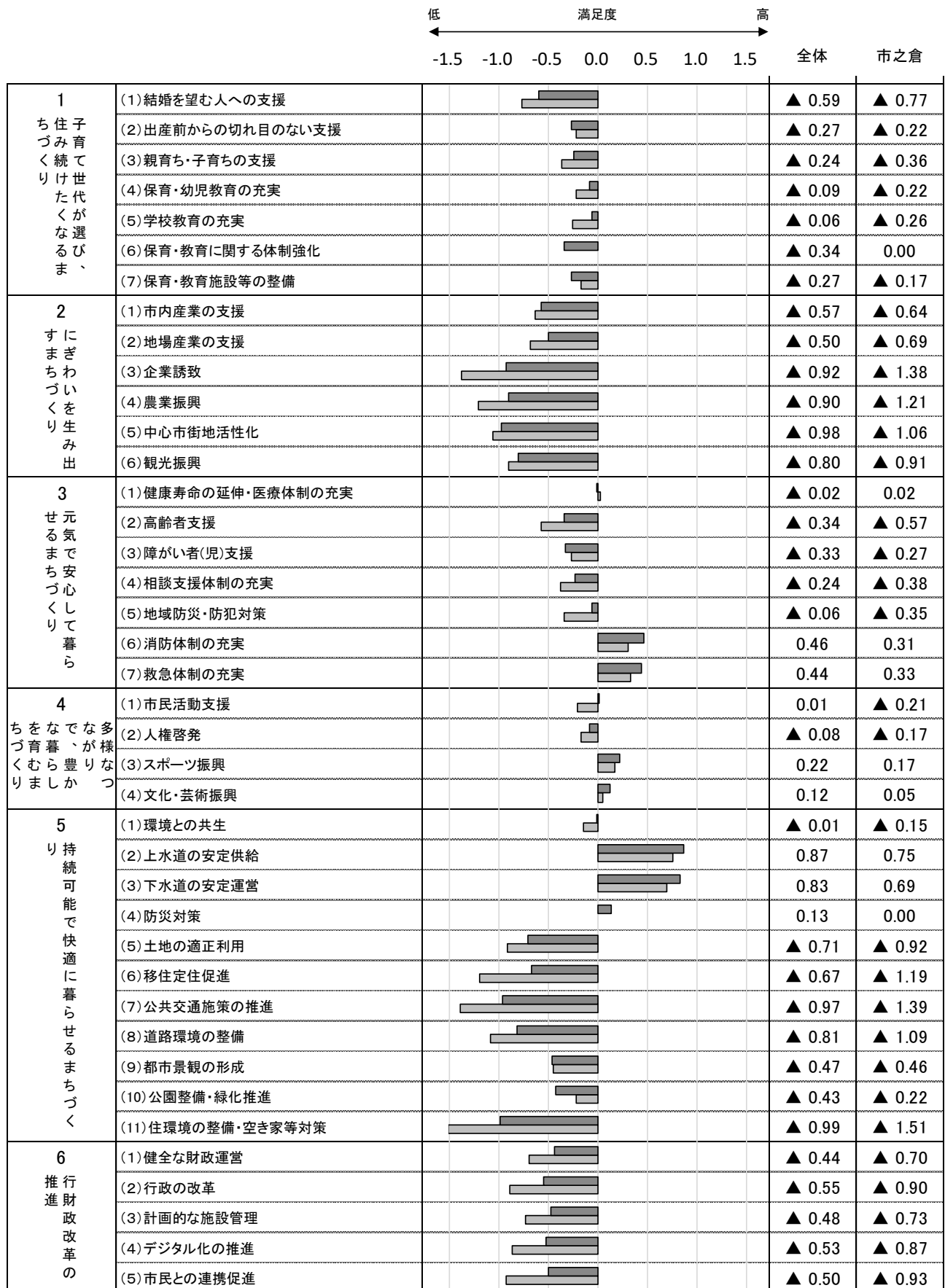
■ 小泉

図 4-1-9 「市政への満足度」(池田小学校区)



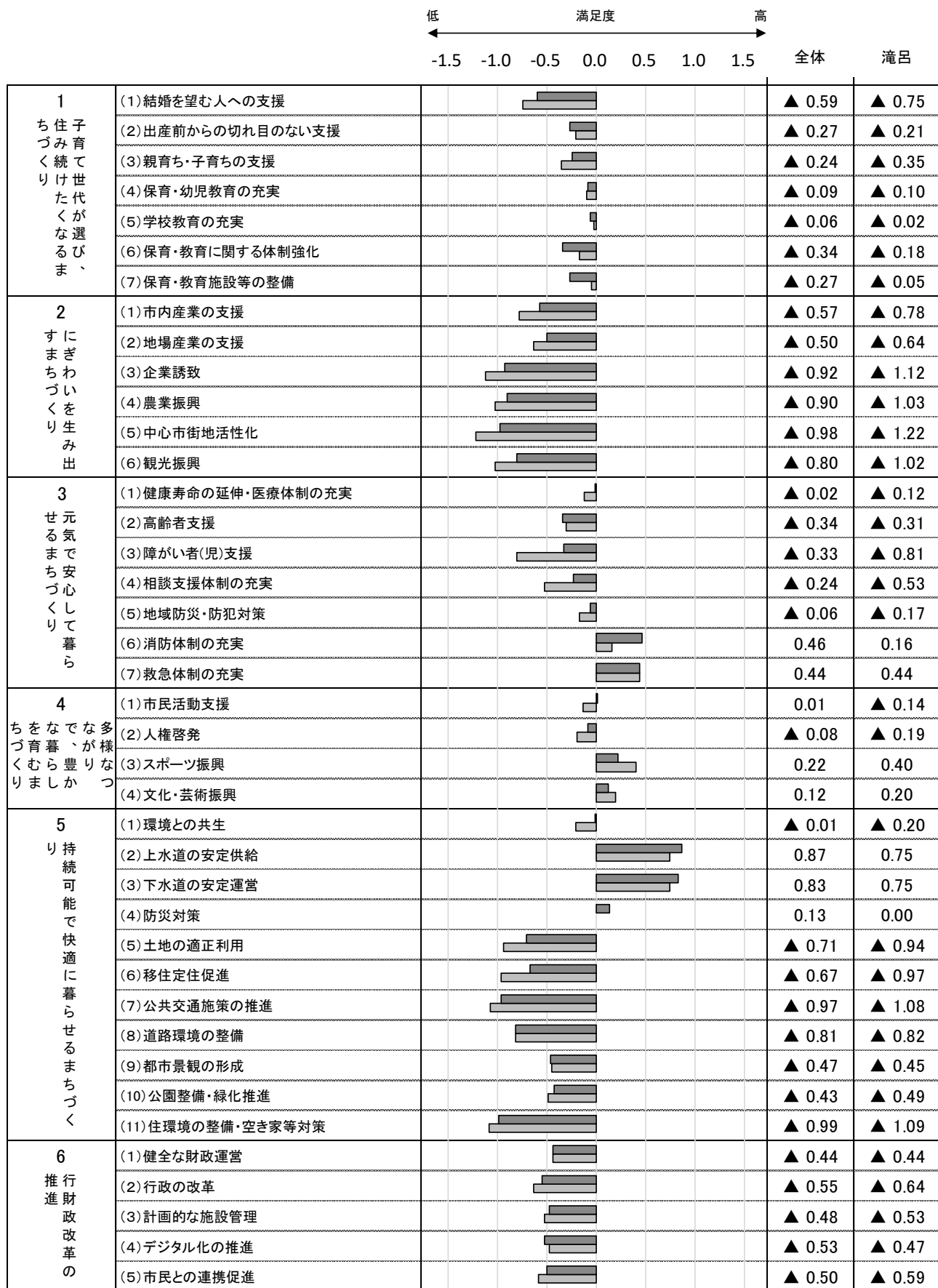
■ 全体 ■ 池田

図 4-1-10 「市政への満足度」(市之倉小学校区)



■ 全体 ■ 市之倉

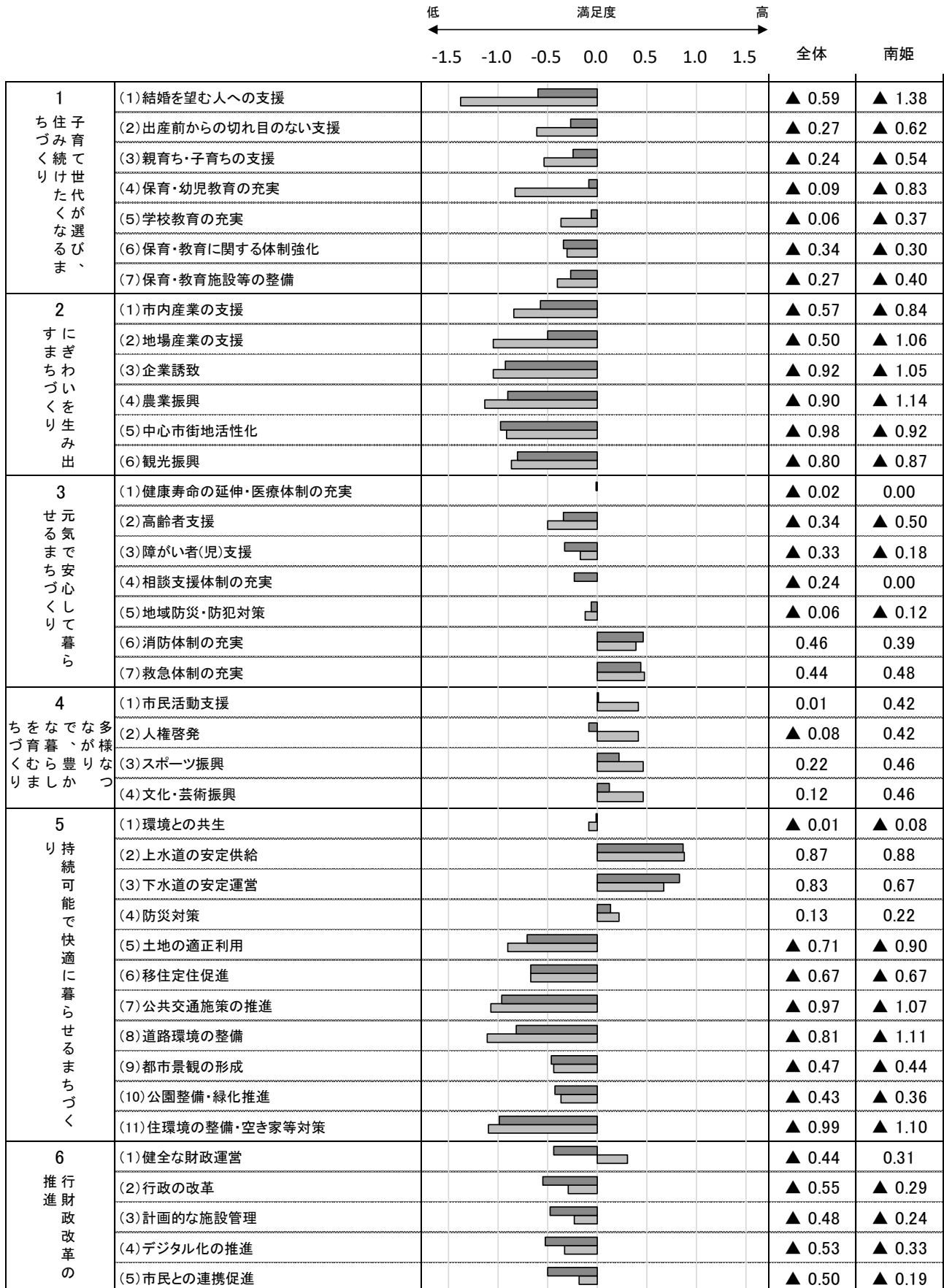
図 4-1-11 「市政への満足度」(滝呂小学校区)



■ 全体

■ 滝呂

図 4-1-12 「市政への満足度」(南姫小学校区)



■ 全体

■ 南姫

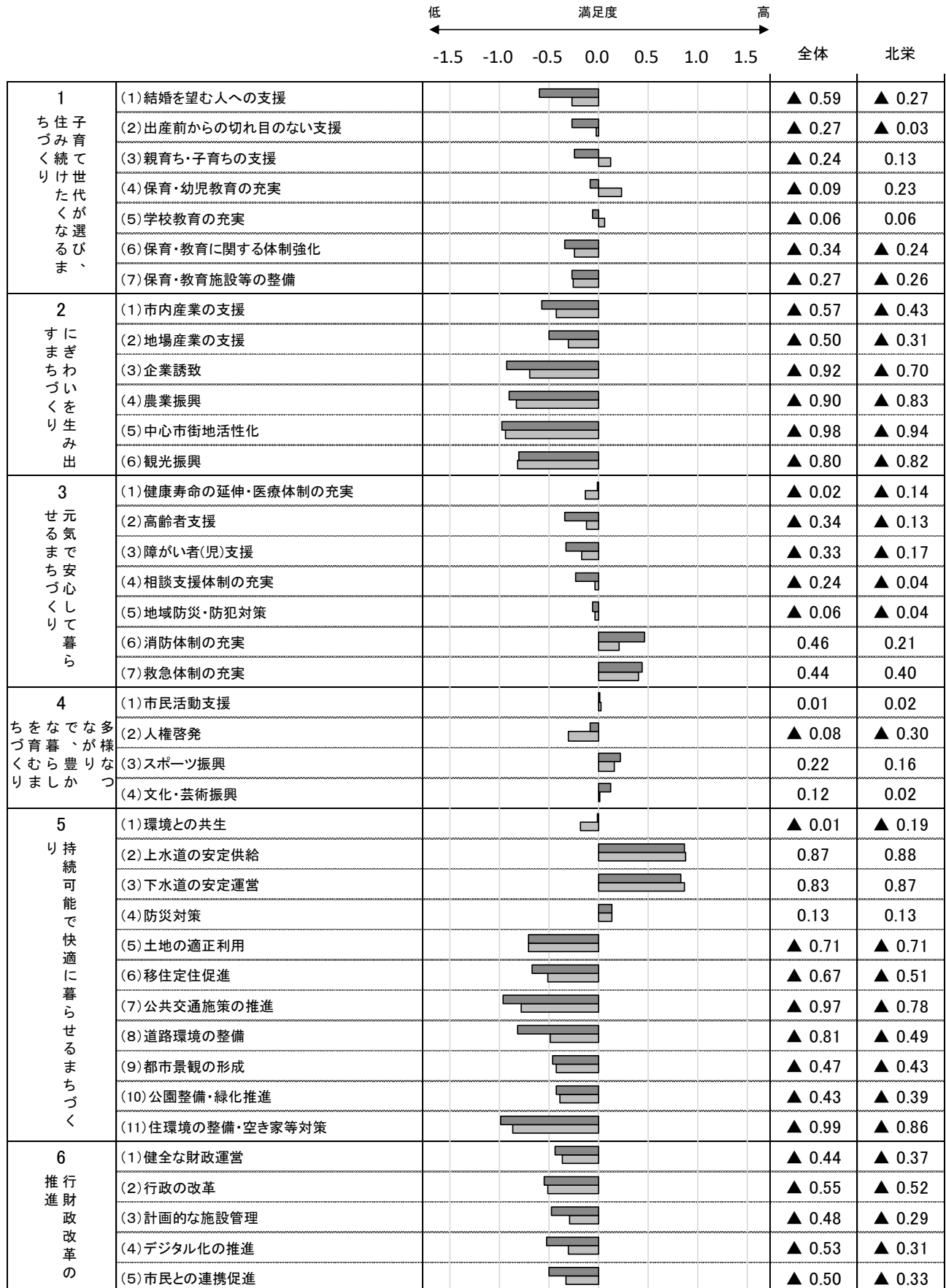
図 4-1-13 「市政への満足度」(根本小学校区)



■ 全体

■ 根本

図 4-1-14 「市政への満足度」(北栄小学校区)



■ 全体

■ 北栄

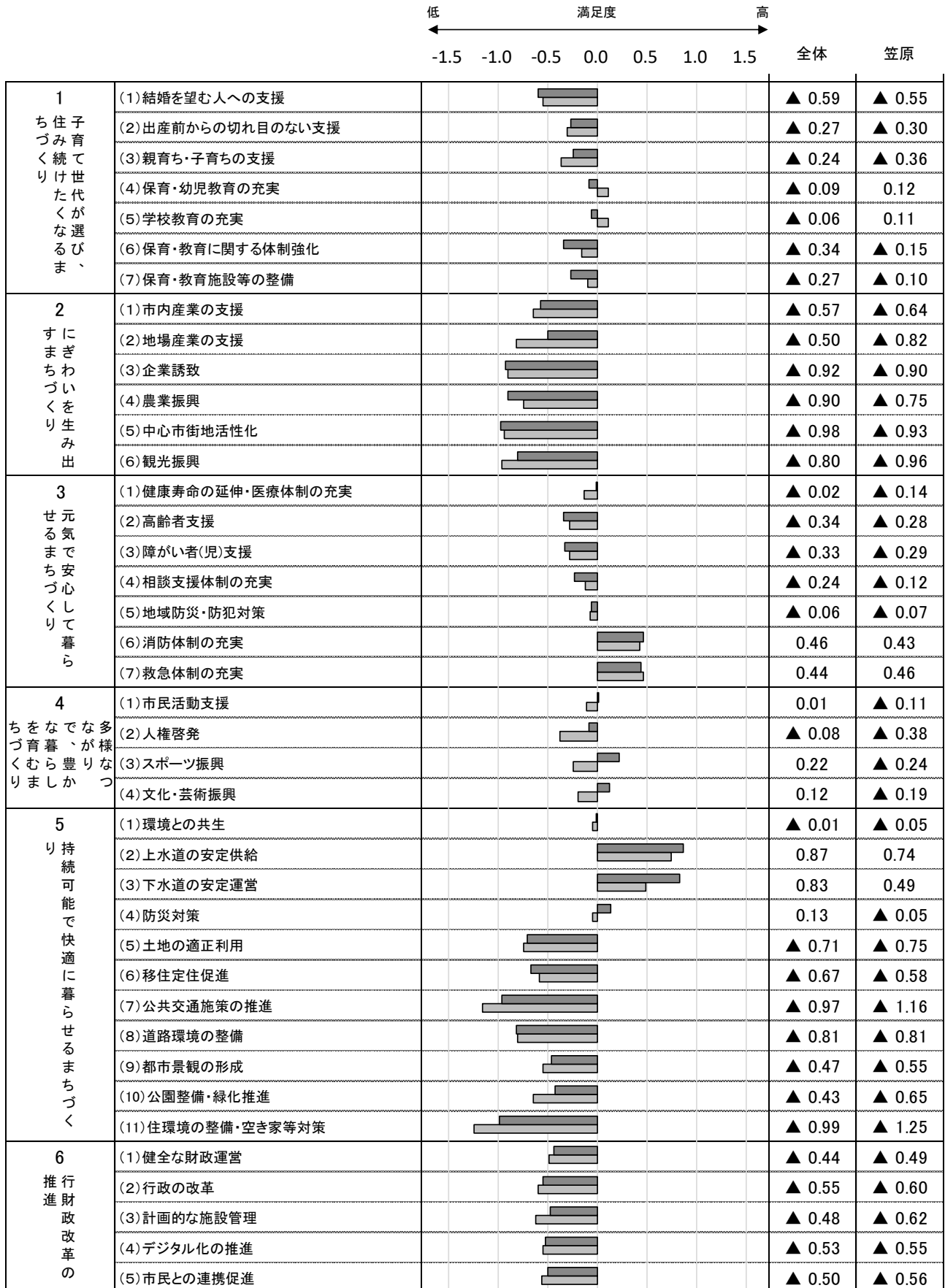
図 4-1-15 「市政への満足度」(脇之島小学校区)



■ 全体

■ 脇之島

図 4-1-16 「市政への満足度」(笠原小学校区)



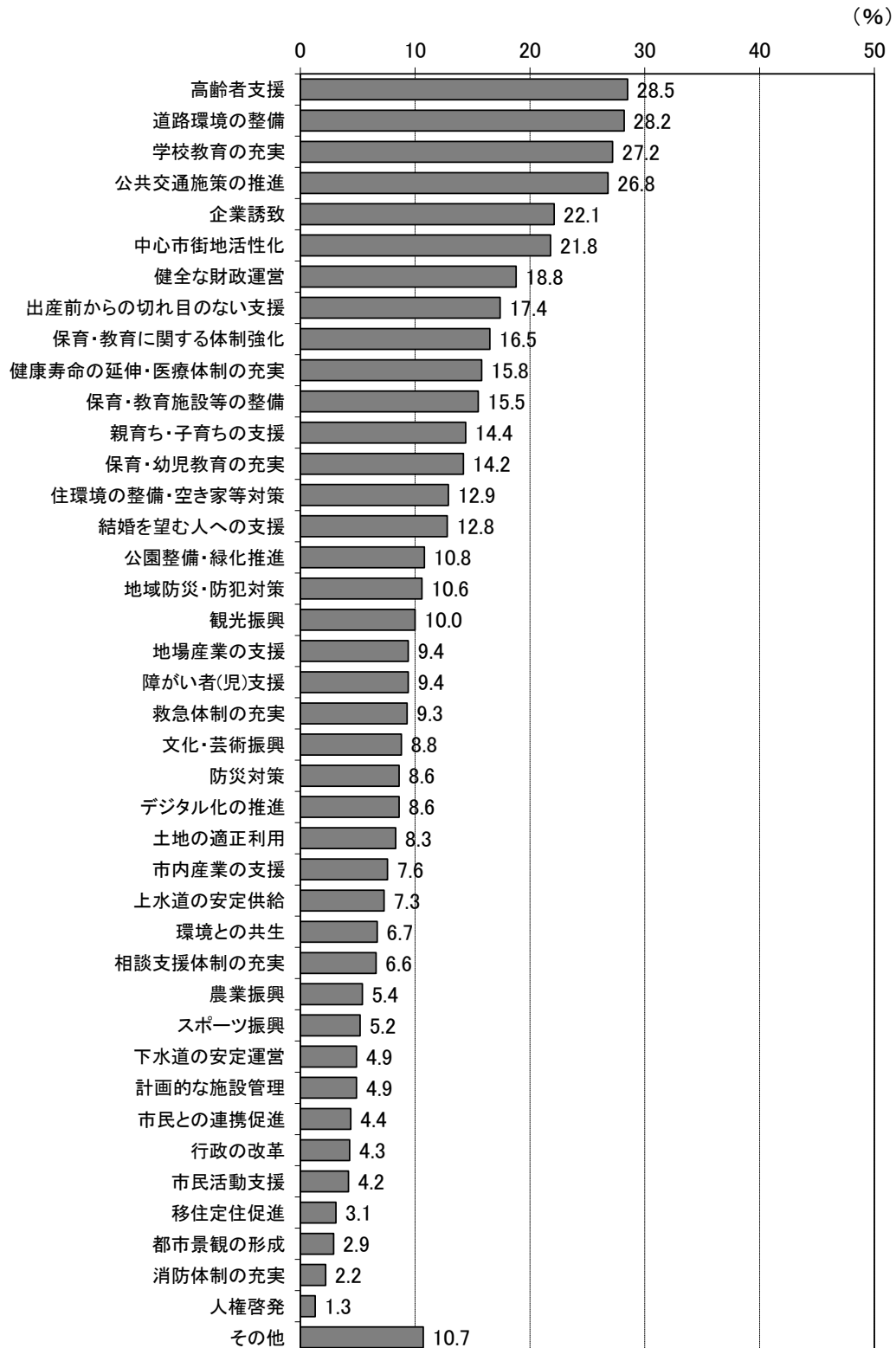
■ 全体

■ 笠原

4-2 今後力を入れてほしい施策

「高齢者支援」が28.5%と最も高く、次いで「道路環境の整備」が28.2%、「学校教育の充実」が27.2%となっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」



性別にみると、「女性」は「高齢者支援」、「男性」は「道路環境の整備」が最も高くなっている。また、「企業誘致」は「男性」が 28.4%と、「女性」の 17.9%と比べて 10.5 ポイント高い。

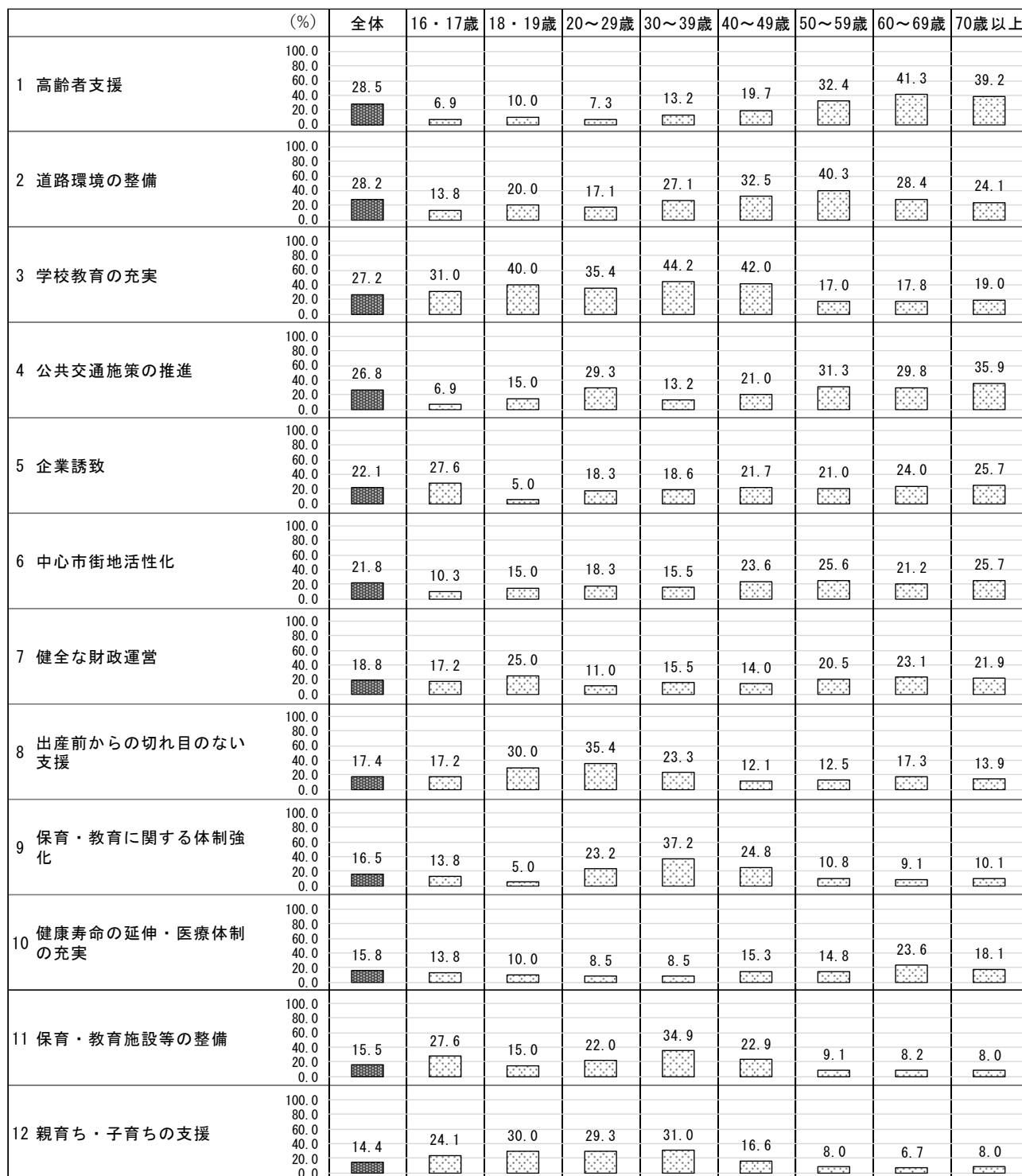
図 4-2-2 性別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「16・17 歳」「18・19 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」では「学校教育の充実」、「50～59 歳」では「道路環境の整備」、「60～69 歳」「70 歳以上」では「高齢者支援」がそれぞれ最も高くなっている。「20～29 歳」では「出産前からの切れ目のない支援」と「学校教育の充実」が同率で最も高くなっている。

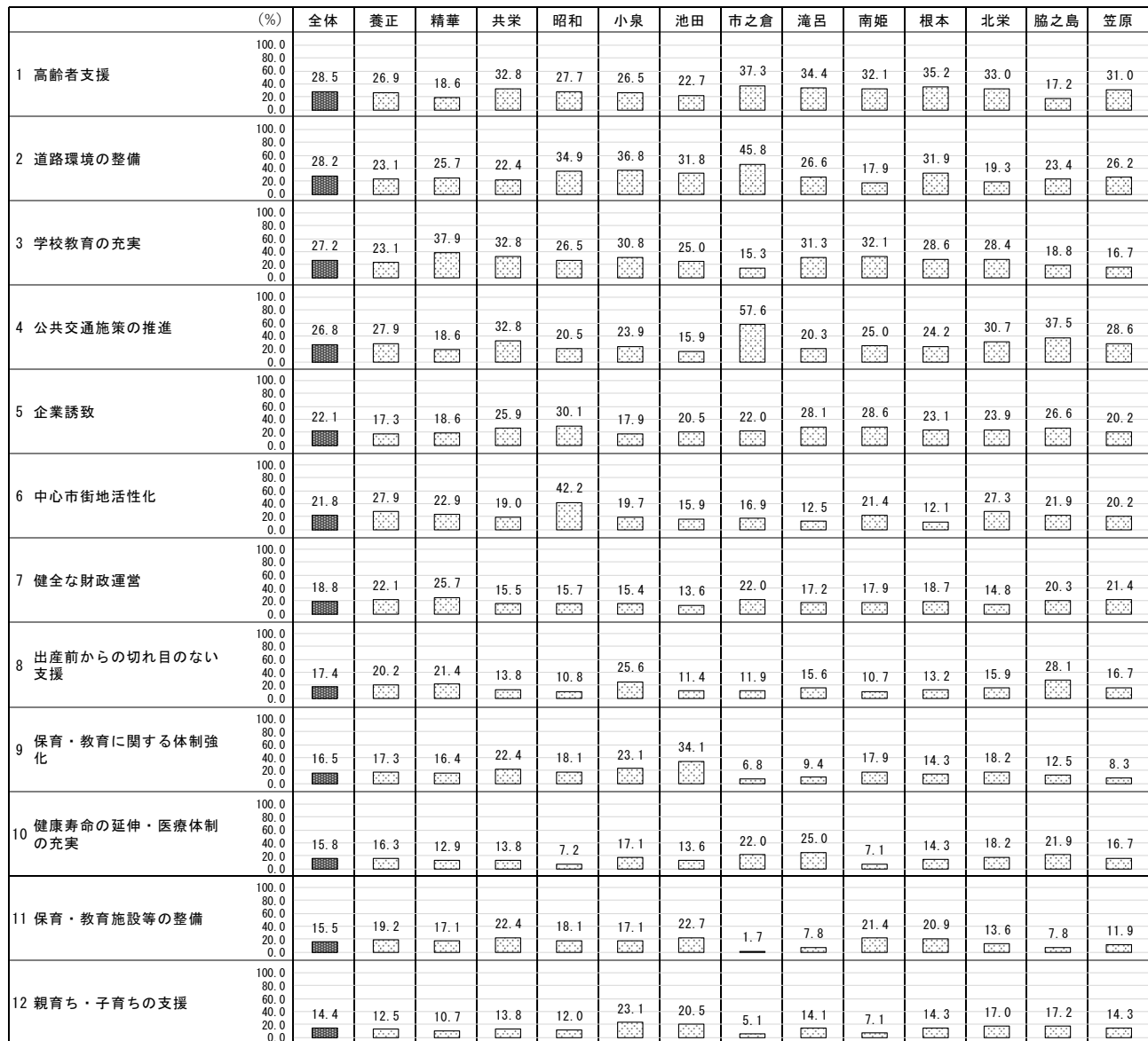
図 4-2-3 年代別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



小学校区別にみると、「精華」では「学校教育の充実」、「昭和」では「中心市街地活性化」、「小泉」では「道路環境の整備」、「池田」では「保育・教育に関する体制強化」、「市之倉」「脇之島」では「公共交通施策の推進」、「滝呂」「根本」「北栄」「笠原」では「高齢者支援」がそれぞれ最も高くなっている。「養正」では「中心市街地活性化」と「公共交通施策の推進」、「共栄」では「学校教育の充実」と「高齢者支援」と「公共交通施策の推進」、「南姫」では「学校教育の充実」と「高齢者支援」が同率で最も高くなっている。

また、「公共交通施策の推進」は特に「市之倉」で高くなっており、5 割を超えている。

図 4-2-4 小学校区別「今後力を入れてほしい施策」(上位 12 項目)



【市民意識調査 一般】

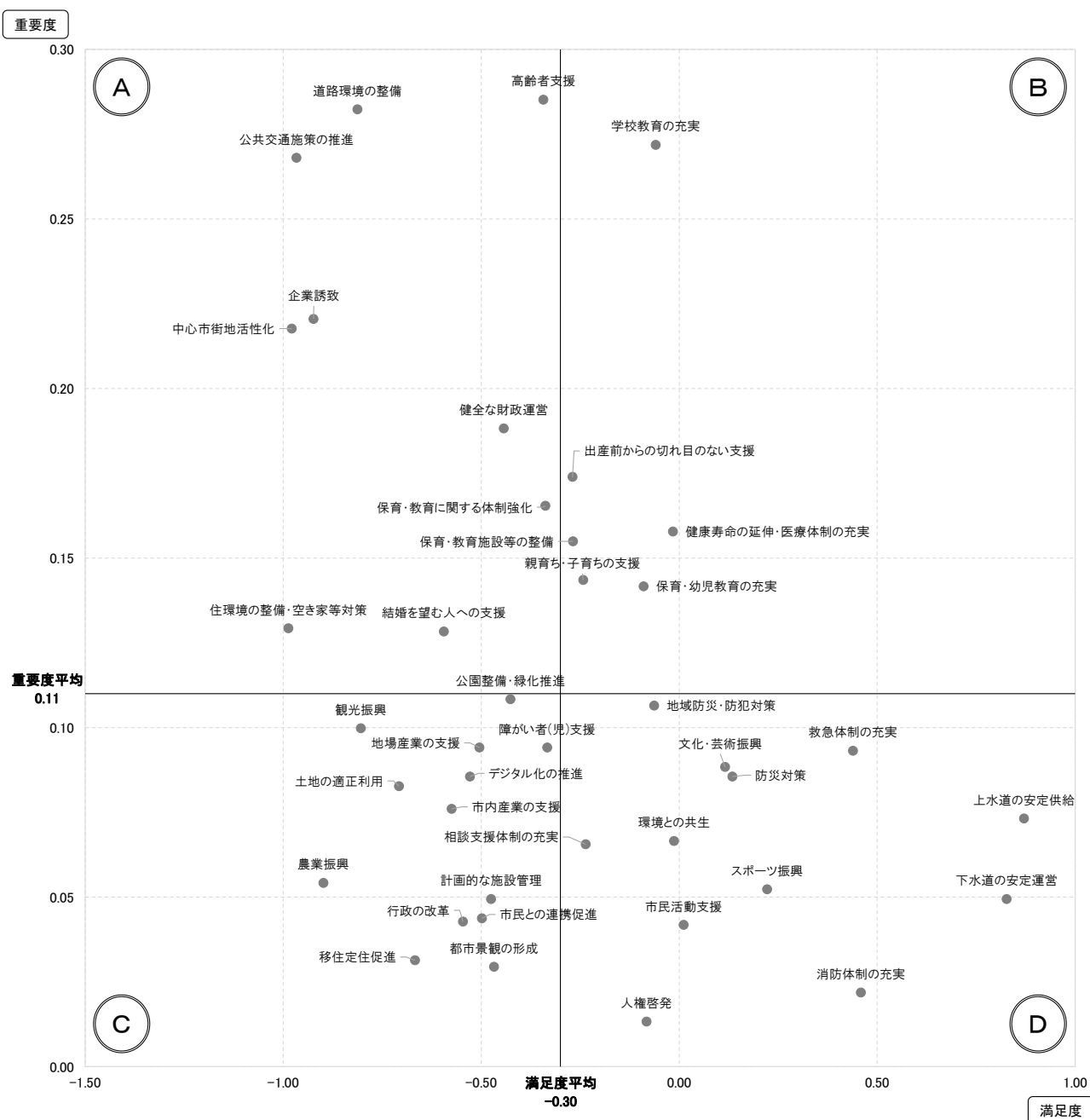
市の施策項目ごとに、重要度の評価得点をつけて評価している。評価得点は、今後力を入れてほしい施策として選択された選択肢に対して点数をつけて算出している。算出にあたっては、以下の式を用いている。

算出した満足度と重要度の評価得点をもとに、満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸として、4つの領域に分割して分析する。

《評価得点の算出式》

$$\text{重要度} = \frac{\text{選択肢を選んだ人数} \times 1 \text{ 点}}{\text{回答者数}}$$

図 4-2-5 「市政への満足度(満足度)」と「今後力を入れてほしい施策(重要度)」による散布図



以上の方法により、満足度と重要度をまとめると、各項目の分類は以下のようになる。

A=満足度が低く、重要度が高い(最優先で改善すべき施策)

- | | | |
|----------------|------------|----------------|
| ○結婚を望む人への支援 | ○中心市街地活性化 | ○道路環境の整備 |
| ○保育・教育に関する体制強化 | ○高齢者支援 | ○住環境の整備・空き家等対策 |
| ○企業誘致 | ○公共交通施策の推進 | ○健全な財政運営 |

B=満足度も重要度も高い(現状の水準を引き続き重点的に維持すべき施策)

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| ○出産前からの切れ目のない支援 | ○保育・幼児教育の充実 | ○保育・教育施設等の整備 |
| ○親育ち・子育ての支援 | ○学校教育の充実 | ○健康寿命の延伸・医療体制の充実 |

C=満足度も重要度も低い(重要度は低い、満足度の向上を意識して改善すべき施策)

- | | | |
|----------|------------|------------|
| ○市内産業の支援 | ○障がい者(児)支援 | ○公園整備・緑化推進 |
| ○地場産業の支援 | ○土地の適正利用 | ○行政の改革 |
| ○農業振興 | ○移住定住促進 | ○計画的な施設管理 |
| ○観光振興 | ○都市景観の形成 | ○デジタル化の推進 |
| | | ○市民との連携促進 |

D=満足度が高く、重要度が低い(重要度は低い、現状の水準を維持すべき施策)

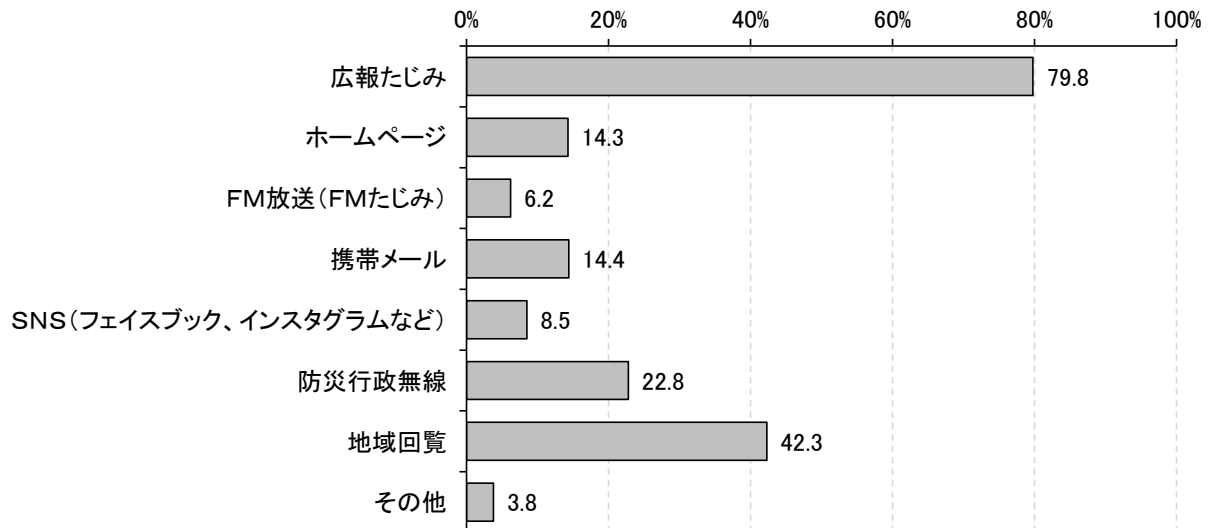
- | | | |
|------------|----------|-----------|
| ○相談支援体制の充実 | ○市民活動支援 | ○環境との共生 |
| ○地域防災・防犯対策 | ○人権啓発 | ○上水道の安定供給 |
| ○消防体制の充実 | ○スポーツ振興 | ○下水道の安定運営 |
| ○救急体制の充実 | ○文化・芸術振興 | ○防災対策 |

5. 情報提供について

5-1 市の情報を得ている媒体

「広報たじみ」が79.8%と最も高く、次いで「地域回覧」が42.3%、「ホームページ」が14.3%となっている。

図 5-1-1 「市の情報を得ている媒体」



性別にみると、「広報たじみ」が男性・女性ともに最も高くなっており、「女性」で 82.3%、「男性」で 76.5%となっている。また、「携帯メール」では「女性」が 18.4%、「男性」が 9.2%となっており、「女性」が「男性」を 9.2ポイント上回っている。

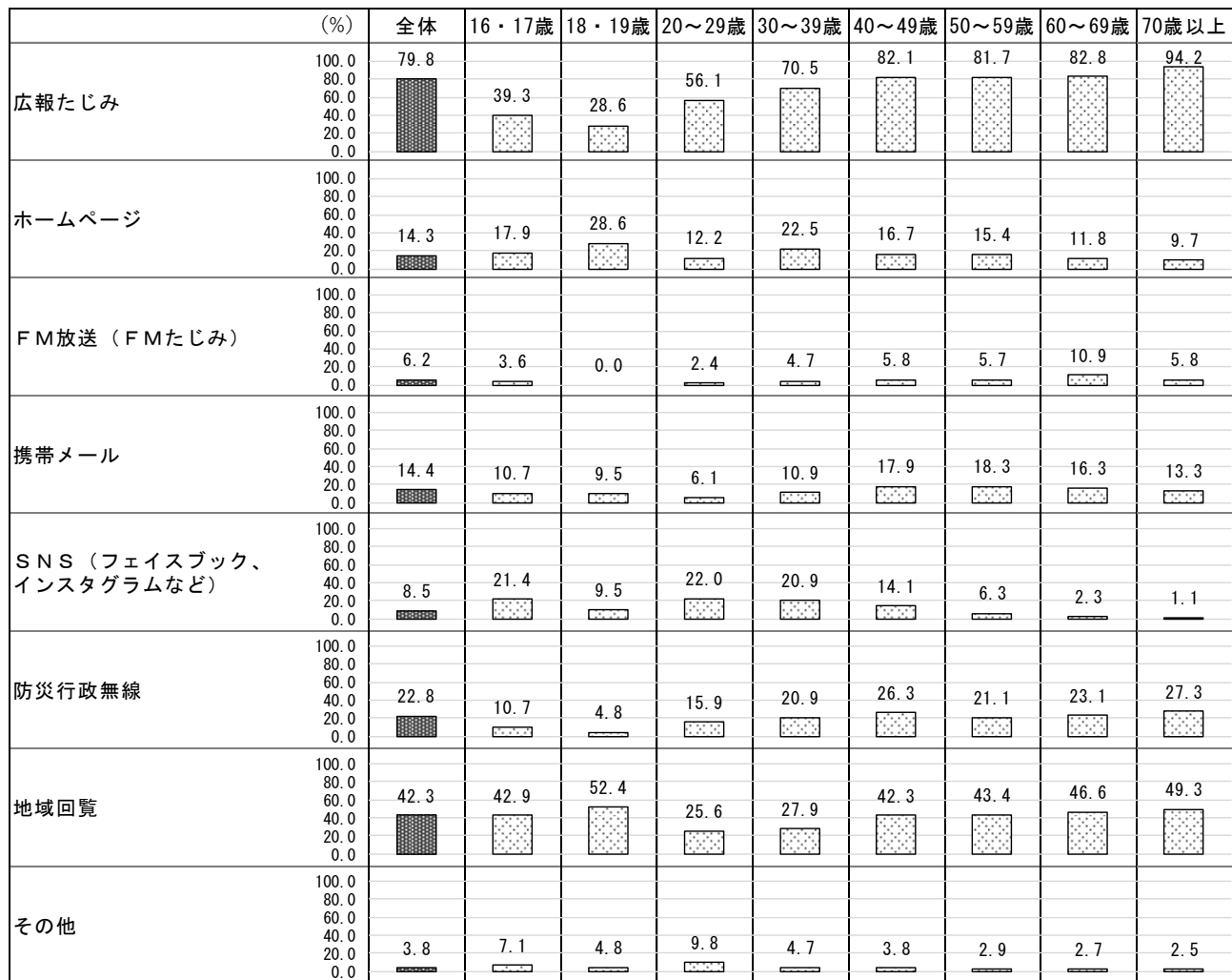
図 5-1-2 性別「市の情報を得ている媒体」



【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「16・17 歳」「18・19 歳」では「地域回覧」、「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」は「広報たじみ」がそれぞれ最も高くなっている。

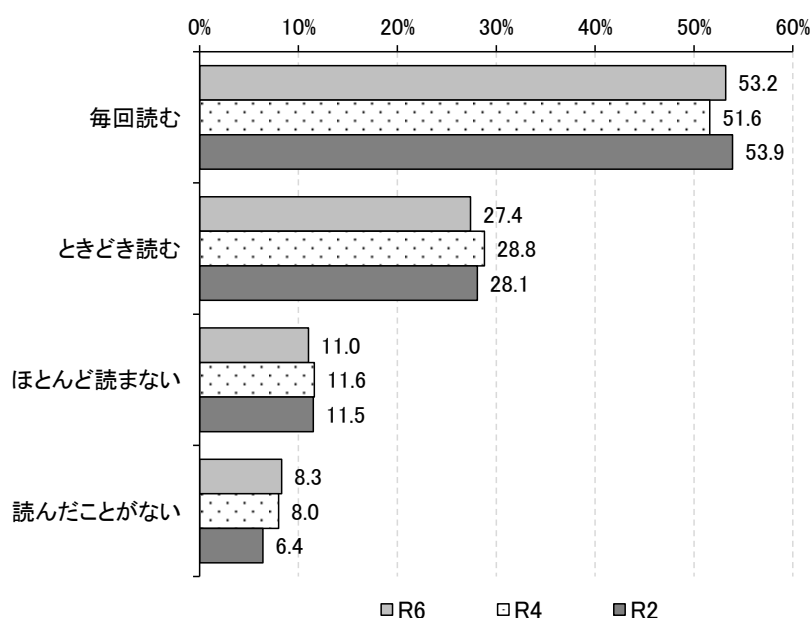
図 5-1-3 年代別「市の情報を得ている媒体」



5-2 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

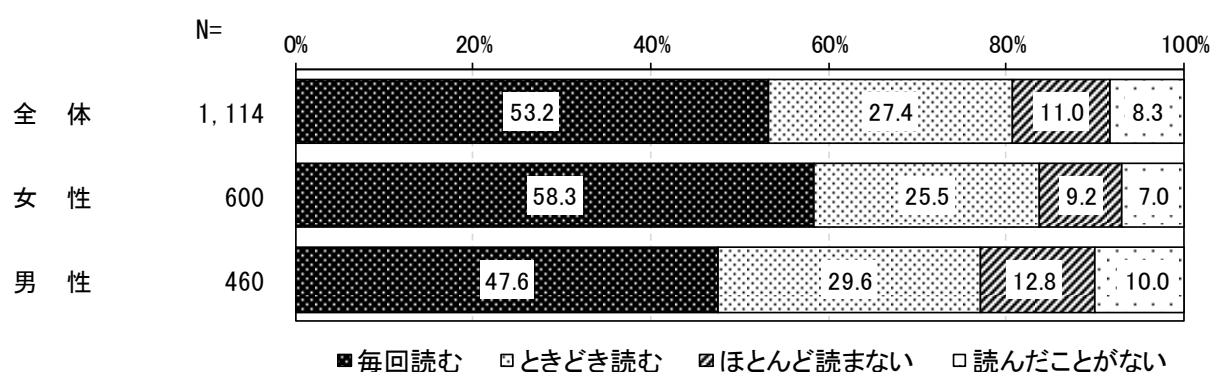
「毎回読む」が 53.2%と最も高く、次いで「ときどき読む」が 27.4%、「ほとんど読まない」が 11.0%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は 80.6%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は 19.3%となっている。

図 5-2-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



“読む”は「女性」で 83.8%、「男性」で 77.2%となっている。特に「毎回読む」は「女性」が 58.3%であるのに対して、「男性」は 47.6%と「女性」よりも 10.7 ポイント低くなっている。一方で“読まない”は「女性」で 16.2%、「男性」で 22.8%となっている。

図 5-2-2 性別「広報たじみの閲読頻度」

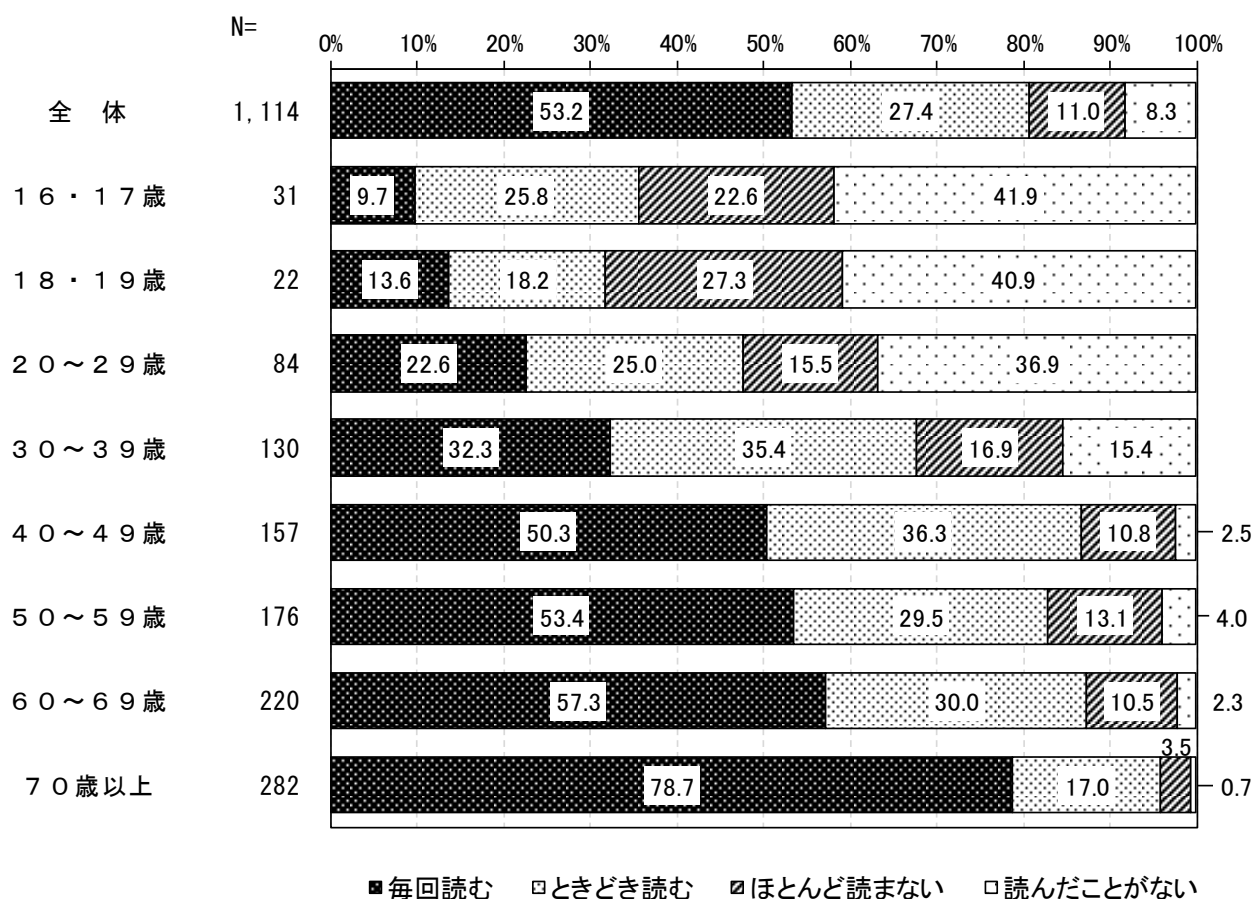


【市民意識調査 一般】

年代が上がるにつれて、「毎回読む」の割合は増加し、「70 歳以上」では 78.7%となっている。また、“読む”は「40～49 歳」以上で 7 割以上となり、特に「70 歳以上」は 95.7%となっている。

一方で「読んだことがない」は「16・17 歳」では 41.9%、「18～19 歳」では 40.9%、「20～29 歳」では 36.9%と他の年代に比べて高くなっている。

図 5-2-3 年代別「広報たじみの阅读頻度」

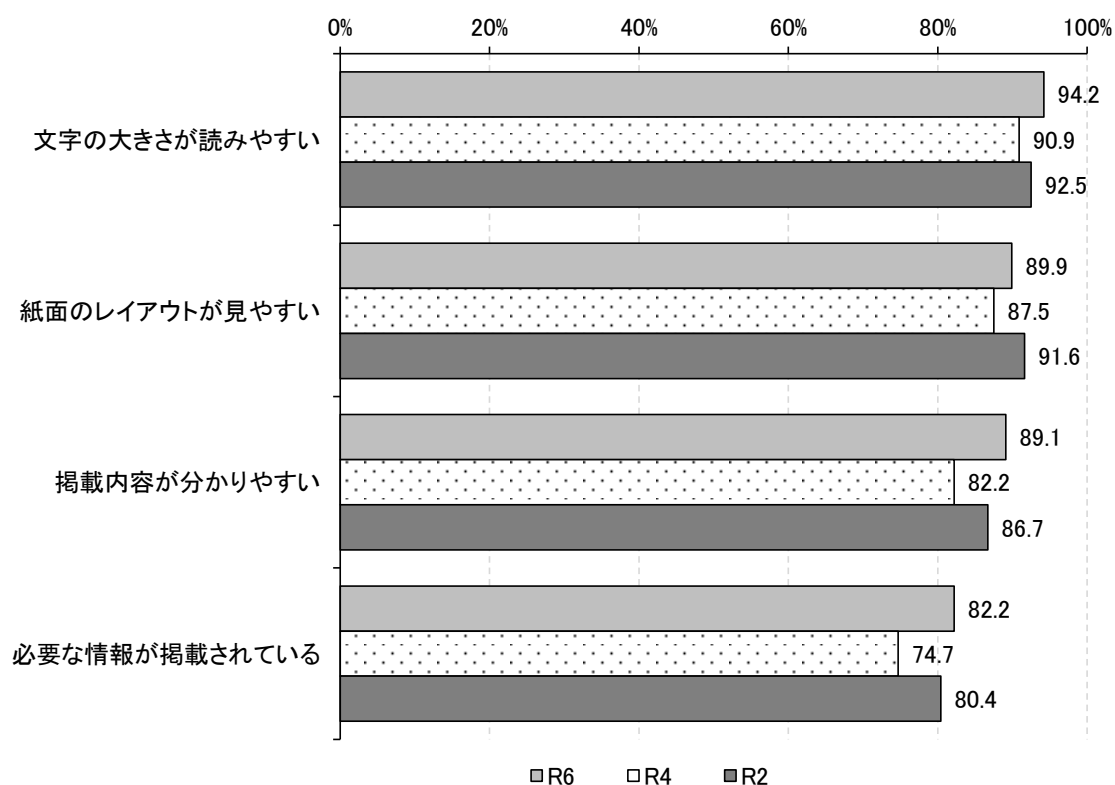


5-3 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容

「文字の大きさが読みやすい」が 94.2%で最も高く、次いで「紙面のレイアウトが見やすい」が 89.9%、「掲載内容が分かりやすい」が 89.1%となっている。

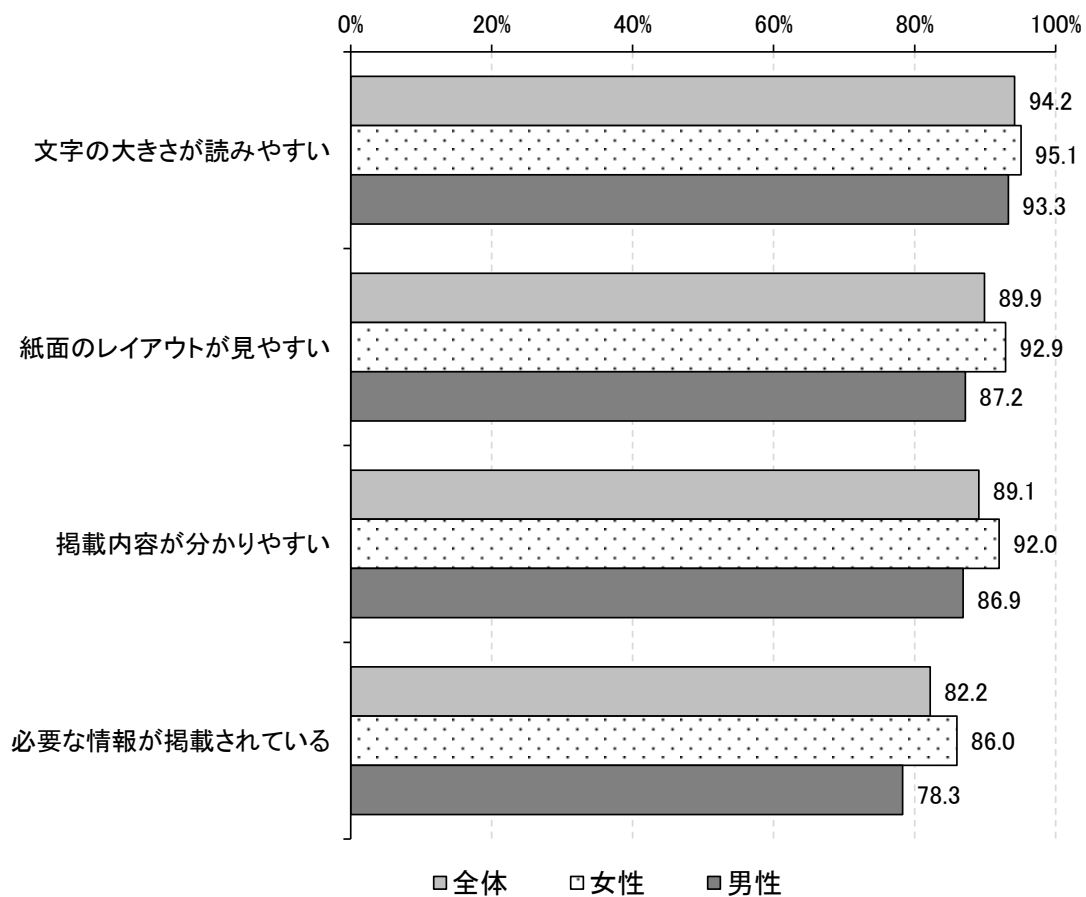
令和 4 年調査と比較すると、「掲載内容が分かりやすい」は 6.9 ポイント、「必要な情報が掲載されている」は 7.5 ポイント増加している。

図 5-3-1「広報たじみの内容に対する意見」(過年度比較)



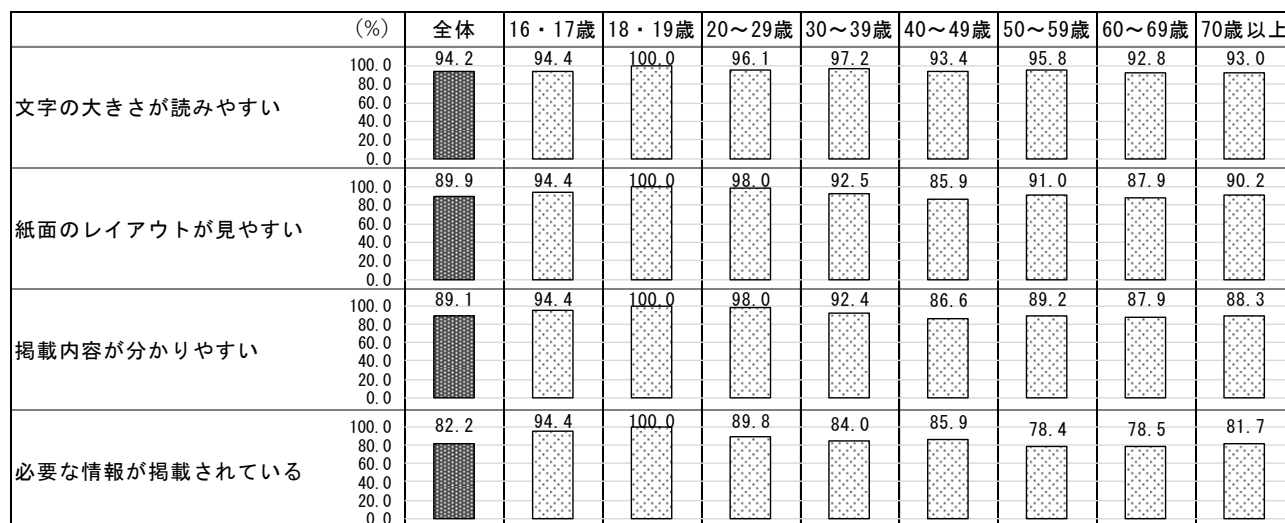
性別にみると、全ての項目において、「男性」よりも「女性」の割合が高くなっており、「必要な情報が掲載されている」では 7.7 ポイントの差がみられる。

図 5-3-2 性別「広報たじみの内容に対する意見」



年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」では「文字の大きさが読みやすい」がそれぞれ最も高くなっている。「20～29 歳」では「紙面のレイアウトが見やすい」と「掲載内容が分かりやすい」が同率で最も高くなっている。

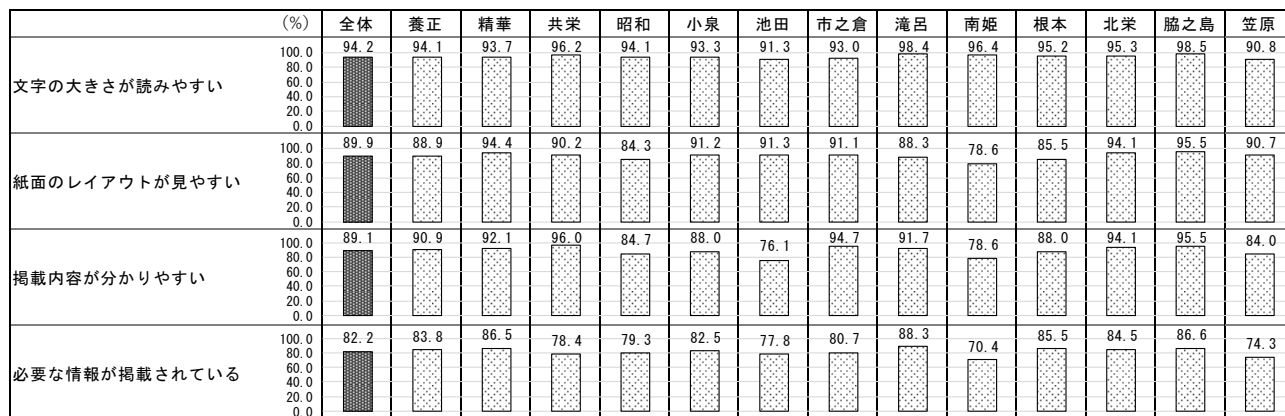
図 5-3-3 年代別「広報たじみの内容に対する意見」



【市民意識調査 一般】

小学校区別にみると、「養正」「共栄」「昭和」「小泉」「滝呂」「南姫」「根本」「北栄」「脇之島」「笠原」では「文字の大きさが読みやすい」が、「精華」では「紙面のレイアウトが見やすい」が、「市之倉」では「掲載内容が分かりやすい」がそれぞれ最も高く、いずれも 9 割を超えている。「池田」では「文字の大きさが読みやすい」と「紙面のレイアウトが見やすい」が同率で最も高くなっている。

図 5-3-4 小学校区別「広報たじみの内容に対する意見」

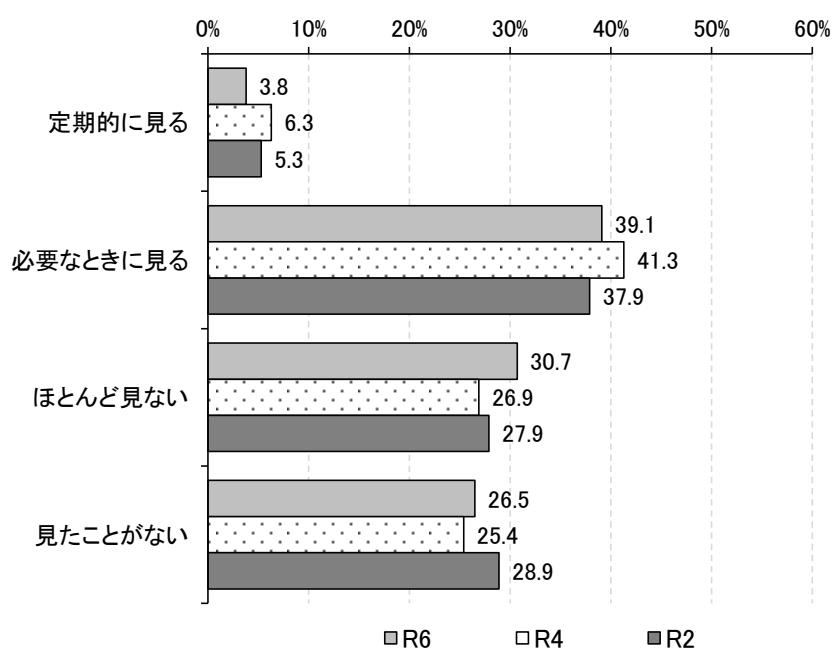


5-4 市のホームページ

「必要なときに見る」が 39.1%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」が 30.7%、「見たことがない」が 26.5%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は 42.9%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は 57.2%となっている。

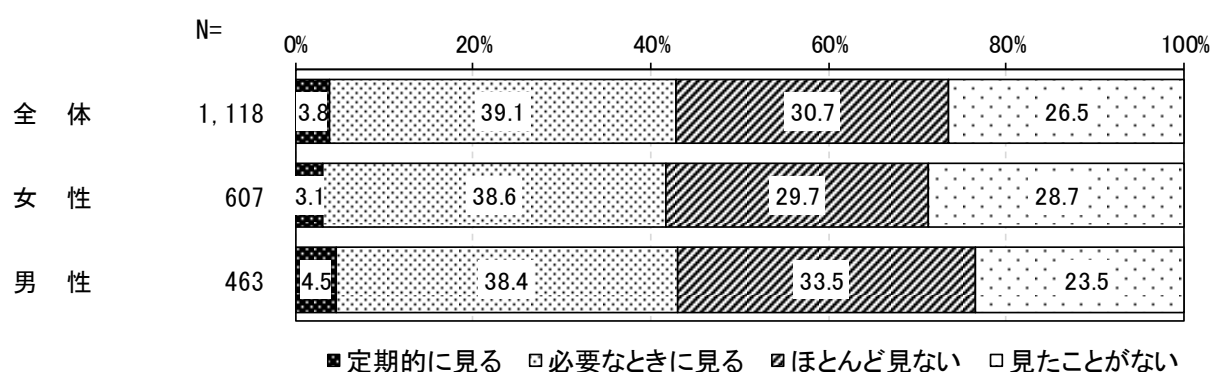
令和 4 年調査と比較すると、“見ない”が 4.9 ポイント増加している。

図 5-4-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)



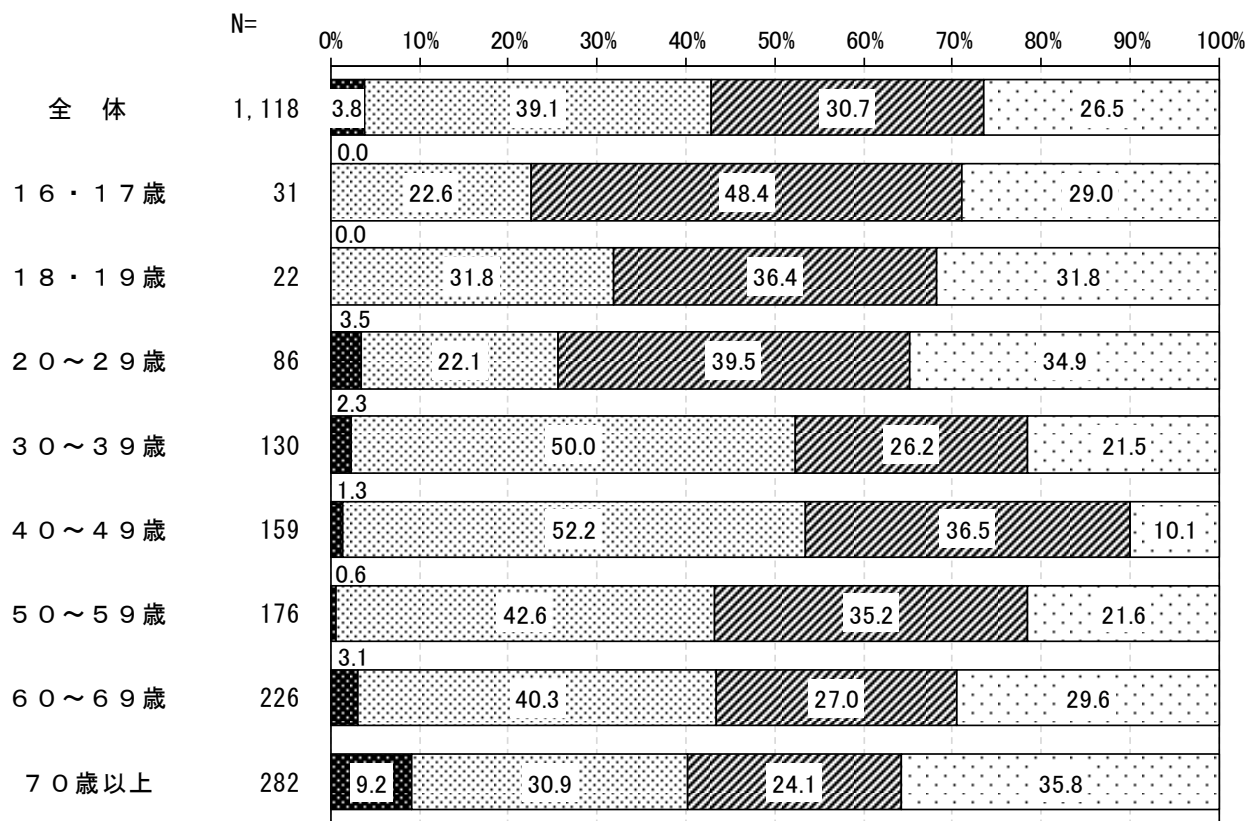
性別にみると、“見る”は「女性」で 41.7%、「男性」で 42.9%となっている。一方で“見ない”は「女性」で 58.4%、「男性」で 57.0%となっている。

図 5-4-2 性別「ホームページ閲覧頻度」



年代別にみると、“見る”は「40～49 歳」が53.5%で最も高く、次いで「30～39 歳」が52.3%となっている。
「見たことがない」は「70 歳以上」で 35.8%と最も高く、次いで「20～29 歳」が 34.9%となっている。また、“見ない”は「16・17 歳」で最も高く、77.4%となっている。

図 5-4-3 年代別「ホームページ閲覧頻度」



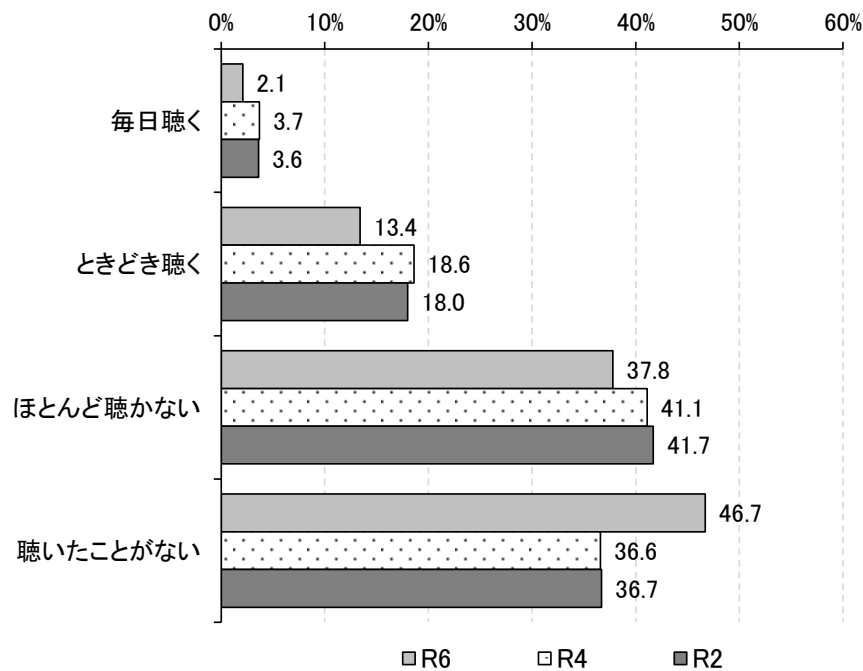
■ 定期的に見る □ 必要なときに見る ■ ほとんど見ない □ 見たことがない

5-5 FMたじみ(エフエムピピ)

「聴いたことがない」が 46.7%と最も高く、次いで「ほとんど聴かない」が 37.8%、「ときどき聴く」が 13.4%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は 15.5%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は 84.5%となっている。

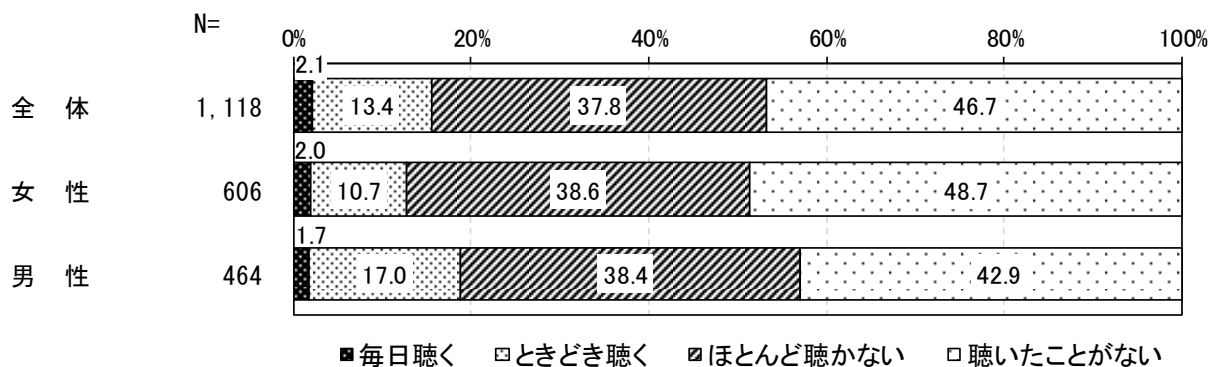
令和 4 年調査と比較すると、“聴く”が 6.8 ポイント減少した一方、「聴いたことがない」が 10.1 ポイント増加している。

図 5-5-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)



性別にみると、“聴く”は「女性」が 12.7%、「男性」が 18.7%となっており、「男性」の方が 6.0 ポイント高くなっている。また、“聴かない”は「女性」が 87.3%、「男性」が 81.3%となっている。

図 5-5-2 性別「FMたじみの聴取頻度」

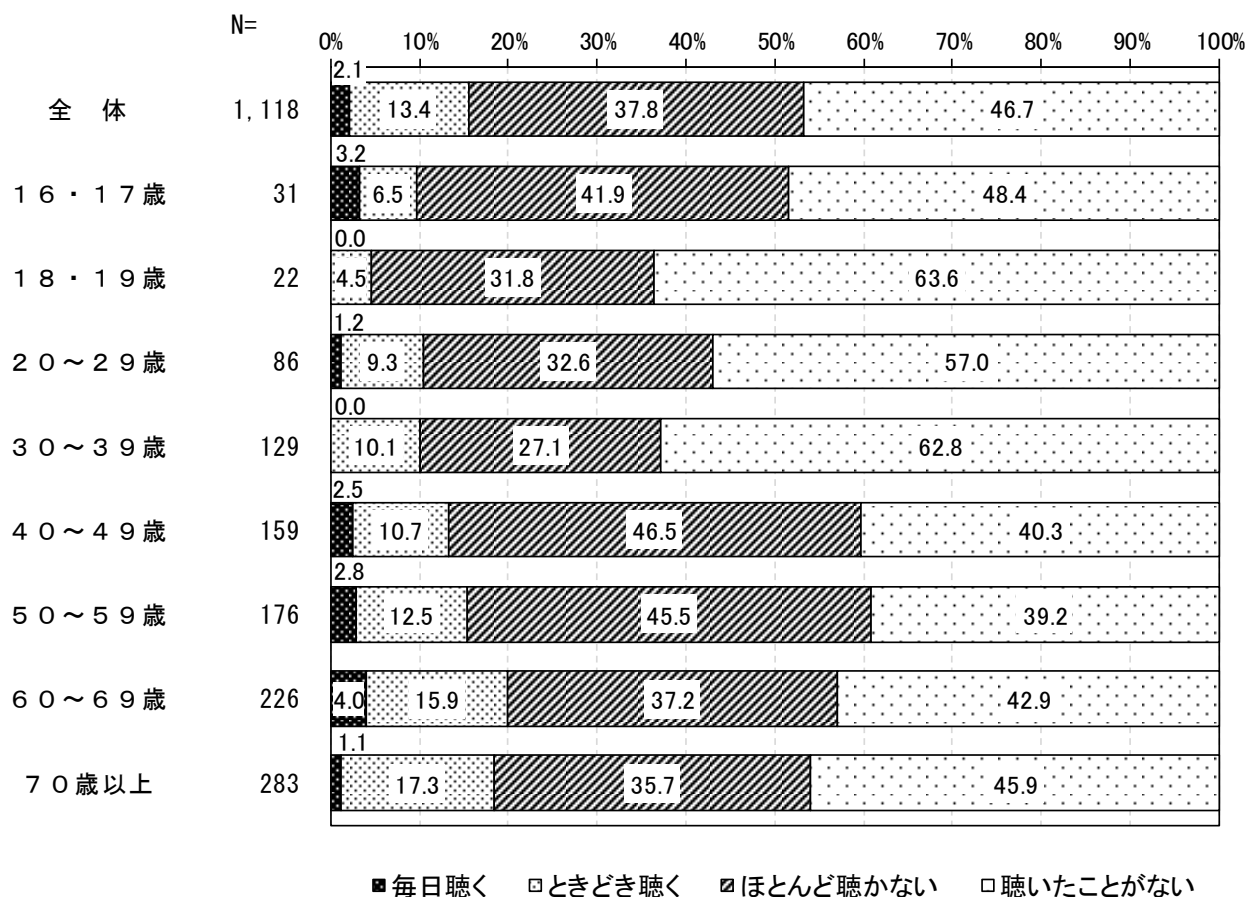


【市民意識調査 一般】

年代別にみると、「毎日聴く」は「18・19 歳」「30～39 歳」では 0.0%であり、他の年代でも 1 割に満たない。
 “聴く”は「60～69 歳」で最も高く、19.9%となっている。

「聴いたことがない」は「18・19 歳」で 63.6%と最も高く、次いで「30～39 歳」で 62.8%となっている。また、
 “聴かない”は「18・19 歳」で最も高く、95.4%となっている。

図 5-5-3 年代別「FMたじみの聴取頻度」

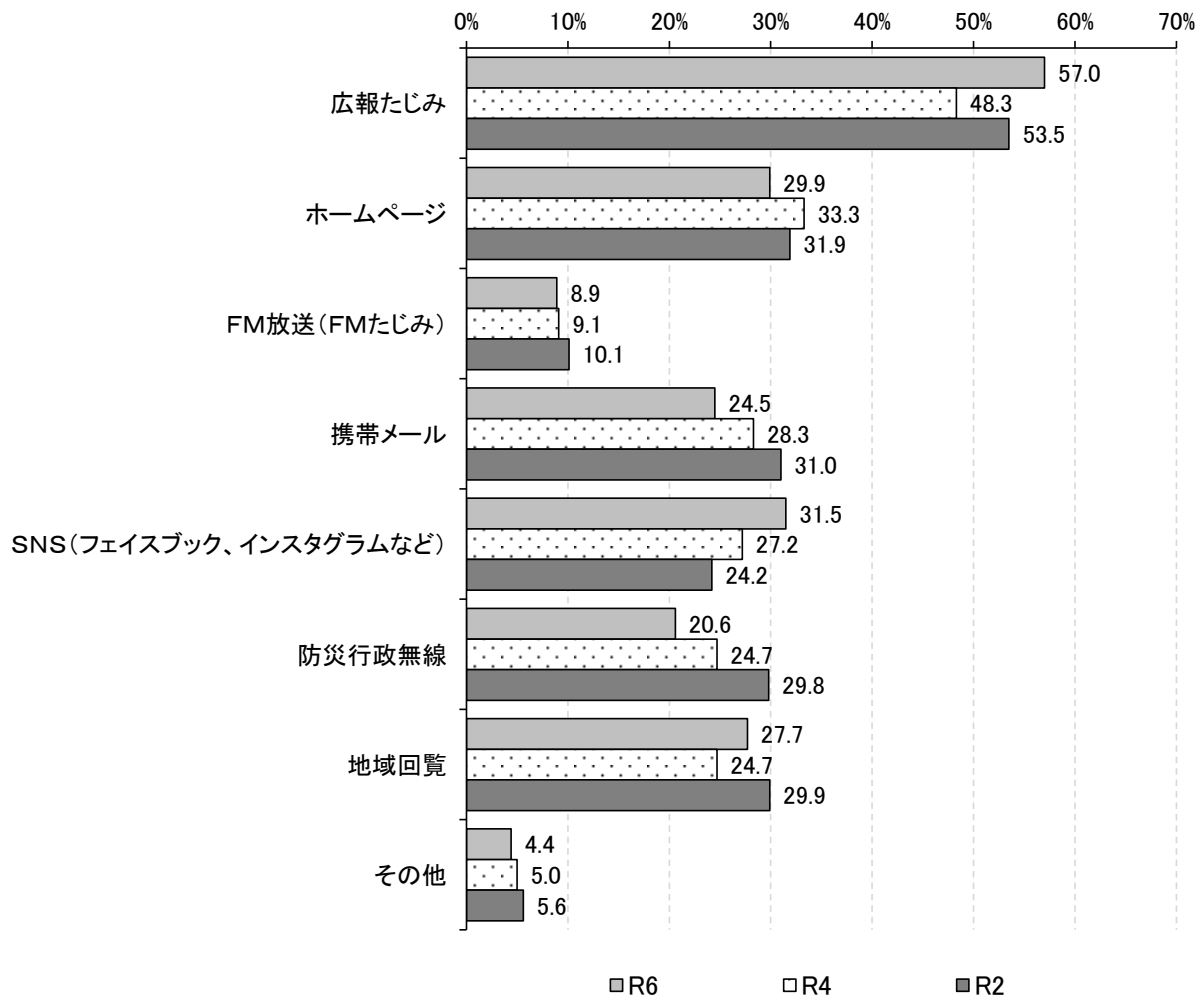


5-6 市の広報手段

「広報たじみ」が57.0%と最も高く、次いで「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が31.5%、「ホームページ」が29.9%となっている。

過去の調査と比較すると、「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」は徐々に増加している一方で、「携帯メール」や「防災行政無線」は徐々に減少している。

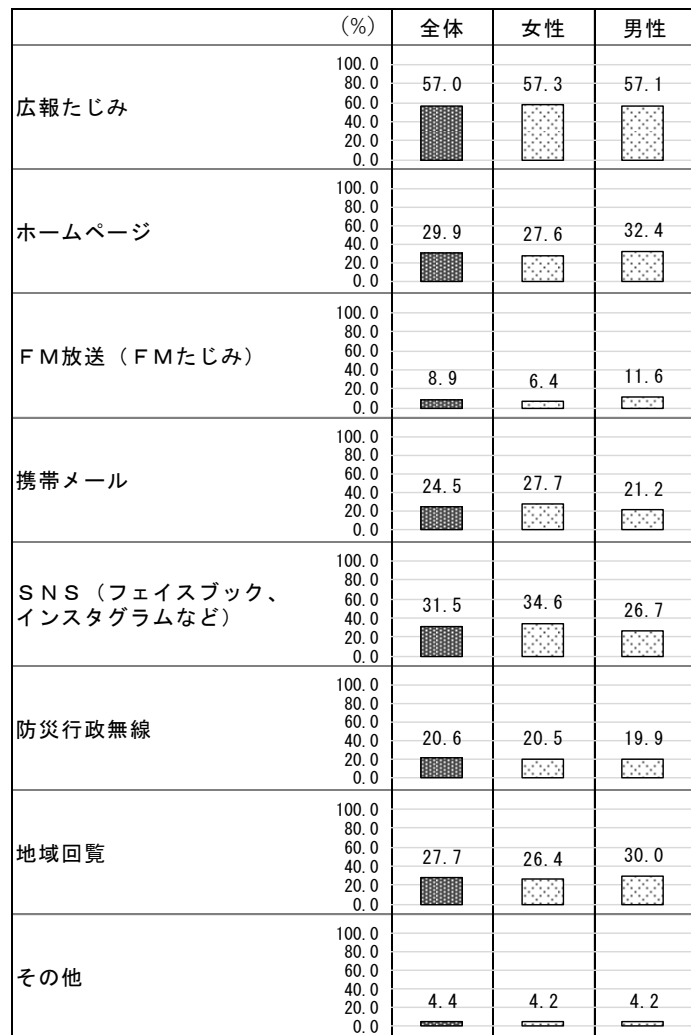
図 5-6-1 「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」(過年度比較)



【市民意識調査 一般】

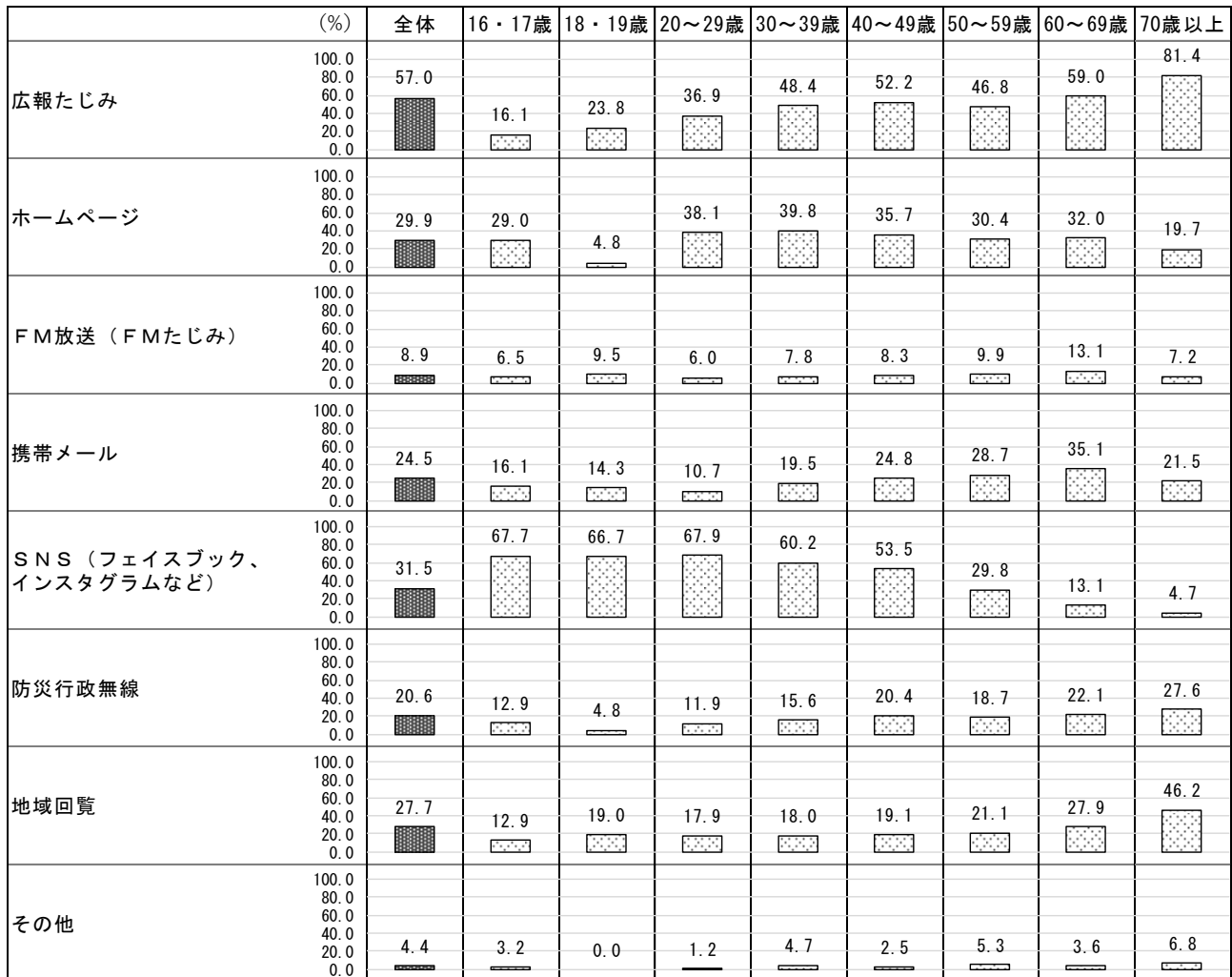
性別にみると、「広報たじみ」が男性・女性ともに最も高くなっており、「女性」で 57.3%、「男性」で 57.1%となっている。また、「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」では「女性」が 34.6%、「男性」が 26.7%となっており、「女性」が「男性」を 7.9 ポイント上回っている。

図 5-6-2 性別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



年代別にみると、「16・17 歳」「18・19 歳」「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」では「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が最も高く、「50～59 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」は「広報たじみ」がそれぞれ最も高くなっている。

図 5-6-3 年代別「今後の市の広報手段として力を入れるべきと思う媒体」



第Ⅱ部

市民意識調査 高校生

第1章 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民意識調査に加え、若者の生活意識や市政全般、今後のまちづくりについての意見、要望などを把握するため市内高校生を対象として行うものであり、今後の住みよいまちづくりに向けての各種施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査方法等

- 調査地域 多治見市全域
- 調査対象 市内高等学校(多治見高等学校、多治見北高等学校、多治見工業高等学校、多治見西高等学校、アンファッションカレッジ)2年生の男女
- 調査方法 インターネット回収
- 調査時期 令和6年8月～9月

3. 回収結果

	依頼数	回収票数	回収率
市内高等学校5校	870	531	61.03%

第2章 調査結果

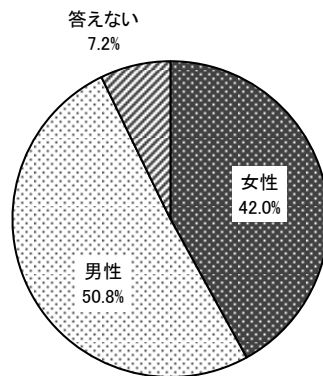
1. 基本属性

1-1 性別

「女性」が42.0%、「男性」が50.8%、「答えない」が7.2%であった。

図 1-1-1 「性別」

(N = 531)

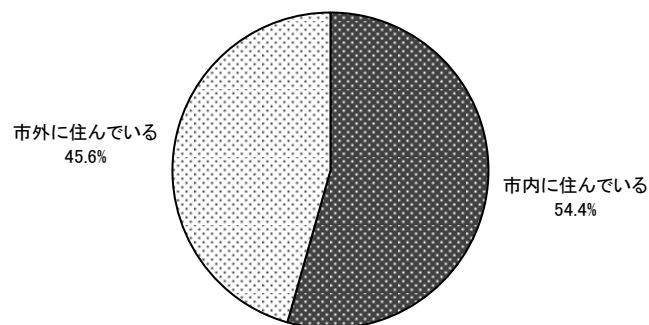


1-2 居住地

「市内に住んでいる」が54.4%、「市外に住んでいる」が45.6%であった。

図 1-2-1 「居住地」

(N = 531)

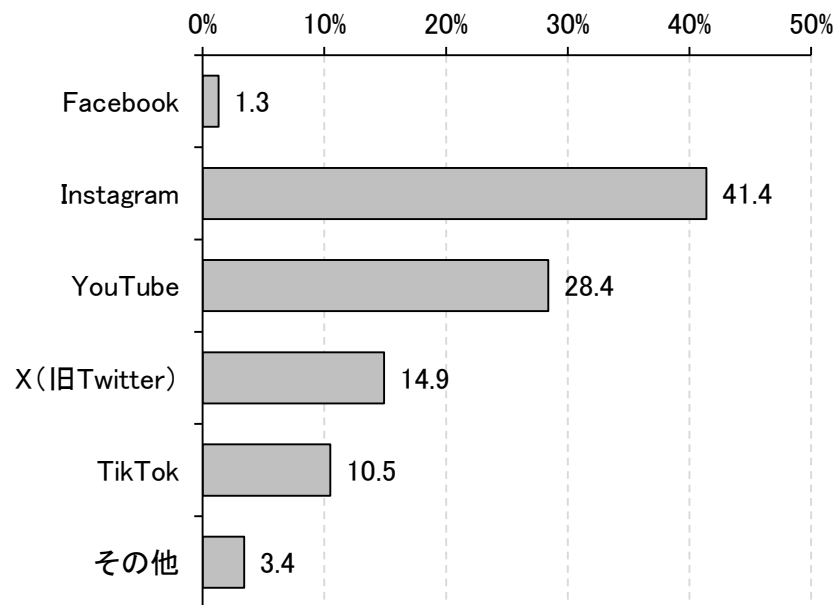


【市民意識調査 高校生】

1-3 使うことが多い SNS

「Instagram」が 41.4%と最も高く、次いで「YouTube」が 28.4%、「X(旧 Twitter)」が 14.9%となっている。

図 1-3-1 「使うことが多い SNS」



2. 住みやすさと居住意向

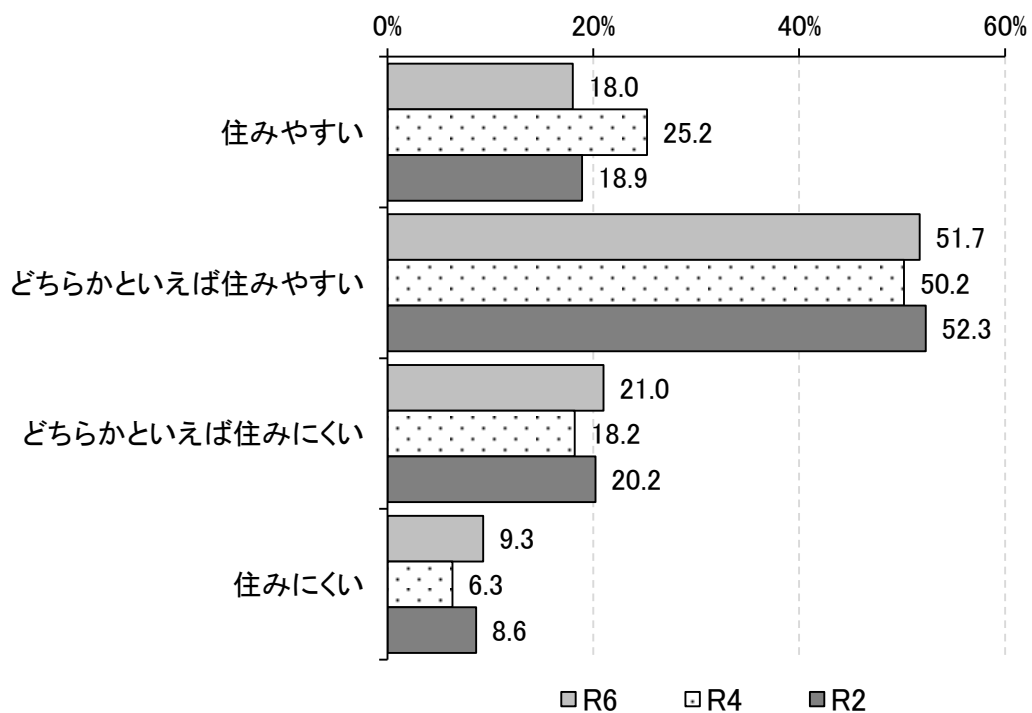
2-1 住みやすさ

「どちらかといえば住みやすい」が 51.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が 21.0%、「住みやすい」が 18.0%となっている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすいと感じている人”は 69.7%となっている。

一方、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた“住みにくいと感じている人”は 30.3%となっている。

令和 4 年調査と比較すると、“住みやすいと感じている人”は 5.7 ポイント減少している。

図 2-1-1 「住みやすさ」

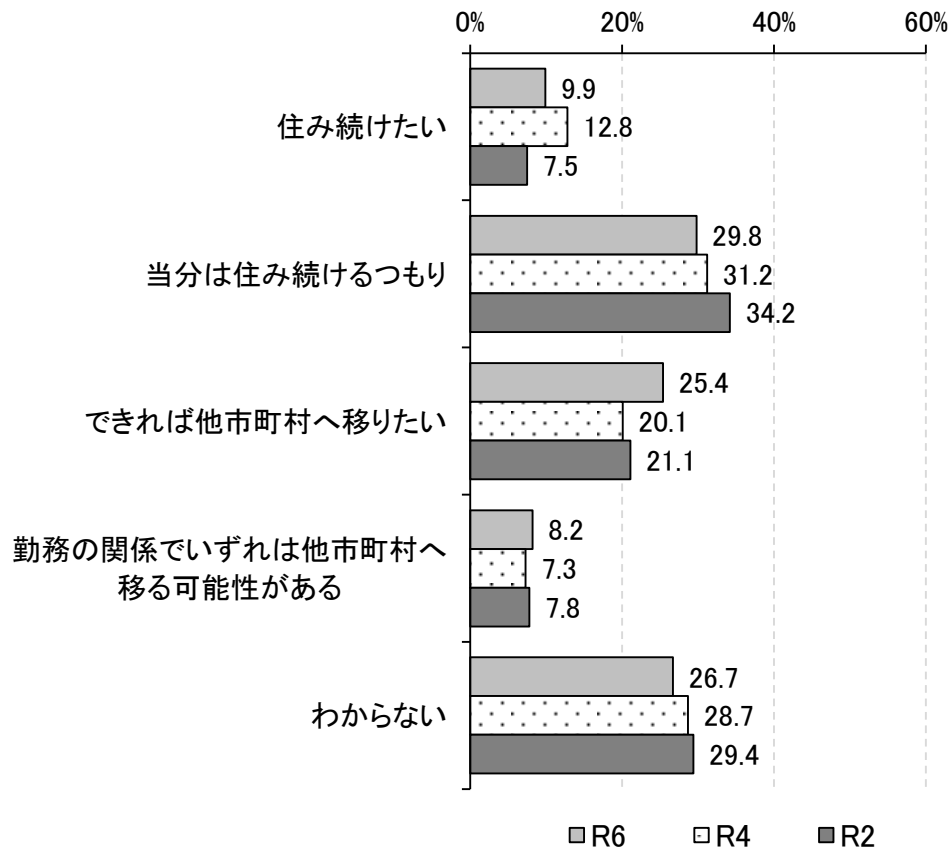


2-2 今後の居住意向

「当分は住み続けるつもり」が29.8%と最も高く、次いで「わからない」が26.7%、「できれば他市町村へ移りたい」が25.4%となっている。「住み続けたい」と「当分は住み続けるつもり」を合わせた“住み続けたいと感じている人”は39.7%となっている。

令和4年調査と比較すると、“住み続けたいと感じている人”は4.3ポイント減少している一方、「できれば他市町村へ移りたい」は5.3ポイント増加している。

図 2-2-1 「今後の居住意向」



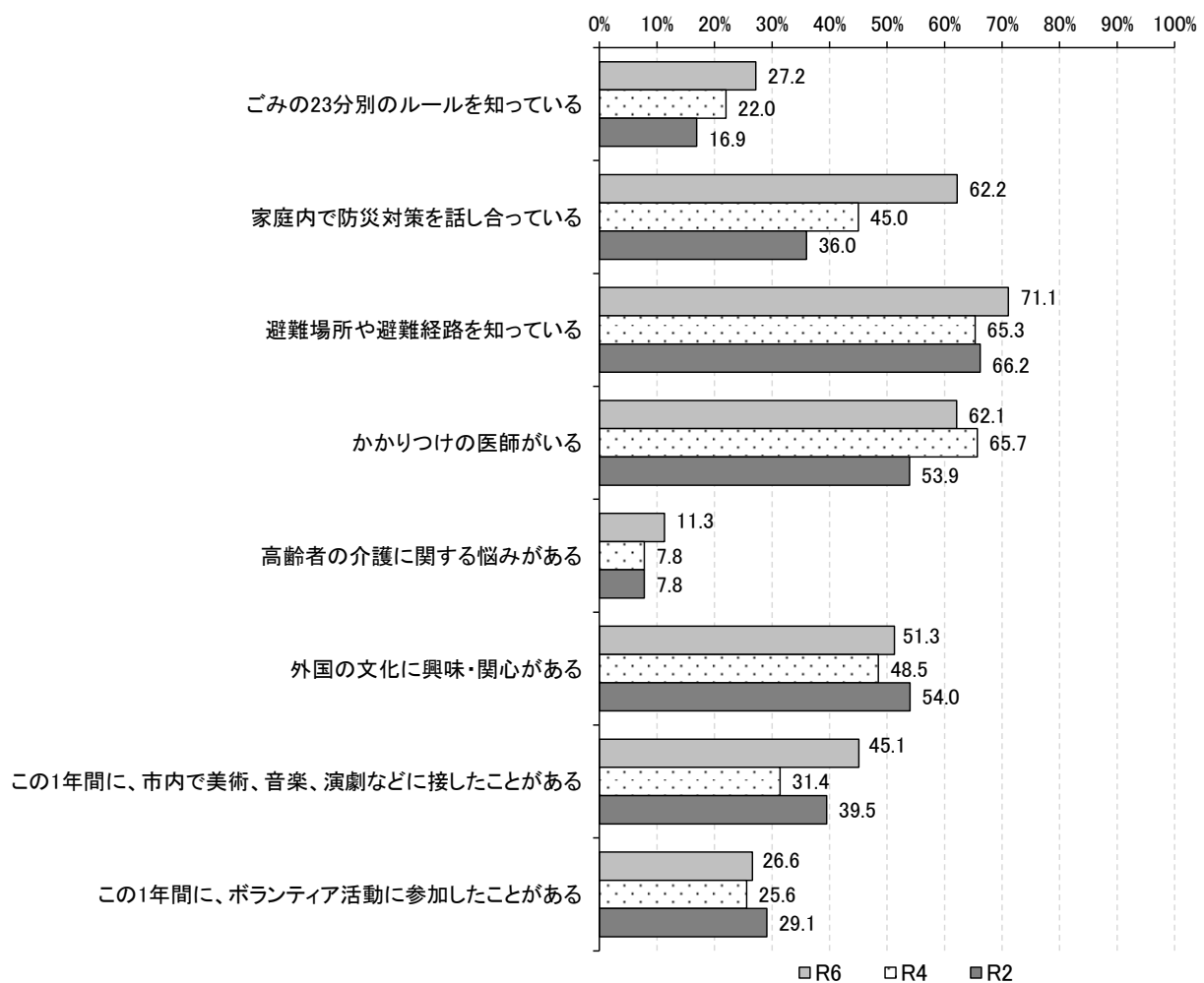
3. 生活実態および市民意識

3-1 生活実態および市民意識

「避難場所や避難経路を知っている」が 71.1%で最も高くなっており、次いで「家庭内で防災対策を話し合っている」が 62.2%、「かかりつけの医師がいる」が 62.1%となっている。

過去の調査と比較すると、「ごみの23分別のルールを知っている」と「家庭内で防災対策を話し合っている」は年々増加傾向にある。また、令和 4 年調査と比較すると、「家庭内で防災対策を話し合っている」は 17.2 ポイント、「この 1 年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがある」は 13.7 ポイント増加している。

図 3-1-1 「生活実態および市民意識」

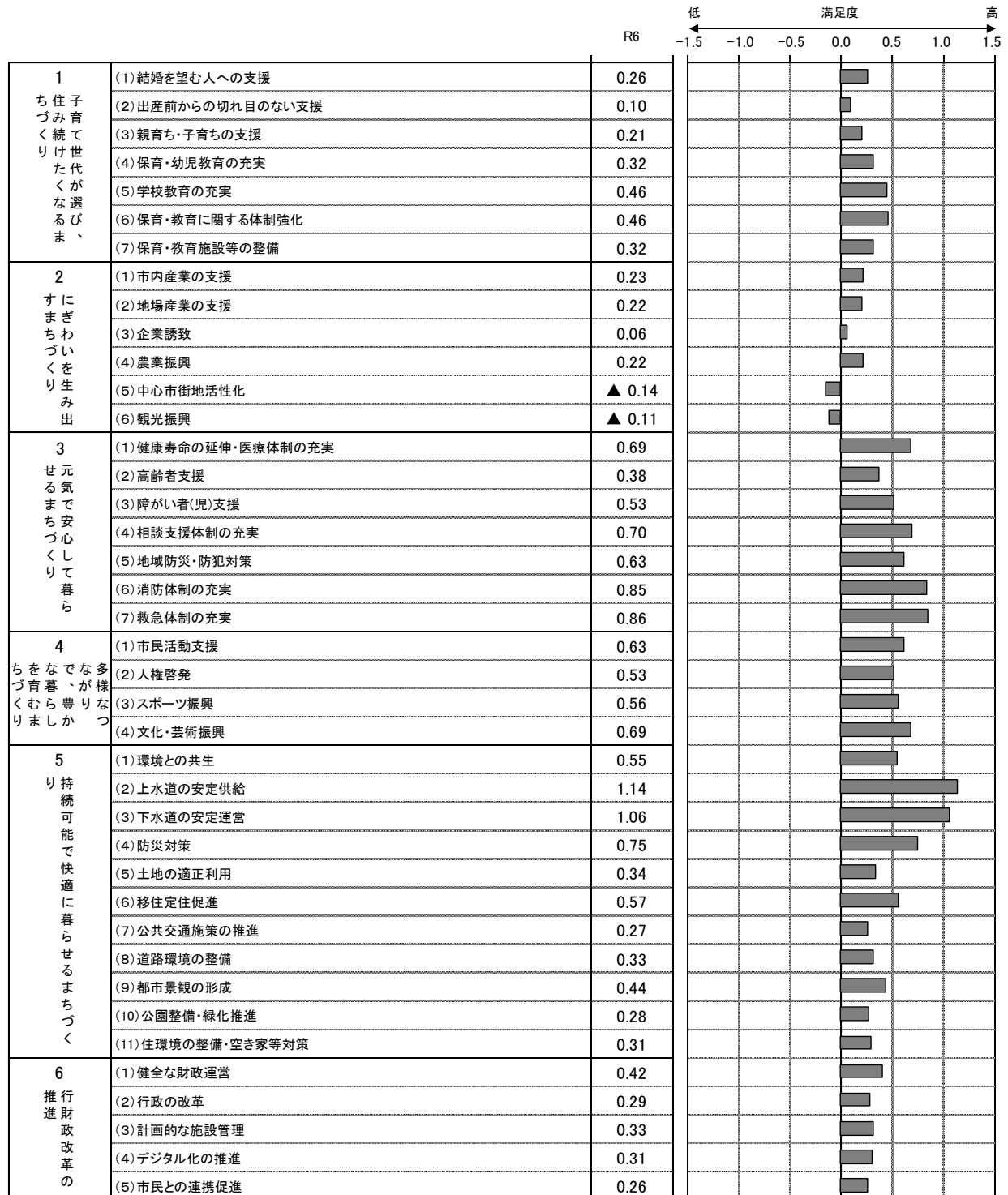


4. 市政全般について

4-1 市政への満足度

市政への満足度は「中心市街地活性化」「観光振興」を除く全ての項目においてプラスとなっている。

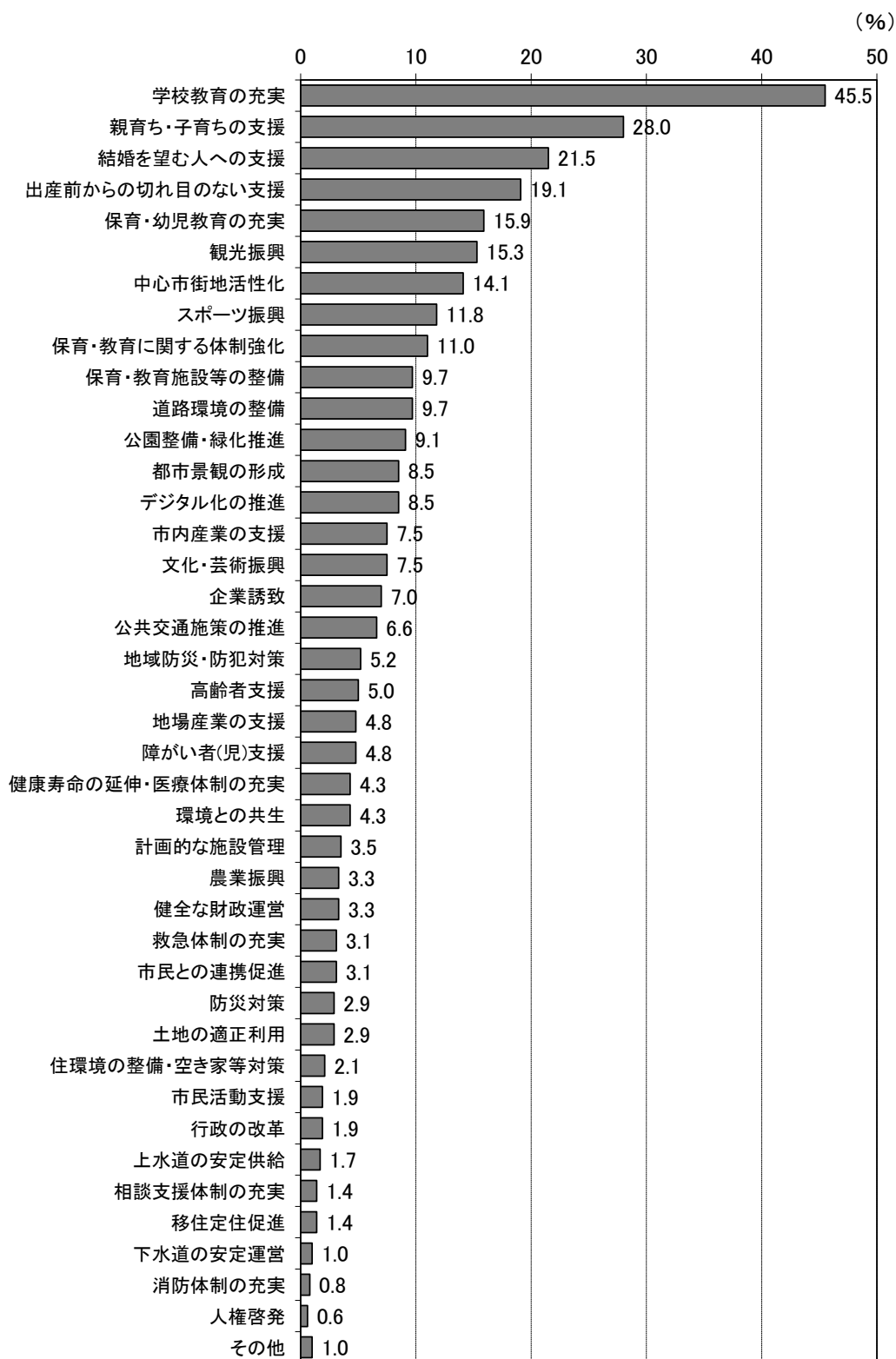
図 4-1-1 「市政への満足度」



4-2 今後力を入れてほしい施策

「学校教育の充実」が45.5%と最も高く、次いで「親育ち・子育ての支援」が28.0%、「結婚を望む人への支援」が21.5%となっている。

図 4-2-1 「今後力を入れてほしい施策」

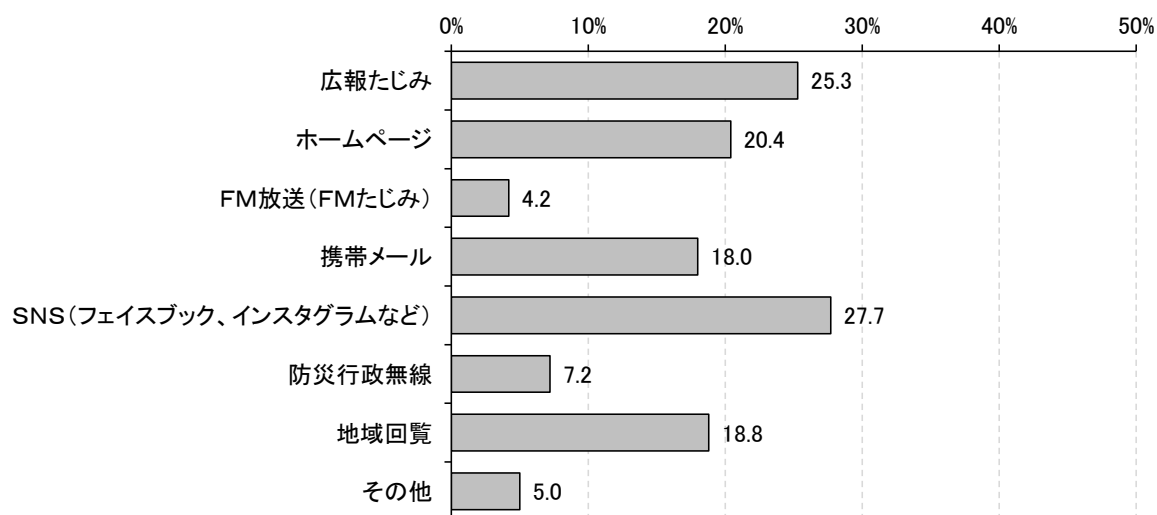


5. 情報提供について

5-1 市の情報を得ている媒体

「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が 27.7%と最も高く、次いで「広報たじみ」が 25.3%、「ホームページ」が 20.4%となっている。

図 5-1-1 「市の情報を得ている媒体」

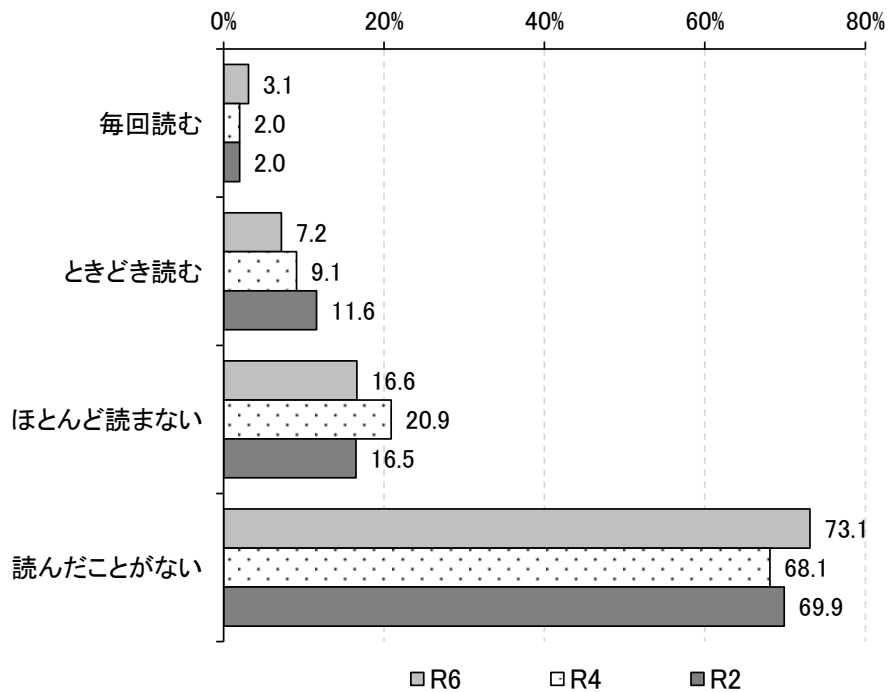


5-2 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】を読んでいますか

「読んだことがない」が 73.1%と最も高く、次いで「ほとんど読まない」が 16.6%、「ときどき読む」が 7.2%となっている。また、「毎回読む」と「ときどき読む」を合わせた“読む”は 10.3%、「ほとんど読まない」と「読んだことがない」を合わせた“読まない”は 89.7%となっている。

過去の調査と比較すると、“読む”はやや減少傾向、“読まない”はやや増加傾向にある。

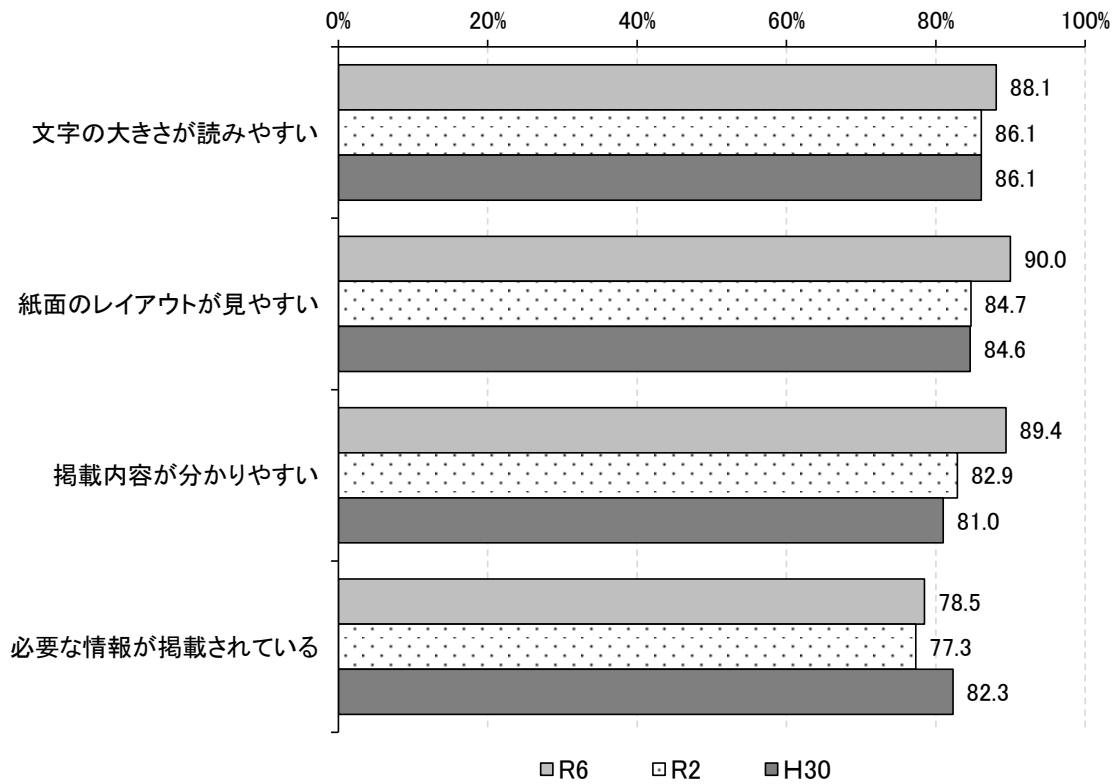
図 5-2-1 「広報たじみの閲読頻度」(過年度比較)



5-3 広報たじみ【Tajimist(たじみすと)】の内容

「紙面のレイアウトが見やすい」が 90.0%で最も高く、次いで「掲載内容が分かりやすい」が 89.4%、「文字の大きさが読みやすい」が 88.1%となっている。

図 5-3-1「広報たじみの内容に対する意見」(過年度比較)



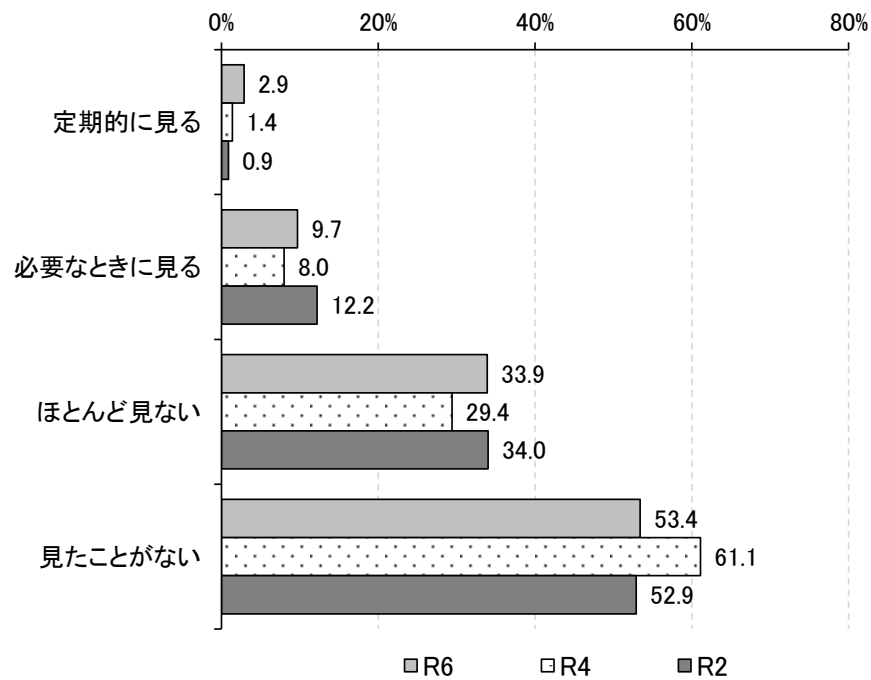
※令和 4 年調査では未実施

5-4 市のホームページ

「見たことがない」が 53.4%と最も高く、次いで「ほとんど見ない」が 33.9%、「必要なときに見る」が 9.7%となっている。また、「定期的に見る」と「必要なときに見る」を合わせた“見る”は 12.6%、「ほとんど見ない」と「見たことがない」を合わせた“見ない”は 87.3%となっている。

令和 4 年調査と比較すると、「見たことがない」は 7.7 ポイント減少している。

図 5-4-1 「ホームページ閲覧頻度」(過年度比較)

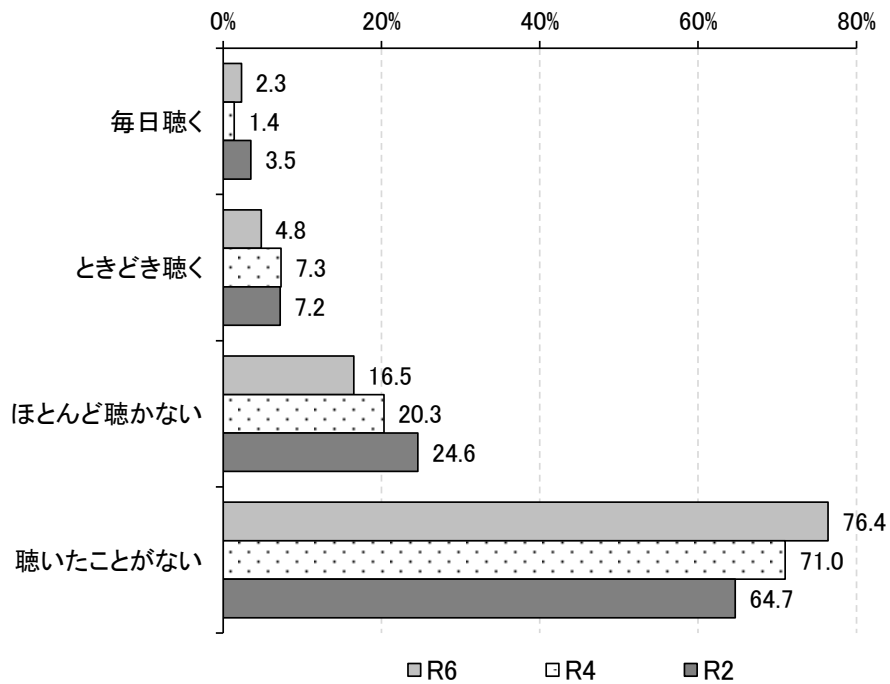


5-5 FMたじみ(エフエムビビ)

「聴いたことがない」が76.4%と最も高く、次いで「ほとんど聴かない」が16.5%、「ときどき聴く」が4.8%となっている。「毎日聴く」と「ときどき聴く」を合わせた“聴く”は7.1%、「ほとんど聴かない」と「聴いたことがない」を合わせた“聴かない”は92.9%となっている。

過去の調査と比較すると、“聴く”は減少傾向、“聴かない”は増加傾向にある。

図 5-5-1 「FMたじみの聴取頻度」(過年度比較)

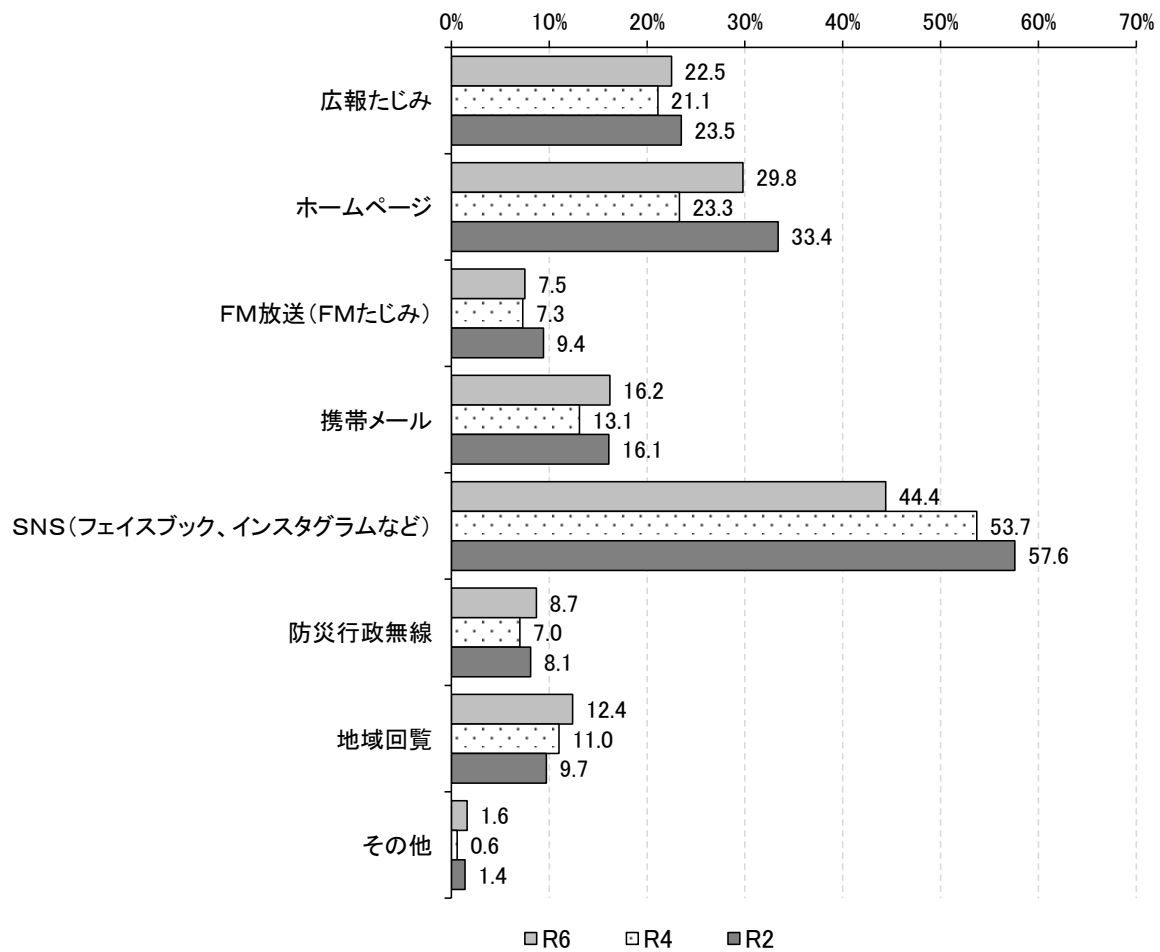


5-6 市の広報手段

「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が 44.4%と最も高く、次いで「ホームページ」が 29.8%、「広報たじみ」が 22.5%となっている。

過去の調査と比較すると、「SNS(フェイスブック、インスタグラムなど)」が令和 4 年調査より 9.3 ポイント減少している。

図 5-6-1「市の広報手段」(過年度比較)



参考資料

依頼文書および調査票

多治見市「市民意識調査」 ご協力をお願い

日頃は多治見市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、市では、隔年で実施している「市民意識調査（アンケート）」を、令和6年度に実施します。

このアンケートは、市民の皆さまから市の施策や行政サービスに対するご意見をお聞かせいただき、今後の市政運営や施策形成の際の基礎資料とするためのものです。

調査を行うにあたり、市内にお住まいの16歳以上の方から、2,000人を無作為に抽出して対象者を選ばせていただきました。アンケートは無記名回答とし、結果は統計的に処理するため、個人的な意見や考えが外部に漏れることは一切ありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月21日
多治見市長 高木 貴行

【ご回答にあたってのお願い】

1. 質問には、できるだけ封筒のあて名の方ご本人がお答え下さい。都合により回答できない場合は、ご家族のどなたでも構いませんので、代わってご回答ください。その場合は回答された方の立場でお答えください。
2. 住所や氏名をご回答いただく必要はありません。
3. インターネットまたは郵送のいずれかの方法でご回答ください。
4. お答えの中で、「その他」を選んだ時は、その内容を具体的にご回答ください。
5. 令和6年9月30日（月）までにご回答ください。

①インターネットで回答

パソコン、スマートフォンやタブレットから回答いただけます。インターネットで回答いただいた方は、同封の調査票を返送いただく必要はありません。

URL : <https://logoform.jp/form/zEAL/649963>



②郵送で回答

同封の調査票にご記入いただきましたら、返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】

多治見市役所 秘書広報課

担当：水野、磯村、荻原

TEL : 0572-22-1372 FAX : 0572-24-3679

E mail : hisyokoho@city.tajimi.lg.jp

市民意識調査 調査票（一般調査用）

【問１】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

【問２】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住み続けるつもり |
| 3 できれば他市町村へ移りたい | 4 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 5 わからない | |

【問３】 次の項目について、はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① ごみの２３分別のルールは知っていますか	1	2
② 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
③ 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
④ かかりつけの医師はいますか	1	2
⑤ 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
⑥ 子育てに関する悩みはありますか	1	2
⑦ 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
⑧ この１年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
⑨ この１年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
⑩ 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問４】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉〇〇〇〇の整備	1	2	③	4	5

（１）子育て世代が選び、住み続けたいまちづくり

① 結婚を望む人への支援	1	2	3	4	5
② 出産前からの切れ目のない支援	1	2	3	4	5
③ 親育ち・子育ての支援	1	2	3	4	5
④ 保育・幼児教育の充実	1	2	3	4	5
⑤ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
⑥ 保育・教育に関する体制強化	1	2	3	4	5
⑦ 保育・教育施設等の整備	1	2	3	4	5

【参考資料】

（２）にぎわいを生み出すまちづくり

① 市内産業の支援	1	2	3	4	5
② 地場産業の支援	1	2	3	4	5
③ 企業誘致	1	2	3	4	5
④ 農業振興	1	2	3	4	5
⑤ 中心市街地活性化	1	2	3	4	5
⑥ 観光振興	1	2	3	4	5

（３）元気で安心して暮らせるまちづくり

① 健康寿命の延伸・医療体制の充実	1	2	3	4	5
② 高齢者支援	1	2	3	4	5
③ 障がい者(児)支援	1	2	3	4	5
④ 相談支援体制の充実	1	2	3	4	5
⑤ 地域防災・防犯対策	1	2	3	4	5
⑥ 消防体制の充実	1	2	3	4	5
⑦ 救急体制の充実	1	2	3	4	5

（４）多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり

① 市民活動支援	1	2	3	4	5
② 人権啓発	1	2	3	4	5
③ スポーツ振興	1	2	3	4	5
④ 文化・芸術振興	1	2	3	4	5

（５）持続可能で快適に暮らせるまちづくり

① 環境との共生	1	2	3	4	5
② 上水道の安定供給	1	2	3	4	5
③ 下水道の安定運営	1	2	3	4	5
④ 防災対策	1	2	3	4	5
⑤ 土地の適正利用	1	2	3	4	5
⑥ 移住定住促進	1	2	3	4	5
⑦ 公共交通施策の推進	1	2	3	4	5
⑧ 道路環境の整備	1	2	3	4	5
⑨ 都市景観の形成	1	2	3	4	5
⑩ 公園整備・緑化推進	1	2	3	4	5
⑪ 住環境の整備・空き家等対策	1	2	3	4	5

（６）行財政改革の推進

① 健全な財政運営	1	2	3	4	5
② 行政の改革	1	2	3	4	5
③ 計画的な施設管理	1	2	3	4	5
④ デジタル化の推進	1	2	3	4	5
⑤ 市民との連携促進	1	2	3	4	5

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後、力をいれてほしいものについておたずねします。

次の項目の中から、重要度の高いものを**5つまで選び**、○印をつけてください。

<子育て世代が選び、住み続けたいくなるまちづくり>		22 人権啓発
1 結婚を望む人への支援		23 スポーツ振興
2 出産前からの切れ目のない支援		24 文化・芸術振興
3 親育ち・子育ての支援		<持続可能で快適に暮らせるまちづくり>
4 保育・幼児教育の充実		25 環境との共生
5 学校教育の充実		26 上水道の安定供給
6 保育・教育に関する体制強化		27 下水道の安定運営
7 保育・教育施設等の整備		28 防災対策
<にぎわいを生み出すまちづくり>		29 土地の適正利用
8 市内産業の支援		30 移住定住促進
9 地場産業の支援		31 公共交通施策の推進
10 企業誘致		32 道路環境の整備
11 農業振興		33 都市景観の形成
12 中心市街地活性化		34 公園整備・緑化推進
13 観光振興		35 住環境の整備・空き家等対策
<元気で安心して暮らせるまちづくり>		<行財政改革の推進>
14 健康寿命の延伸・医療体制の充実		36 健全な財政運営
15 高齢者支援		37 行政の改革
16 障がい者(児)支援		38 計画的な施設管理
17 相談支援体制の充実		39 デジタル化の推進
18 地域防災・防犯対策		40 市民との連携促進
19 消防体制の充実		41 その他(具体的に)
20 救急体制の充実		
<多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり>	[	]
21 市民活動支援		

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。

(1) あなたは、普段どこから市の情報を得ていますか。(複数回答可)

1 広報たじみ (Tajimist (たじみすと))	2 ホームページ
3 FM放送 (FMたじみ)	4 携帯メール
5 SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)	6 防災行政無線
7 地域回覧	
8 その他(具体的に) [	]

(2) あなたは、広報たじみ (Tajimist (たじみすと)、月1回発行) を読んでいますか。
あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 毎回読む	2 ときどき読む	3 ほとんど読まない	4 読んだことがない
--------	----------	------------	------------

【参考資料】

(3) (2) で1～3と回答された方に、広報たじみについておたずねします。

はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
② 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
③ 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
④ 必要な情報は掲載されていますか	1	2

(4) あなたは、多治見市のホームページを見ますか。

あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 定期的に見る	2 必要なときに見る	3 ほとんど見ない	4 見たことがない
----------	------------	-----------	-----------

(5) あなたは、FM たじみ（エフエムピピ（76.3MHz））の放送を聴きますか。

あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 毎日聴く	2 ときどき聴く	3 ほとんど聴かない	4 聴いたことがない
--------	----------	------------	------------

(6) これからの広報手段として、どれに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）

1 広報たじみ（Tajimist（たじみすど））	2 ホームページ
3 FM放送（FMたじみ）	4 携帯メール
5 SNS（フェイスブック、インスタグラムなど）	6 防災行政無線
7 地域回覧	
8 その他（具体的に）[]	

【問7】 あなた自身のことについておたずねします。

次の項目についてあてはまるものをそれぞれ**1つずつ選び**○印をつけてください。

(1) 性別

1 女性	2 男性	3 答えない
------	------	--------

(2) 年齢

1 16・17歳	2 18・19歳	3 20～29歳	4 30～39歳
5 40～49歳	6 50～59歳	7 60～69歳	8 70歳以上

(3) お住いの小学校区

1 養正	2 精華	3 共栄	4 昭和	5 小泉
6 池田	7 市之倉	8 滝呂	9 南姫	10 根本
11 北栄	12 脇之島	13 笠原		
校区が分からない場合は町名をご記入ください 多治見市（ ）町				

(4) 職業

1 農林業	2 自営業（卸売・小売・サービス業）
3 自営業（製造業）	4 会社員・公務員・団体職員
5 パート・内職	6 学生
7 無職	8 その他（具体的に： ）

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかをお確かめの上、同封の封筒に入れて

令和6年9月30日（月）までに、お近くのポストへ投函してください。（切手は不要です。）

※高校生調査はインターネット回答のためのため、この様式は使用しません。

市民意識調査 調査票（高校生用）

【問１】 多治見市の住みごちについて、日頃感じていることを**1つ選び**○印をつけてください。
市外にお住まいの方は多治見市の過ごしやすさについて、日頃感じていることを1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 2 どちらかといえば住みやすい |
| 3 どちらかといえば住みにくい | 4 住みにくい |

【問２】 今後も多治見市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

多治見市内にお住まいの方のみお答えください。

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 住み続けたい | 2 当分は住み続けるつもり |
| 3 できれば他市町村へ移りたい | 4 勤務の関係でいずれは他市町村へ移る可能性がある |
| 5 わからない | |

【問３】 次の項目について、はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① ごみの23分別のルールは知っていますか	1	2
② 家庭内で防災対策を話し合っていますか	1	2
③ 避難場所や避難経路を知っていますか	1	2
④ かかりつけの医師はいますか	1	2
⑤ 高齢者の介護に関する悩みはありますか	1	2
⑥ 子育てに関する悩みはありますか	1	2
⑦ 外国の文化に興味・関心がありますか	1	2
⑧ この1年間に、市内で美術、音楽、演劇などに接したことがありますか	1	2
⑨ この1年間に、ボランティア活動に参加したことがありますか	1	2
⑩ 市民委員会や審議会の委員を公募していることを知っていますか	1	2

【問４】 多治見市のまちづくりに対する満足度をおたずねします。次の項目についてあなたのお考えに最も近いものをそれぞれ**1つずつ選び**、番号に○印をつけてください。

設問項目	評 価				
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
〈記入例〉〇〇〇〇の整備	1	2	③	4	5

（１）子育て世代が選び、住み続けたいまちづくり

① 結婚を望む人への支援	1	2	3	4	5
② 出産前からの切れ目のない支援	1	2	3	4	5
③ 親育ち・子育ての支援	1	2	3	4	5
④ 保育・幼児教育の充実	1	2	3	4	5
⑤ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
⑥ 保育・教育に関する体制強化	1	2	3	4	5

【参考資料】

⑦ 保育・教育施設等の整備	1	2	3	4	5
---------------	---	---	---	---	---

(2) にぎわいを生み出すまちづくり

① 市内産業の支援	1	2	3	4	5
② 地場産業の支援	1	2	3	4	5
③ 企業誘致	1	2	3	4	5
④ 農業振興	1	2	3	4	5
⑤ 中心市街地活性化	1	2	3	4	5
⑥ 観光振興	1	2	3	4	5

(3) 元気で安心して暮らせるまちづくり

① 健康寿命の延伸・医療体制の充実	1	2	3	4	5
② 高齢者支援	1	2	3	4	5
③ 障がい者(児)支援	1	2	3	4	5
④ 相談支援体制の充実	1	2	3	4	5
⑤ 地域防災・防犯対策	1	2	3	4	5
⑥ 消防体制の充実	1	2	3	4	5
⑦ 救急体制の充実	1	2	3	4	5

(4) 多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり

① 市民活動支援	1	2	3	4	5
② 人権啓発	1	2	3	4	5
③ スポーツ振興	1	2	3	4	5
④ 文化・芸術振興	1	2	3	4	5

(5) 持続可能で快適に暮らせるまちづくり

① 環境との共生	1	2	3	4	5
② 上水道の安定供給	1	2	3	4	5
③ 下水道の安定運営	1	2	3	4	5
④ 防災対策	1	2	3	4	5
⑤ 土地の適正利用	1	2	3	4	5
⑥ 移住定住促進	1	2	3	4	5
⑦ 公共交通施策の推進	1	2	3	4	5
⑧ 道路環境の整備	1	2	3	4	5
⑨ 都市景観の形成	1	2	3	4	5
⑩ 公園整備・緑化推進	1	2	3	4	5
⑪ 住環境の整備・空き家等対策	1	2	3	4	5

(6) 行財政改革の推進

① 健全な財政運営	1	2	3	4	5
② 行政の改革	1	2	3	4	5
③ 計画的な施設管理	1	2	3	4	5
④ デジタル化の推進	1	2	3	4	5
⑤ 市民との連携促進	1	2	3	4	5

【問5】 多治見市のまちづくりについて、今後、力をいれてほしいものについておたずねします。

次の項目の中から、重要度の高いものを**5つまで選び**、○印をつけてください。

<子育て世代が選び、住み続けたいくなるまちづくり>		22 人権啓発
1 結婚を望む人への支援		23 スポーツ振興
2 出産前からの切れ目のない支援		24 文化・芸術振興
3 親育ち・子育ての支援		<持続可能で快適に暮らせるまちづくり>
4 保育・幼児教育の充実		25 環境との共生
5 学校教育の充実		26 上水道の安定供給
6 保育・教育に関する体制強化		27 下水道の安定運営
7 保育・教育施設等の整備		28 防災対策
<にぎわいを生み出すまちづくり>		29 土地の適正利用
8 市内産業の支援		30 移住定住促進
9 地場産業の支援		31 公共交通施策の推進
10 企業誘致		32 道路環境の整備
11 農業振興		33 都市景観の形成
12 中心市街地活性化		34 公園整備・緑化推進
13 観光振興		35 住環境の整備・空き家等対策
<元気で安心して暮らせるまちづくり>		<行財政改革の推進>
14 健康寿命の延伸・医療体制の充実		36 健全な財政運営
15 高齢者支援		37 行政の改革
16 障がい者(児)支援		38 計画的な施設管理
17 相談支援体制の充実		39 デジタル化の推進
18 地域防災・防犯対策		40 市民との連携促進
19 消防体制の充実		41 その他(具体的に)
20 救急体制の充実		
<多様なつながりで、豊かな暮らしを育むまちづくり>	[	]
21 市民活動支援		

【問6】 多治見市の広報についておたずねします。

(1) あなたは、普段どこから市の情報を得ていますか。(複数回答可)

1 広報たじみ (Tajimist (たじみすと))	2 ホームページ
3 FM放送 (FMたじみ)	4 携帯メール
5 SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)	6 防災行政無線
7 地域回覧	
8 その他(具体的に) [	]

(2) あなたは、広報たじみ (Tajimist (たじみすと)、月1回発行) を読んでいますか。
あてはまるものを**1つ選び**○印をつけてください。

1 毎回読む	2 ときどき読む	3 ほとんど読まない	4 読んだことがない
--------	----------	------------	------------

(3) (2) で1～3と回答された方に、広報たじみについておたずねします。
はい・いいえの**どちらかに**○印をつけてください。

項 目	はい	いいえ
① 文字の大きさは読みやすいですか	1	2
② 紙面のレイアウトは見やすいですか	1	2
③ 掲載内容は分かりやすいですか	1	2
④ 必要な情報は掲載されていますか	1	2

1 定期的に見る 2 必要なときに見る 3 ほとんど見ない 4 見たことがない

1 毎日聴く 2 ときどき聴く 3 ほとんど聴かない 4 聴いたことがない

1	広報たじみ (tajimist (たじみすと))	2	ホームページ
3	FM放送 (FMたじみ)	4	携帯メール
5	SNS (フェイスブック、インスタグラムなど)	6	防災行政無線
7	地域回覧		
8	その他 (具体的に)「		

1 女性 2 男性 3 答えない

1 市内に住んでいる 2 市外に住んでいる

1	養正	2	精華	3	共栄	4	昭和	5	小泉
6	池田	7	市之倉	8	滝呂	9	南姫	10	根本
11	北栄	12	脇之島	13	笠原				

校区が分からない場合は町名をご記入ください
多治見市（ ）町

1 Facebook 2 Instagram 3 Youtube 4 Twitter 5 TikTok
6 その他あれば具体的に「 」

82

令和6年度 市民意識調査報告書

令和7年2月発行

発行：多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒 507-8703 多治見市日ノ出町2丁目 15 番地
TEL 0572-22-1372
調査機関：株式会社 OKB 総研
〒 503-0887 岐阜県大垣市郭町2丁目 25 番地
KIXビル 4F
TEL 0584-74-2615